

令和元年版

消防年報



厚木市消防本部

はじめに

この年報は、平成30年度（一部30年）中における厚木市消防の概要を収録したもので、消防防災行政を広く紹介することを目的に編集しました。本書を地域防災活動の推進の参考として御活用いただき、消防行政に一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月

厚木市消防本部

目 次

一目統計	1
------	---

【市と消防の概要】

厚木市の市勢

1 位置及び地勢	3
2 面積・人口・世帯数	4
3 人口の推移	4

消防の概要

1 常備消防のあゆみ	5
2 消防現勢（常備）	14
(1) 消防本部・署（分署）配置図	14
(2) 常備消防力の基準	15
(3) 消防庁舎概要	16
(4) 消防の機構図	17
(5) 消防職員配置状況	18
(6) 消防車両種類別内訳	19
(7) 本部・署車両配置状況	20
3 消防予算	22
(1) 消防費前年度比較	22
(2) 消防費財源内訳	22
(3) 年度別市当初予算と消防費の比較	22
(4) 消防費と人口の比較	22

【総 務】

消防職員

1 消防職員階級別勤続年数調	23
2 消防職員階級別年齢調	24
3 消防職員免許等取得状況	25
4 消防職員採用・退職状況	26
5 消防職員年度別公務災害発生状況	26
6 人事事務	27
7 衛生管理	27
8 表彰	27
9 教育・研修	28

(1) 派遣研修	28
(2) 教養研修会等	28
(3) 現地・教養訓練	28

消防施設

1 施設整備	29
2 水利状況	30
(1) 地区別消防水利設置状況	30
(2) 耐震性貯水槽の設置状況	31

消防車両

1 消防車両更新状況	32
2 消防車両整備の概要	32

【火災予防】

1 火災予防運動	33
(1) 秋季火災予防運動	33
(2) 春季火災予防運動	33
2 防火管理者等調	34
3 消防法・火災予防条例に基づく届出等処理状況	35
4 防火対象物定期点検報告制度	35
5 幼稚園児、小学生の消防署見学の推移	36
6 雑草地の指導	37
7 初期消火協力の推進	37
8 立入検査実施状況	38
9 消防同意事務等	39
(1) 過去10年間の同意件数	39
(2) 月別同意件数	39
(3) 地区別及び用途別同意件数	40
10 防火対象物状況	41
11 高層建築物の状況	43
(1) 高層建築物	43
(2) 主な高層建築物	43
(3) 地区別・中高層建築物数	44
12 消防用設備等着工・設置届出状況	44
13 危険物施設	45
(1) 危険物	45
(2) 危険物施設の状況	45
(3) 過去10年間の危険物施設の推移	45
14 地区別危険物施設	46

15	危険物施設等立入検査状況	46
16	危険物施設の事務処理状況	47
17	少量危険物届出状況	47
18	危険物手数料	48
	(1) 手数料納入額	48
	(2) 過去10年間の危険物手数料の推移	48
19	予防広報映像所有一覧	49

【警 防】

火災の概要

1	火災種別死傷者発生調	51
2	火災概況調	51
3	過去10年間の火災件数	52
4	主要火災原因別累年比較調	52
5	損害見積額累年比較調	53
6	全国・県・市火災発生状況調	53
7-1	月別・曜日別火災発生状況(その1)	54
7-2	月別・曜日別火災発生状況(その2)	55
8-1	時刻別火災発生状況(その1)	56
8-2	時刻別火災発生状況(その2)	57
9	月別原因別火災発生状況	58
10-1	原因別火災発生状況(その1)	59
10-2	原因別火災発生状況(その2)	60
11	月別用途別火災発生状況	61
12-1	地区別火災発生状況(その1)	62
12-2	地区別火災発生状況(その2)	63
13	月別覚知別火災発生状況	64
14	月別気象別火災発生状況	65
15	曜日別累年火災発生件数調	66
16	月別火災件数の比較調	66
17	風向と火災件数	67
18	消防相互応援件数(火災)	67
19	昭和35年以降の主な火災	68

指令・通信の概要

1	通信業務	69
	(1) 119番受信状況	69
	(2) 月別119番受信状況	69
	(3) 119番受信状況の推移	69

(4) 高機能消防指令システムを構成する装置	69
(5) その他の関連機器	70
(6) 神奈川県消防救急デジタル無線設備（共通波）	70
(7) 署活系無線	70
2 消防通信系統図	71

気 象

1 厚木市の気象状況	72
(1) 天候	72
(2) 気温	72
(3) 相対湿度	72
(4) 風向・風速	72
2 気象通報発表状況調	73
3 累年降雨量調	74

消防署部隊の出動・訓練概要

1 月別部隊出動状況	75
2 月別部隊訓練等状況	75

【救 急】

救急救命

1 救急業務の高度化とメディカルコントロール体制	77
2 応急手当普及啓発活動	77

救急活動

1 救急活動の概要	78
2 救急活動累年比較調	79
3 月別救急活動調	80
4 署所別救急活動調	81
5 月別覚知別救急件数調	82
6 曜日別救急件数調	82
7 年齢別搬送人員調	83
8 傷病程度別搬送人員調	83
9 傷病程度別年齢区分別搬送人員調	84
10 救急隊員の行った応急処置件数調	84
11 一般市民の行った応急手当件数調	84
12 発生地区別救急件数調	85
13 時間別救急件数調	86
14 消防相互応援件数（救急）	86

15	救急支援出動件数	87
16	派遣型救急ワークステーション医師同乗出動件数	87

【救 助】

救助活動の概要

1	救助出動状況調	89
	(1) 救助出動件数	89
	(2) 地区別救助出動件数	89
	(3) 消防相互応援件数(救助)	90
	(4) 救助出動の推移	90
	(5) 主な人命救助活動	91
2	救助技術の強化	91
3	救助関係主要機械器具等一覧表	92

【消防団と古式消防保存会】

消防団

1	厚木市消防団のあゆみ	93
2	消防団事務	98
	(1) 公務災害補償	98
	(2) 退職消防団員に対する報償	98
	(3) 表彰	98
	(4) 消防団員教養訓練等	98
3	福利厚生	99
4	消防操法	99
5	消防団組織と現勢	100
6	消防団施設配置図	101
7	産業別消防団員調	102
8	消防団員退職状況	102
9	退職報償金年度別及び階級別支払状況	103
10	階級別年齢調	103
11	階級別勤務年数調	104
12	消防団員年度別公務災害発生状況	104
13	消防団員報酬	105
14	消防団員費用弁償	105
15	消防団出動状況	105
16	消防団施設一覧表	106
17	消防団車両保有状況	109

18 水防・資材倉庫施設一覧表	111
-----------------	-----

厚木鳶職組合 古式消防保存会

1 古式消防保存会のあゆみ	112
2 組織図	112

一目統計

面積	厚木市 93.84 km ² 清川村 71.24 km ² (平成31年4月1日現在)	人口	厚木市 224,497人 清川村 2,959人 住民基本台帳人口 (平成31年4月1日現在)	世帯数	厚木市 99,669世帯 清川村 1,261世帯 (平成31年4月1日現在)	消防予算	3,214,780 千円 一般会計構成比率 3.7 % (平成31年度)
----	---	----	---	-----	--	------	---

職員数	定員 253 人 実員 266 人 (平成31年4月1日現在)	署所数	1 本部 2 署 7 分署 (平成31年4月1日現在)	消防団員数	定員 579 人 実員 542 人 (平成31年4月1日現在)	消防団組織・車両	8 分団 52 個部 小型動力ポンプ付 積載車 52台 その他の車両 1台 (平成31年4月1日現在)
-----	---------------------------------------	-----	--------------------------------------	-------	---------------------------------------	----------	--

消防署車両	消防ポンプ車 10 台 はしご車 2 台 化学車 2 台 指令車 3 台 拠点機能形成車 1 台 (平成31年4月1日現在)	水利	水槽付ポンプ車 2 台 救助工作車 2 台 水難救助車 1 台 高規格救急車 10 台 その他 36 台 合計 69 台 (平成31年4月1日現在)	一一九番受信件数	消火栓 2,378 基 防火水槽 1,961 基 その他 53 基 (平成31年4月1日現在)	一一九番受信件数	16,596 件 1日当り 約45.5件受信 (平成30年中)
-------	---	----	--	----------	--	----------	--

火災件数	55 件 約7日に1件発生 (平成30年中)	主な出火原因	1 放火 17 件 (放火疑い含む) 2 配線器具 4 件 3 たき火 3 件 こんろ 3 件 (平成30年中)	救急件数	12,471 件 ・1日当り34.2件 ・42.1分に1回出動 (平成30年中)	主な救急種別	1 急病 7,980 件 2 一般負傷 1,666 件 3 交通事故 1,164 件 (平成30年中)
------	------------------------------	--------	---	------	---	--------	--

防火対象物	消防用設備等 設置届出数 595 件 防火管理者選任 対象物数 1,990 件 (清川村含む) (平成31年3月31日現在)	危険物施設	製造所 3 件 貯蔵所 295 件 取扱所 171 件 (平成30年度)	定期点検報告制度 防火対象物	防火優良認定証 交付対象物数 47 件 (平成31年3月31日現在)	普通 実施救命講習	8,555 人 普及員 104 人 上級 49 人 普通 2,334 人 一般 6,068 人 (平成30年度)
-------	---	-------	---	-------------------	--	--------------	---

市と消防の概要



厚木市の市勢

1 位置及び地勢

方位	経度	地名	方位	緯度	地名
極 東	東経 139° 22′ 57″	下依知	極 北	北緯 35° 31′ 30″	上依知
極 西	東経 139° 13′ 54″	七 沢	極 南	北緯 35° 23′ 30″	戸 田

厚木市は、神奈川県を中心に位置し、西に大山を境に秦野市、西から北にかけて愛甲郡清川村、愛川町に、北から東にかけては相模川をはさみ相模原市、座間市、海老名市、高座郡寒川町に、また南は平塚市、伊勢原市と6市2町1村に接している。

地勢は、西北から東南に緩やかに傾斜し、西部及び西北部は山岳地帯で数系の小山脈が南北に走っている。ことに西部においては霊峰阿夫利の峰大山がそびえ、丹沢山塊へ無限に連なっている。

市の東部は、遠く富士五湖の一つである山中湖に源を発する相模川の清流が南北に貫通し、これに併流する中津川、そして小鮎川、これら河川の流域に平野が開けている。

東西 13.76 キロメートル、南北 14.71 キロメートルの扇形に近い地形で、面積 93.84 平方キロメートルを有している。

市街地は、三河川の合流点の右岸に位置し、文化、産業、交通の要衝で東京へ 46 キロメートル、横浜へ 32 キロメートルという地理的条件に恵まれている。



2 面積・人口・世帯数

(平成31年4月1日現在 ※厚木市のみ)

区分 地区別	面積 (km ²)	人 口			世帯数 (世帯)	1 km ² の密度	
		計(人)	男(人)	女(人)		世帯数(世帯)	人口(人)
計	93.84	224,497	115,938	108,559	99,669	1,062	2,392
厚 木	3.597	33,470	17,339	16,131	18,124	5,039	9,305
依 知	13.952	31,432	16,692	14,740	13,252	950	2,253
睦 合	10.195	41,441	21,310	20,131	17,831	1,749	4,065
荻 野	17.276	25,992	13,131	12,861	10,667	617	1,505
小 鮎	13.376	14,203	7,303	6,900	6,078	454	1,062
南毛利	10.377	50,059	25,946	24,113	22,033	2,123	4,824
玉 川	18.223	9,891	4,871	5,020	3,716	204	543
相 川	6.316	14,312	7,577	6,735	6,300	997	2,266
緑ヶ丘	0.518	3,697	1,769	1,928	1,668	3,220	7,137

(住民基本台帳人口)

3 人口の推移

(各年4月1日現在 ※厚木市のみ)

年 別	世帯数	人 口		
		総 数	男	女
22	94,534	225,242	117,603	107,639
23	92,676	223,966	116,542	107,424
24	93,513	224,038	116,534	107,504
25	94,366	224,415	116,666	107,749
26	95,641	224,700	116,705	107,995
27	96,617	224,749	116,793	107,956
28	96,137	225,284	116,394	108,890
29	97,132	224,994	116,233	108,761
30	98,638	225,194	116,407	108,787
31	99,669	224,655	116,132	108,523

(平成27年国勢調査確報値を基準とした推計人口)

消防の概要

1 常備消防のあゆみ

昭和35年1月14日午後9時35分ごろ、中央商店街の料亭「末広」から出火した火災で8棟を全半焼（6世帯）し、繁華街で、国道に面した現場は、交通がマヒし大混乱となった。

この火災を契機として、常備消防設置の気運が一層高まり、同年3月25日「厚木市消防審議会」が設置され、同年8月の臨時市議会で部課設置条例を改正し「総務課消防係」を「消防課」に昇格、新規採用12名の消防職員を県消防学校に派遣し、卒業を待って、同年12月1日消防常備隊が発足した。

昭和35. 12. 1	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し消防職員19名をもって消防常備隊発足
昭和36. 6. 2	横浜市在住 福住喜代治氏から救急自動車1台寄贈される
昭和36. 6. 3	救急業務開始
昭和37. 1. 24	親子型消防ポンプ自動車1台購入
昭和37. 8. 6	指令車1台購入
昭和37. 10. 26	消防用中短波無線機（基地局1基 移動局5基2120KC）設置
昭和37. 11. 1	中型消防ポンプ自動車1台購入
昭和38. 4. 1	消防本部及び消防署設置 初代消防長 石川正治 就任 (1)組織 署長以下42名 (2)設備 水槽付消防ポンプ自動車1台 親子型消防ポンプ自動車1台 中型消防ポンプ自動車1台 救急自動車1台 (3)場所 厚木市元町9-3
昭和39. 6. 10	救急自動車1台購入
昭和40. 6. 30	救助自動車1台購入
昭和40. 7. 10	特命救助隊編成（消防士長2名 消防士10名）
昭和41. 4. 1	第2代消防長 小林文雄 就任
昭和41. 8. 10	消防用超短波無線電話機（152.81MC）基地局1基 移動局13基に切替える
昭和41. 10. 1	厚木市消防署吹奏楽部発足
昭和41. 10. 29	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
昭和43. 2. 20	救急自動車1台購入
昭和43. 4. 1	厚木市消防音楽隊発足 隊員以下19名
昭和43. 5. 20	庁用車1台購入
昭和45. 11. 24	広報車1台購入
昭和46. 4. 1	消防副士長制度採用
昭和46. 12. 27	指令車1台購入
昭和47. 2. 26	化学消防ポンプ自動車1台購入
昭和47. 3. 31	親子式消防ポンプ自動車1台購入
昭和47. 6. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を107名に改定
昭和47. 7. 1	厚木市消防庁舎落成 厚木市消防署の組織改革により第1警備隊、第2警備隊を設置 郵政省令の改正に基づき消防狭帯化（150.07MC）基地局1基、移動局13基に切替える

昭和47. 11. 4	はしご付消防ポンプ自動車 (24m級) 1台購入
昭和48. 3. 30	作業車 1台購入
昭和48. 10. 5	第3代消防長 高崎正男 就任
昭和48. 11. 16	連絡車 1台購入
昭和49. 1. 22	消防専用超短波無線電話機 (救急波腹信方式147.76MHz) 基地局 1基、移動局 3基設置
昭和49. 4. 1	消防本部機構改革に伴い課制を施行し警防課に危険物係を設置 ・庶務課 (庶務係、装備係) ・警防課 (予防係、警防係、危険物係)
昭和50. 1. 7	消防ポンプ自動車 1台購入
昭和50. 2. 7	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車 1台寄贈される
昭和50. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を109名に改定
昭和51. 3. 31	日本損害保険協会から救急車 1台寄贈される
昭和51. 11. 20	厚木市消防音楽隊の組織改革により、厚木市消防音楽隊の定数を28名に改定 隊長 1名 副隊長 2名 楽長 1名 隊員 24名
昭和51. 12. 22	指揮車 1台購入
昭和52. 4. 1	厚木市消防署荻野分署設置 消防隊、救急隊を配置
昭和53. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を123名に改定
昭和53. 12. 19	消防ポンプ自動車 1台購入
昭和54. 4. 1	第4代消防長 柳谷由雄 就任 厚木市消防署南毛利分署設置
昭和54. 10. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を133名に改定
昭和54. 12. 1	厚木市消防音楽隊再編成 隊員11名
昭和54. 12. 13	消防ポンプ自動車 1台購入
昭和55. 3. 17	救急自動車 1台購入
昭和55. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を137名に改定 厚木市消防署依知分署設置 消防本部署機構改革 消防本部 総務課 (管理係、装備係) 警防課 (予防係、警防係、危険物係)


```

署
├── (庶務係)
├── 警備第一課 (第一中隊、第二中隊、通信指令室)
├── 警備第二課 (第一中隊、第二中隊、通信指令室)
├── 荻野分署 (第一中隊、第二中隊)
├── 南毛利分署 (第一消防小隊、第二消防小隊)
└── 依知分署 (第一消防小隊、第二消防小隊)

```

昭和55. 7. 1	清川村の救急業務実施（応援協定に基づくもの）
昭和55. 11. 23	常備消防発足20周年式典を厚木一番街空地において実施
昭和56. 3. 27	指令車 1 台購入
昭和56. 4. 1	第 5 代消防長 原川久雄 就任 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を 145名に改定
昭和56. 7. 1	第 6 代消防長 飯塚和生 就任 消防本部機構改革により地震対策室を設置する 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を 161名に改定
昭和56. 9. 29	救急自動車 1 台購入
昭和56. 10. 1	厚木市消防署南毛利分署に救急隊を配置、救急業務を開始
昭和57. 4. 1	消防ポンプ自動車 1 台購入 厚木市消防署相川分署設置 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を 166名に改定
昭和58. 3. 7	はしご付消防自動車（41m級） 1 台購入
昭和58. 4. 1	第 7 代消防長 村上勝 就任 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を 182名に改定 消防署機構改革 荻野分署に梯子小隊を配置し、署員を25名とする 消防テレホンサービス業務開始
昭和58. 6. 10	消防用気象観測装置 FWS-7910ED 設置
昭和59. 4. 1	厚木市消防署小鮎分署設置 消防署庶務係に査察担当（2名）配置 市機構改革により地震対策室を防災対策室と名称を変更し市長部局に組み入れる
昭和59. 7. 28	資材運搬車 1 台購入
昭和59. 12. 15	照明付救助工作車 1 台購入 火災救急指令検索装置 1 台購入
昭和60. 3. 10	119番録音装置 1 台購入
昭和60. 4. 1	消防本部警防課に査察係を設置
昭和60. 12. 3	軽作業トラック 1 台購入
昭和61. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を 186名に改定
昭和61. 7. 1	第 8 代消防長 高橋卯平 就任
昭和62. 2. 13	通信指令室を 3 階に移転すると共に、電子式一斉指令装置を導入して指令体制の充実を図り、本署、各分署にファクシミリを設置する
昭和62. 2. 18	救急車 1 台購入
昭和62. 2. 20	広報用としてミニ消防自動車 1 台購入
昭和62. 3. 4	消防本部・消防団が消防庁長官から竿頭綬を受賞
昭和62. 4. 1	消防本部の機構改革に伴い予防課を設置すると共に、署指令室を指令係に名称を変更し、本部警防課に組み入れ本部を 3 課 8 係とする また、依知分署に救急隊を配置、救急業務を開始

昭和62. 7. 1	第9代消防長 村上勝 就任
昭和62. 7. 1	オートバイ1台、厚木さつきライオンズクラブから寄贈される
昭和62. 9. 28	オートバイ1台、厚木さつきライオンズクラブから寄贈される
昭和63. 1. 5	はしご付消防自動車（12m級）1台購入
平成元. 7. 1	消防署機構改革 相川、小鮎分署を課相当へ昇格 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を219名に改定
平成元. 8. 5	査察車1台購入
平成2. 4. 1	第10代消防長 北条昌彦 就任
平成2. 10. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を233名に改定
平成2. 11. 6	救急自動車2台購入（1台更新）
平成2. 11. 9	常備消防発足30周年記念式典を厚木市文化会館において実施
平成2. 11. 20	連絡車1台購入
平成3. 3. 14	はしご付消防自動車（30m級）1台購入
平成3. 3. 18	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
平成3. 3. 25	水難救助艇及びトレーラー1台購入
平成3. 4. 1	厚木市消防署相川分署に救急隊を配置、救急業務を開始 厚木市消防署小鮎分署にはしご小隊を配置 厚木市消防署睦合分署設置（消防訓練場併設）
平成3. 4. 17	救急自動車に自動車電話を設置
平成3. 5. 1	第11代消防長 三橋知光 就任
平成3. 5. 21	第12代消防長 伊藤悟 就任
平成3. 9. 13	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台寄贈される
平成3. 10. 31	査察車1台購入
平成4. 3. 4	消防本部・消防団が消防庁長官から表彰旗を受賞
平成4. 3. 13	消防ポンプ自動車1台購入
平成4. 4. 1	第13代消防長 齋藤健一 就任
平成4. 7. 11	厚木市消防署玉川分署設置（東丹沢七沢観光案内所との複合施設）
平成4. 11. 16	救急救命士誕生
平成4. 12. 22	地図検索装置一式購入（更新）
平成5. 1. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を240名に改定
平成5. 4. 1	第14代消防長 藤井信義 就任
平成5. 9. 21	揚州市消防隊員来厚、消防施設・設備を視察
平成6. 3. 17	高規格救急自動車1台購入
平成6. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を244名に改定
平成6. 7. 27	財団法人日本消防協会から普通小型乗用車1台寄贈される
平成7. 1. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を246名に改定
平成7. 1. 18	阪神・淡路大震災の被災地に救助工作車1台及び隊員延べ15人を派遣し救助活動を実施
平成7. 3. 31	はしご付消防自動車（30m級）1台購入

平成7. 7. 1	消防署機構改革 厚木市消防署を厚木市厚木消防署と名称変更するとともに、厚木市消防署 荻野分署を署に格上げし、厚木市北消防署と改め、1署7分署体制から 2署6分署体制とする
平成7. 9. 20	財団法人日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車1台寄贈される
平成7. 12. 29	元消防長 三橋知光氏 叙位・死亡叙勲 従五位・勲五等双光旭日章を賜る
平成8. 2. 16	消防ポンプ自動車1台購入
平成8. 4. 1	本部・署組織の一部を名称変更 (旧) (新) 総務課 → 消防総務課 総務課管理係 → 消防総務課消防総務係 庶務係 → 管理係
平成8. 5. 1	119番回線バックアップシステム設置
平成8. 11. 26	消防ポンプ自動車2台購入
平成9. 2. 25	高規格救急自動車1台購入
平成9. 4. 1	第15代消防長 霜島榮 就任 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を 249名に改定 消防署機構改革 厚木市厚木消防署及び厚木市北消防署にそれぞれ指揮班を配置
平成10. 1. 20	高規格救急自動車1台購入
平成10. 2. 5	消防ポンプ自動車1台購入
平成10. 4. 1	第16代消防長 落合次郎 就任
平成10. 11. 6	消防本部庁舎望楼解体
平成11. 3. 10	救助工作車1台購入
平成11. 4. 1	本市初の女性消防吏員3名採用
平成11. 6. 20	厚木市北消防署新庁舎建設工事着手
平成12. 2. 25	高規格救急自動車1台購入
平成12. 3. 3	消防ポンプ自動車1台購入
平成12. 4. 1	第17代消防長 土屋茂 就任
平成12. 10. 1	第18代消防長 山口正男 就任
平成12. 11. 3	厚木市北消防署新庁舎完成
平成12. 11. 15	消防本部庁舎耐震補強・改修工事完了
平成12. 12. 18	高規格救急自動車1台購入
平成13. 1. 25	救助支援車1台購入
平成13. 2. 1	自動車電話・携帯電話119番受信業務を開始
平成13. 6. 21	防災資機材運搬車1台購入
平成14. 1. 31	消防ポンプ自動車1台購入
平成14. 4. 1	第19代消防長 小島一郎 就任
平成14. 6. 1	携帯電話の電子メール活用による災害情報配信の運用開始
平成14. 6. 6	防災資機材運搬車1台購入
平成14. 9. 1	厚木市火災予防査察規程改正
平成15. 2. 20	高規格救急自動車1台購入
平成15. 2. 20	NBC災害用資機材の整備 (除染シャワー等) 防災資機材運搬車2台・高規格救急自動車1台購入
平成15. 3. 1	厚木市雑居ビル防火安全対策連絡協議会設置

平成15.	3.13	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
平成16.	1.29	高規格救急自動車1台購入
平成16.	2.25	屈折はしご付消防自動車(15m級)1台購入
平成16.	4.1	第20代消防長 平本菊一 就任
平成16.	7.9	元消防署長 葉山英雄氏 叙位・死亡叙勲 従五位・瑞宝双光章を賜る
平成16.	8.1	高機能消防通信指令システムの導入
平成16.	12.9	高規格救急自動車1台購入
平成16.	12.16	緊急消防援助隊派遣都市として消防本部が消防庁長官より褒状を受賞
平成17.	2.16	化学消防ポンプ自動車1台購入
平成17.	4.1	第21代消防長 鈴木太平 就任 消防本部・消防署機構改革 予防課予防係と査察係を統一し、予防査察係に名称変更 厚木消防署及び北消防署の指揮班を指揮第一担当・指揮第二担当に名称変更
平成17.	9.22	救急二輪車2台購入
平成17.	9.28	防災資機材運搬車1台購入
平成17.	11.1	救急二輪車2台の運用開始
平成17.	11.3	元北消防署副署長 井上雅由氏 第5回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成17.	11.7	厚木さつきライオンズクラブから自転車(マウンテンバイク)8台寄贈される
平成18.	2.27	消防ポンプ自動車1台購入
平成18.	2.28	高規格救急自動車1台購入
平成18.	4.29	元厚木消防署相川分署長 飯塚勝美氏 第6回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成18.	12.5	救助工作車1台購入
平成19.	2.26	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
平成19.	4.1	第22代消防長 柏木孝之 就任 携帯電話・IP電話等からの119番通報に係る位置情報通知システムの運用開始(平成18年度総務省実証実験後) 北消防署管内の救助業務を消防隊が開始(消防隊兼務)
平成19.	10.9	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により初任の教育訓練を受けている消防吏員を消防職員の定数に含まないことに改定
平成19.	11.3	元北消防署長 金井光富氏 第9回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成19.	12.28	元相川分署中隊長兼消防小隊長 内田昇氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成20.	2.27	高規格救急自動車1台購入
平成20.	4.1	第23代消防長 小瀬村恒男 就任 消防本部機構改革 消防本部警防課から救急救命担当を分離し救急救命課を設置する
平成20.	4.29	元北消防署副署長 清水忠良氏 第10回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成20.	8.10	元消防長 霜島榮氏 叙位・死亡叙勲 従五位・瑞宝小綬章を賜る
平成20.	11.3	元厚木消防署副署長 黄金井忠男氏 第11回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成21.	1.15	消防ポンプ自動車1台購入
平成21.	2.19	高規格救急自動車1台購入
平成21.	4.1	北消防署睦合分署に日勤救急隊を配置、救急業務を開始
平成21.	7.23	元相川分署長 井上暁一氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る

平成21.	10.	7	北消防署依知分署建替えに伴う仮庁舎（旧依知公民館）への移転完了
平成22.	2.	8	高規格救急自動車1台購入
平成22.	3.	3	はしご付消防自動車（30m級）1台購入
平成22.	3.	25	元消防本部次長 守屋英和氏 叙位・死亡叙勲 従六位・瑞宝双光章を賜る
平成22.	4.	1	第24代消防長 落合俊雄 就任
平成22.	4.	20	元副小隊長 平井俊氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成22.	4.	29	元消防長 藤井信義氏 春の叙勲 瑞宝小綬章を賜る
平成22.	6.	1	住宅用火災警報器設置推進対策本部の設置
平成22.	11.	3	元防災担当部長 坂上鎮穂氏 第15回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成22.	12.	1	常備消防発足50周年記念式典を厚木市文化会館において実施
平成22.	12.	31	元消防本部参事 潮田博之氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝双光章を賜る
平成23.	2.	28	化学消防ポンプ自動車1台購入
平成23.	3.	7	高規格救急自動車1台購入
平成23.	4.	1	第25代消防長 飯島悟 就任
			消防本部機構改革
			消防総務課装備係を警防課装備係に改める
			北消防署睦合分署の日勤救急隊を当直救急隊とする
平成23.	4.	29	元厚木消防署長 山崎正氏 第16回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成23.	8.	10	元北消防署警備第二課課長代理兼第一中隊長 三橋征男氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成23.	11.	3	元消防長 山口正男氏 秋の叙勲 瑞宝小綬章を賜る
平成23.	11.	3	元睦合分署長 長嶋義明氏 第17回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成23.	11.	9	厚木市大規模災害サポート隊発足
平成23.	12.	24	元小鮎分署長 高塚雅夫氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成24.	1.	30	高規格救急自動車1台購入
平成24.	2.	2	消防ポンプ自動車1台購入
平成24.	3.	8	消防ポンプ自動車1台購入
平成24.	3.	23	消防ポンプ自動車1台購入
平成24.	4.	1	消防本部機構改革
			消防本部警防課から指令担当を分離し、指令課を設置する
平成24.	4.	1	元北消防署警備第二課長 門倉正男氏 叙位・死亡叙勲 従七位 瑞宝単光章を賜る
平成24.	4.	5	モンゴル国へ消防車・救急車を寄贈
平成24.	4.	29	元厚木消防署長 安藤勉氏 第18回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成24.	11.	9	元北消防署長 永島優氏 第19回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成25.	3.	6	高規格救急自動車1台購入
平成25.	3.	19	消防ポンプ自動車1台購入
平成25.	4.	1	厚木消防署に救急隊を1隊増隊
平成25.	4.	8	派遣型救急ワークステーション運用開始
平成25.	4.	29	元厚木消防署副署長 小島澄夫氏 第20回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成25.	10.	10	元相川分署中隊長兼消防小隊長 原田義秋氏 叙位・死亡叙勲 正七位 瑞宝単光章を賜る
平成25.	11.	3	元消防長 小島一郎氏 秋の叙勲 瑞宝小綬章を賜る
平成25.	11.	3	元北消防署参事兼依知分署長 岡山正男氏 第21回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章を賜る

平成25. 11. 3	元北消防署参事兼依知分署長 島村長幸氏 第21回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成25. 11. 29	厚木・清川消防広域化協議会を設置
平成25. 12. 25	救助工作車1台購入
平成26. 2. 7	高規格救急自動車1台購入
平成26. 3. 16	厚木市北消防署依知分署新庁舎完成
平成26. 4. 1	第26代消防長 朝倉國夫 就任
平成26. 4. 16	厚木・清川消防広域化協議会にて、「厚木・清川広域消防運営計画」及び「厚木市と清川村との消防の事務委託に関する規約」を合意
平成26. 4. 29	元北消防署睦合分署長 高部智氏 第22回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成26. 6. 28	元北消防署警備第二課長 臼井理一氏 叙位・死亡叙勲 正七位 瑞宝単光章を賜る
平成26. 6. 30	厚木市長と清川村長が「厚木市と清川村との消防の事務委託に関する規約」を締結
平成26. 9. 25	元厚木消防署厚木消防署玉川分署長 大谷尚美氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成26. 11. 1	森の里地区に厚木市市民救命サポート隊発足
平成26. 11. 3	元北消防署副署長兼小鮎分署長 小塩稔氏 第23回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成27. 2. 18	高規格救急自動車1台購入
平成27. 4. 1	第27代消防長 山田茂穂 就任
平成27. 11. 3	元北消防署依知分署長 横谷正春氏 第25回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成28. 2. 9	高規格救急自動車1台購入
平成28. 2. 26	消防ポンプ自動車1台購入
平成28. 3. 15	高機能消防指令センター整備
平成28. 3. 27	厚木市北消防署清川分署落成・開署式
平成28. 4. 1	第28代消防長 鈴木佐重喜 就任
平成28. 4. 1	厚木市と清川村との消防広域化開始
平成28. 4. 4	元厚木消防署救助救急担当課長兼警備第二課長 森康男氏 叙位・死亡叙勲 従七位・瑞宝単光章を賜る
平成28. 4. 28	元厚木消防署副署長 黄金井忠男氏 叙位・死亡叙勲 正七位を賜る
平成28. 4. 29	元消防本部技監 杉山常治氏 第26回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成28. 8. 21	元厚木消防署南毛利分署長兼第一中隊長 山崎正宏氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成28. 11. 3	元消防本部次長 永井隆氏 第27回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成28. 11. 3	元厚木消防署長 井上博史氏 第27回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成29. 1. 13	元厚木消防署相川分署長 小澤茂行氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成29. 1. 19	高規格救急自動車1台購入
平成29. 2. 1	消防ポンプ自動車1台整備
平成29. 3. 1	はしご付消防ポンプ自動車(15m級)1台整備
平成29. 4. 1	違対象物に係る表示制度を開始
平成29. 4. 22	宮の里中央自治会に厚木市市民救命サポート隊発足
平成29. 4. 29	元厚木消防署長 加藤伸行氏 第28回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る

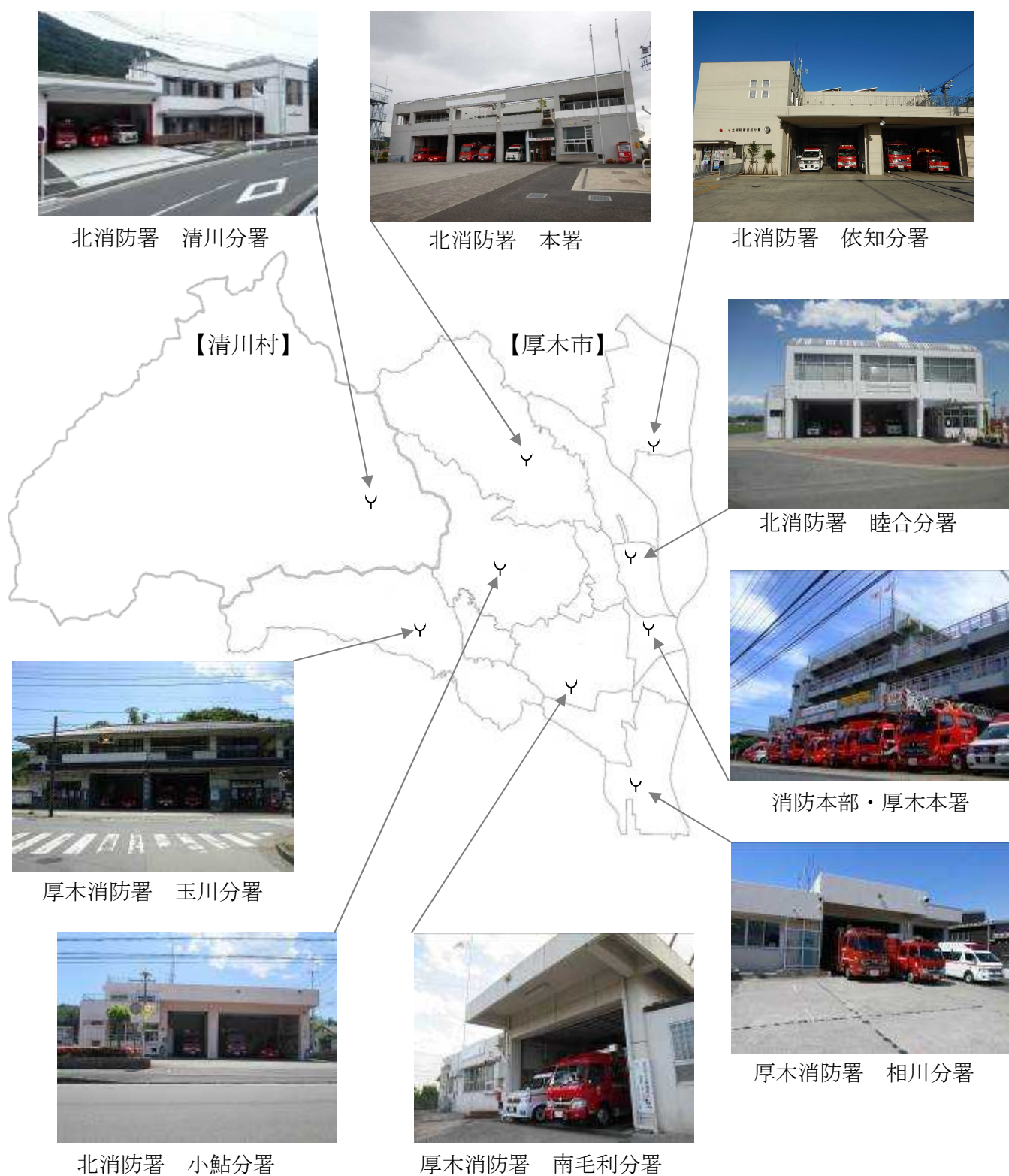
平成29. 4. 29	元北消防署長 高橋正一氏 第28回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成29. 8. 1	消防活動用ドローン運用開始
平成29. 11. 3	元消防長 柏木孝之氏 秋の叙勲 瑞宝小綬章を賜る
平成29. 11. 3	元北消防署長 梅田治氏 第29回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成29. 11. 3	元厚木消防署長 井上忠博氏 第29回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成30. 1. 22	高規格救急自動車1台購入
平成30. 3. 26	総務省消防庁から緊急消防援助隊用車両（拠点機能形成車）の無償使用配備が決定される
平成30. 4. 1	「厚木市消防整備指針」を改定し、「あつぎ元気プラン」の個別計画として、消防の総合的な計画である「厚木市消防力整備計画」を策定
平成30. 4. 1	消防署所の適正な配置の方向性を示す「厚木市消防署所適正配置計画」を策定
平成30. 4. 29	元厚木消防署参事兼厚木消防署副署長兼玉川分署長 田中茂氏 第30回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成30. 5. 1	119番通報時における多言語通訳の24時間対応を開始
平成30. 5. 11	元厚木消防署参事兼相川分署長 飯塚勝美氏 叙位 正七位を賜る
平成30. 7. 22	古松台自治会に厚木市市民救命サポート隊発足
平成30. 11. 3	元北消防署参事兼北消防署副署長兼小鮎分署長 神崎孝久氏 第31回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成30. 12. 13	元消防長 藤井信義氏 叙位 正六位を賜る
平成31. 1. 18	水難救助車1台整備
平成31. 2. 1	NET119緊急通報システム運用開始
平成31. 2. 4	高規格救急自動車1台購入
平成31. 2. 27	総務省消防庁から緊急消防援助隊用車両（拠点機能形成車）が無償使用車両として配備される
平成31. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を253名に改定
平成31. 4. 1	高度救助隊発足
平成31. 4. 1	神奈川県（くらし安全防災局）に職員を派遣
平成31. 4. 16	緊急消防援助隊用車両（拠点機能形成車）運用開始
平成31. 4. 21	元厚木消防署長 安藤誠崇氏（旧姓安藤勉） 叙位 従六位を賜る
令和元. 5. 21	元厚木消防署参事兼厚木消防署副署長 吉田清治氏 第32回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る



2 消防現勢（常備）

(1) 消防本部・署（分署）配置図

厚木市消防本部は、厚木市内に消防本部、2消防署、6分署を、清川村内に1分署を配置し、24時間体制で災害対応しています。



(2) 常備消防力の基準

ここにあげた数字は、平成20年消防庁告示第2号の規定に基づき、人口密度・建築物の構造により定められた本市の必要とする消防力の比較を表示したものです。

区 分		基準消防力 (非常用を除く)	現有消防力 (非常用を除く) (平成31年 4月1日現在)	基準に対する割合 (%) ※1			
				厚木市 (平成31年 4月1日現在)	全 国	神奈川県 (全体集計)	全国 同規模 消防本部 (人口10万 人以上30万 人未満)
消 防 車 両	ポンプ自動車	12	11	91.7	98.9	97.7	91.8
	はしご車	2	2	100.0	86.4	95.9	93.7
	化学車	2	2	100.0	85.7	95.7	89.0
	救急車	8	8	100.0	91.2	85.4	92.6
	救助工作車	2	2	100.0	91.2	100.0	89.4
水 利		1,498	1,461	97.5	73.5	91.2	70.9
消防職員		310 <small>(現有台数に対する基準)</small>	253	81.6	77.4	87.2	74.4

※1 厚木市以外の数値は、平成27年度消防施設整備計画実態調査集計による。

※2 人員には、神奈川県消防学校派遣の初任教育生（条例定数外）を含まない。

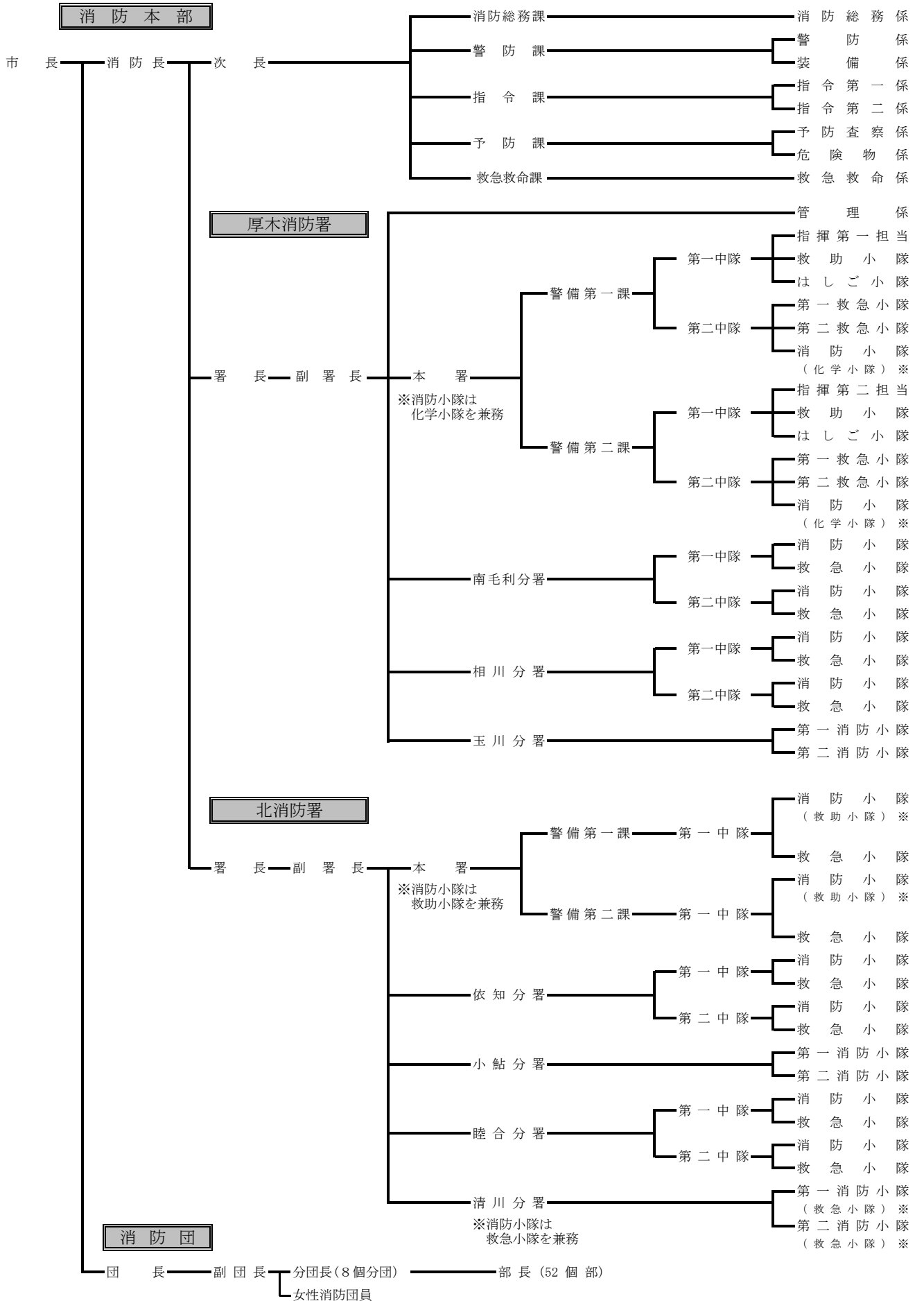


(3) 消防庁舎概要

区分		所在地 電話番号	竣工 年月日	構造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)	管轄面積 (Km ²)	管轄区域	
消防本部	本部	寿町3-4-10 ☎ 046-221-2331 FAX 046-223-8251	昭和47年 7月1日	RC造 地下1階 地上3階 訓練棟 RC造 地上3階	2,248.23	793.80	2,070.18	9.36	下記以外の地域	
	厚木	南毛利署	長谷1574-3 ☎ 046-248-2988 FAX 046-247-5641	昭和54年 4月1日	RC造 平屋建	750.22	256.17	250.53	8.15	愛名 温水の一部 温水西(1~2) 船子の一部 長谷 愛甲の一部 愛甲(1~4) 愛甲西(1~3) 毛利台(1~3) 小野の一部 岡津古久の一部 森の里若宮
		相川分署	酒井1417-1 ☎ 046-228-0119 FAX 046-228-5221	昭和57年 4月1日	RC造 平屋建	1,074.20	365.31	360.40	7.77	南町 温水の一部 船子の一部 愛甲の一部 愛甲東(1~3) 岡田 岡田(1~5) 酒井 戸田 下津古久 上落合 長沼
		玉川分署	七沢751-1 ☎ 046-250-0119 FAX 046-250-9398	平成4年 7月11日	RC造 2階建	2,583.08 <small>(観光案内所含)</small>	425.32	1,008.01	15.48	七沢 小野の一部 岡津古久の一部 森の里(1~5)
	北	本署	下荻野135-1 ☎ 046-241-6111 FAX 046-241-3871	平成12年 11月3日	RC造 2階建	2,400.95	936.60	1,626.76	18.58	及川の一部分 上荻野 中荻野 下荻野の一部 鷹尾(1~5) まつかげ台 みはる野(1~2)
		依知分署	関口869-1 ☎ 046-245-0119 FAX 046-245-4281	平成26年 3月16日	RC造 2階建	1,034.26	407.67	625.06	12.66	上依知 猿ヶ島 山際 関口 中依知 下依知 下依知(1~3) 金田の一部 下川入 棚沢の一部
		小鮎分署	飯山3481-1 ☎ 046-247-0857 FAX 046-247-9491	昭和59年 4月1日	RC造 2階建	1,322.00	375.37	443.38	14.96	飯山 上古沢 下古沢 宮の里(1~4) 温水の一部 緑ヶ丘(1~5) 森の里青山
		睦合分署	三田1475-1 ☎ 046-241-2119 FAX 046-241-3165	平成3年 4月1日	RC造 2階建	5,998.60 <small>(消防訓練場含)</small>	704.21	945.62	6.87	棚沢の一部 三田 三田南(1~3) 及川の一部 及川(1~2) 妻田の一部 妻田北(1~4) 妻田西(2~3) 下荻野の一部
	清川分署	愛甲郡清川村 煤ヶ谷2126-1 ☎ 046-288-2119 FAX 046-288-3120	平成28年 4月1日	鉄骨造 2階建	992.19	304.83	433.49	71.24	愛甲郡清川村の全域	

(4) 消防の機構図

(平成31年4月1日現在)



(5) 消防職員配置状況

(平成31年4月1日現在)

階級等		計	消	消	消	消	消	消	消	消	消
所属別			防	防	防	防	防	防	防	防	防
			正	監	司	司	司	司	副	士	事務
			監		令	令	令	令	士	長	職員
合 計		253 (266)	1	3	18	38	75	28	66	22 (35)	2
消 防 本 部		46 (59)	1	1	3	11	14	6	7	1 (14)	2
消 防 長	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
次 長	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
消防総務課	8	8 (21)	-	-	-	1	2	1	1	1 (14)	2
警 防 課	6	警防係	3	-	-	-	1	1	-	1	-
		装備係	3	-	-	-	1	2	-	-	-
指 令 課	13	指令第一係	7	-	-	1	2	2	1	1	-
		指令第二係	6	-	-	-	2	2	1	1	-
予 防 課	12	予防査察係	9	-	-	1	2	4	1	1	-
		危険物係	3	-	-	-	1	-	1	1	-
救急救命課	5	5	-	-	1	1	1	1	1	-	
厚 木 消 防 署		116	-	1	8	17	37	12	29	12	-
署 長	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
副 署 長	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
本 署	58	管理係	1	-	-	-	1	-	-	-	-
		警備第一課	28	-	-	2	4	12	2	6	2
		警備第二課	29	-	-	2	6	8	3	8	2
南毛利分署	22	第一中隊	11	-	-	1	1	3	1	3	2
		第二中隊	11	-	-	-	1	5	1	3	1
相 川 分 署	22	第一中隊	11	-	-	-	2	2	2	3	2
		第二中隊	11	-	-	1	1	3	2	3	1
玉 川 分 署	12	第一消防小隊	6	-	-	1	-	2	-	2	1
		第二消防小隊	6	-	-	-	1	2	1	1	1
北 消 防 署		91	-	1	7	10	24	10	30	9	-
署 長	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
副 署 長	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
本 署	22	警備第一課	11	-	-	1	1	3	1	4	1
		警備第二課	11	-	-	1	1	3	2	3	1
依 知 分 署	22	第一中隊	11	-	-	1	2	2	1	3	2
		第二中隊	11	-	-	-	1	3	1	5	1
小 鮎 分 署	12	第一消防小隊	6	-	-	-	1	2	1	1	1
		第二消防小隊	6	-	-	1	-	4	-	1	-
睦 合 分 署	22	第一中隊	11	-	-	-	1	4	1	4	1
		第二中隊	11	-	-	1	1	3	1	4	1
清 川 分 署	11	第一消防小隊	6	-	-	1	1	-	1	2	1
		第二消防小隊	5	-	-	-	1	-	1	3	-

※1 指令課長は指令第一係、予防課長は予防査察係、救急救命課長は救急救命係に含む。

2 () 内の数字は、県消防学校初任教育13人(条例定数外)を含んだもの。

(6) 消防車両種類別内訳

(平成31年4月1現在)

消 防 車 両 種 類 別	台 数
消 防 ポ ン プ 自 動 車	10 台
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2 台
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2 台
救 助 工 作 車	2 台
水 難 救 助 車	1 台
高 規 格 救 急 自 動 車	10 台
は し ご 車	2 台
指 令 車	3 台
拠 点 機 能 形 成 車	1 台
調 査 車	1 台
広 報 車	2 台
連 絡 車	4 台
査 察 車	7 台
赤 バ イ	2 台
作 業 車 (防 災 資 機 材 運 搬 車)	14 台
マ イ ク ロ バ ス	1 台
オ ー ト バ イ (情 報 収 集 用)	5 台
車 両 合 計	69 台

(7) 本部・署車両配置状況

担当	名称	車両番号	車名	登録年月	無線	備考
消防本部						
消防総務課	本部指令1号車	相模800さ3195	日産プレサージュ	12. 8	有	
警 防 課	調査1号車	相模800さ6858	日産バネット	14. 7	有	
	連絡1号車	相模480あ7329	日産クリッパー	17. 9	無	
	連絡3号車	相模502な4993	日産セレナ	29. 6	無	
予 防 課	広報1号車	相模800さ2818	日産バネット	12. 6	有	
	広報2号車	相模800す4859	日産AD	20.11	有	
	連絡2号車	相模800さ7902	トヨタサクシード	15. 3	有	
救急救命課	連絡4号車	相模480う6506	ダイハツハイゼット	19.10	無	
厚木消防署						
厚木消防署 本 署	厚木指令1号車	相模800す4211	トヨタハイエース	20. 2	有	
	厚木水槽1号車	相模800は213	日野プロフィア	15. 3	有	水5,000L
	厚木1号車	相模830と119	日野デュトロ	28. 2	有	4WD・CD-I
	はしご1号車	相模830さ8451	日野レンジャー	29. 3	有	はしご付消防ポンプ自動車(1.5m級)
	はしご2号車	相模800は699	日野プロフィア	22. 3	有	はしご付消防自動車(3.0m級)
	厚木救助1号車	相模830て119	日野レンジャー	25.12	有	照明・クレーン ウィンチ付・4WD
	厚木水難救助1号車	相模830さ1830	いすゞエルフ	31. 2	有	
	厚木救急1号車	相模800せ92	日産パラメディック	28. 2	有	
	厚木救急2号車	相模800す7823	トヨタハイエース	25. 3	有	
	厚木作業1号車	相模41か7539	スバルサンバー	12. 5	無	4WD
	厚木資材1号車	相模800す1871	いすゞエルフ	17.12	有	
	赤バイ1号車	1相模き8420	ヤマハセロー	17. 9	無	
南毛利分署	南毛利1号車	相模830つ71	日野デュトロ	29. 2	有	
	南毛利救急1号車	相模800す8608	日産パラメディック	26. 2	有	
	南毛利作業1号車	相模480う6757	ダイハツハイゼット	19.10	無	4WD
	南毛利査察1号車	相模800さ7901	トヨタサクシード	15. 3	有	
相川分署	相川1号車	相模800す6933	日野デュトロ	24. 1	有	4WD・CD-I
	厚木化学1号車	相模800は762	日野レンジャー	23. 2	有	水2,250L 消火薬液500L
	相川救急1号車	相模800せ1852	日産パラメディック	30. 1	有	
	相川作業1号車	相模41く9753	スバルサンバー	14. 6	無	4WD
	相川査察1号車	相模800す4860	日産AD	20.11	有	
	相川2号車	相模88た3619	日産アトラス	8. 1	無	資機材搬送車

担当	名称	車両番号	車名	登録年月	無線	備考
玉川分署	玉川1号車	相模800す2077	日野デュトロ	18. 2	有	4WD・CD-I
	玉川作業1号車	相模41け7303	スバルサンバー	15. 2	無	4WD
	玉川査察1号車	相模800す3997	日産AD	19. 11	有	
	厚木2号車	相模800さ6066	日野デュトロ	14. 1	有	CD-I
北消防署						
北消防署 本署	厚木北1号車	相模800す6998	日野デュトロ	24. 3	有	CD-I
	北救急1号車	相模800せ894	トヨタハイエース	29. 1	有	
	北救助1号車	相模800は535	日野レンジャー	18. 11	有	照明・クレーン ウィンチ付・4WD
	北査察1号車	相模800す2976	日産ADバン	18. 10	有	
	北指令1号車	相模800さ8877	日産キャラバン	15. 10	有	
	北作業1号車	相模41き8843	スバルサンバー	13. 6	無	4WD
	北救急2号車	相模800す6376	トヨタハイエース	23. 3	有	
	赤バイ2号車	1相模き8421	ヤマハセロー	17. 9	無	
	拠点機能形成車	相模830さ1831	いすゞギガ	31. 2	有	総務省消防庁 無償使用車両
依知分署	依知1号車	相模800す4944	日野デュトロ	21. 1	有	4WD・CD-I 水600L
	北化学1号車	相模800は365	日野レンジャープロ	17. 2	有	水1,500L、消火薬液 500L
	依知救急1号車	相模800す9340	日産パラメディック	27. 2	有	
	依知2号車	相模88た3031	トヨタハイエース	7. 9	有	資機材搬送車
	依知作業1号車	相模41け7304	スバルサンバー	15. 2	無	4WD
	依知査察1号車	相模88そ993	日産ADバン	10. 9	有	
小鮎分署	小鮎1号車	相模800す7029	日野デュトロ	24. 3	有	CD-I
	北水槽1号車	相模800は552	日野レンジャー	19. 2	有	水2,000L
	小鮎作業1号車	相模480い6891	ダイハツハイゼット	18. 9	無	4WD
	小鮎査察1号車	相模800す5548	日産AD	21. 11	有	
睦合分署	睦合1号車	相模830ち119	日野デュトロ	25. 3	有	CD-I
	睦合救急1号車	相模830さ1820	日産パラメディック	31. 1	有	
	睦合作業1号車	相模480あ7316	スバルサンバー	17. 9	無	4WD
	睦合査察1号車	相模800す180	日産ADバン	16. 8	有	
	厚木救急3号車	相模800す6914	トヨタハイエース	24. 1	有	
	睦合2号車	相模88た3618	日産アトラス	8. 1	無	資機材搬送車
	厚木支援1号車	相模800さ4048	いすゞエルフ	13. 1	無	
	マイクロバス	相模200さ677	日産シビリアン	19. 1	無	乗車定員29名
清川分署	清川1号車	相模830な119	日野デュトロ	28. 2	有	4WD・CD-I 水550L
	清川救急1号車	相模800せ65	トヨタハイエース	28. 1	有	
	清川資材1号車	相模883い119	スズキエブリイ	28. 2	無	4WD

3 消防予算

厚木市の平成31年度一般会計当初予算額は86,300,000千円で前年度と比較して約0.1%の増となっており、消防費の当初予算額は3,214,780千円で前年度比5.8%増となり、一般会計当初予算における構成比は3.7%です。

(1) 消防費前年度比較

単位：千円

款・項	目	平成31年度	平成30年度	比較	
				増	減
消防費	計	3,214,780	3,037,676	177,104	
	常備消防費	2,564,876	2,503,846	61,030	
	非常備 消防費	104,998	81,732	23,266	
	消防施設費	300,339	225,987	74,352	
	水防費	1,528	1,338	190	
	災害対策費	243,039	224,773	18,266	

(2) 消防費財源内訳

単位：千円

平成31年度 消防費	消防費財源内訳						率(%)
	使用料 手数料	国庫 支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	一般財源 消防費
3,214,780	2,670	0	20,414	146,000	180,495	2,865,201	89.13

(3) 年度別市当初予算と消防費の比較

単位：億円

年度 区分	23	24	25	26	27	28	29	30	31
市予算	789.2	736.0	737.8	754.8	777.8	805.8	808.0	862.0	863.0
消防費	27.6	27.1	27.8	25.5	33.5	30.1	31.2	30.3	32.1
割合(%)	3.5	3.7	3.8	3.4	4.3	3.7	3.9	3.5	3.7

(4) 消防費と人口の比較

単位：円

当初予算額	人口1人当たり	1世帯当たり	
市当初予算	86,300,000,000	384,145	865,866
消防費	3,214,780,000	14,310	32,255

(平成31年4月1日現在の人口 224,655人、世帯数 99,669世帯で計算)

総

務



消防職員

1 消防職員階級別勤続年数調

(平成31年4月1日現在)

年数別	合計	消防職員									消防事務職員
		小計	消防正監	消防副監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
合計	266	264	1	3	18	38	75	28	66	35	2
平均	17.4	-	36.0	37.0	37.4	31.4	23.9	14.0	5.7	1.6	5.0
1年未満	13	13	-	-	-	-	-	-	-	13	-
1年	7	7	-	-	-	-	-	-	-	7	-
2	12	11	-	-	-	-	-	-	10	1	1
3	20	20	-	-	-	-	-	-	10	10	-
4	17	17	-	-	-	-	-	-	13	4	-
5	6	6	-	-	-	-	-	-	6	-	-
6	7	7	-	-	-	-	-	-	7	-	-
7	7	7	-	-	-	-	-	-	7	-	-
8	4	3	-	-	-	-	-	1	2	-	1
9	2	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-
10	8	8	-	-	-	-	-	5	3	-	-
11	14	14	-	-	-	-	3	6	5	-	-
12	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
14	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
15	8	8	-	-	-	-	2	6	-	-	-
16	4	4	-	-	-	-	3	1	-	-	-
17	4	4	-	-	-	-	1	3	-	-	-
18	3	3	-	-	-	-	2	1	-	-	-
19	5	5	-	-	-	-	5	-	-	-	-
20	6	6	-	-	-	-	6	-	-	-	-
21	3	3	-	-	-	-	3	-	-	-	-
22	7	7	-	-	-	-	5	-	2	-	-
23	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	5	5	-	-	-	-	5	-	-	-	-
25	3	3	-	-	-	-	3	-	-	-	-
26	12	12	-	-	-	-	12	-	-	-	-
27	4	4	-	-	-	1	3	-	-	-	-
28	15	15	-	-	-	5	9	1	-	-	-
29	28	28	-	-	-	17	10	1	-	-	-
30	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	4	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-
33	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
35	12	12	-	2	5	3	2	-	-	-	-
36	6	6	1	-	3	2	-	-	-	-	-
37	5	5	-	-	1	4	-	-	-	-	-
38	3	3	-	-	1	1	1	-	-	-	-
39	3	3	-	-	3	-	-	-	-	-	-
40	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41	6	6	-	1	4	1	-	-	-	-	-

※消防吏員には、初任教育生13人（条例定数外）を含む。

2 消防職員階級別年齢調

(平成31年4月1日現在)

年齢別	合計	消防職員									
		小計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	消防事務職員
合計	266	264	1	3	18	38	75	28	66	35	2
平均年齢	38.7	-	59.0	56.3	56.6	52.0	44.3	36.0	28.3	22.7	44.5
18歳	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	2	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-
21	2	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-
22	14	14	-	-	-	-	-	-	-	14	-
23	11	11	-	-	-	-	-	-	-	11	-
24	11	11	-	-	-	-	-	-	9	2	-
25	5	5	-	-	-	-	-	-	3	2	-
26	10	10	-	-	-	-	-	-	9	1	-
27	8	8	-	-	-	-	-	-	7	1	-
28	10	10	-	-	-	-	-	-	10	-	-
29	6	6	-	-	-	-	-	-	6	-	-
30	10	10	-	-	-	-	-	-	10	-	-
31	8	8	-	-	-	-	-	-	8	-	-
32	2	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-
33	3	3	-	-	-	-	-	2	1	-	-
34	5	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-
35	9	9	-	-	-	-	-	9	-	-	-
36	6	6	-	-	-	-	-	6	-	-	-
37	7	6	-	-	-	-	3	2	1	-	1
38	6	6	-	-	-	-	6	-	-	-	-
39	4	4	-	-	-	-	4	-	-	-	-
40	6	6	-	-	-	-	5	-	1	-	-
41	4	4	-	-	-	-	3	-	1	-	-
42	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
43	9	9	-	-	-	-	9	-	-	-	-
44	9	9	-	-	-	-	9	-	-	-	-
45	6	6	-	-	-	-	6	-	-	-	-
46	10	10	-	-	-	-	10	-	-	-	-
47	14	14	-	-	-	7	7	-	-	-	-
48	6	6	-	-	-	4	2	-	-	-	-
49	5	5	-	-	-	3	2	-	-	-	-
50	2	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-
51	5	5	-	-	-	2	2	1	-	-	-
52	3	2	-	-	-	2	-	-	-	-	1
53	9	9	-	-	-	5	3	1	-	-	-
54	7	7	-	1	4	1	1	-	-	-	-
55	3	3	-	-	2	1	-	-	-	-	-
56	9	9	-	1	2	5	1	-	-	-	-
57	7	7	-	-	4	2	1	-	-	-	-
58	3	3	-	-	1	2	-	-	-	-	-
59	9	9	1	1	5	2	-	-	-	-	-

※消防吏員には、初任教育生13人（条例定数外）を含む。

3 消防職員免許等取得状況

(平成31年4月1日現在)

階級・所属 免許・資格		計	階 級 別 等									所 属 別										
			消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	消 防 事 務 職 員	本 部	厚木消防署				北消防署					
													本 署	南 毛 利 分 署	相 川 分 署	玉 川 分 署	本 署	依 知 分 署	小 鮎 分 署	睦 合 分 署	清 川 分 署	
実 員		266	1	3	18	38	75	28	66	35	2	59	60	22	22	12	24	22	12	22	11	
運 転 免 許	普 通	264	1	3	18	36	75	28	66	35	2	59	60	22	22	12	24	20	12	22	11	
	中 型	8	-	-	-	1	-	-	6	1	-	2	-	1	-	-	1	2	-	1	1	
	大 型	170	-	1	14	27	59	17	45	6	1	34	47	12	13	7	17	14	9	11	6	
	大 型 二 種 免 許	29	-	1	8	10	8	2	-	-	-	7	12	3	2	-	2	2	-	1	-	
	大 型 特 殊	24	-	1	4	9	6	3	1	-	-	6	7	5	3	2	-	-	-	-	1	
	自 動 二 輪	170	-	2	13	25	56	19	37	16	2	37	41	15	16	9	9	13	8	15	7	
危 険 物 取 扱	甲 種	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	
	乙 類	4 類	203	-	1	1	22	66	28	63	22	-	41	48	16	19	8	17	18	9	16	11
		5 類	7	-	1	1	2	1	-	2	-	-	1	1	-	2	-	-	-	1	1	1
		6 類	7	-	1	1	2	1	-	2	-	-	1	2	-	2	-	-	-	1	-	1
丙 種	59	1	3	16	21	16	2	-	-	-	10	13	5	4	5	6	5	6	4	1		
高圧ガス（乙種化学）		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高圧ガス（丙種化学）		5	-	-	3	1	1	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	1	-	-	-	
消 防 設 備 士		3	-	1	-	-	2	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
電 気 工 事 士		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
陸 上 特 殊 無 線		187	-	1	11	15	49	25	66	20	-	34	41	15	17	9	18	18	9	16	10	
ア マ チ ュ ア 無 線		26	-	2	7	11	5	1	-	-	-	9	5	4	-	2	2	1	1	-	2	
2 級 ボ イ ラ ー 取 扱 者		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ボ イ ラ ー 取 扱 技 能		18	-	1	7	2	7	1	-	-	-	5	4	1	3	2	-	-	3	-	-	
玉 掛 技 能 講 習		47	-	1	2	13	17	5	8	1	-	12	20	2	4	-	3	1	2	1	2	
小 型 ク レ ー ン		57	-	-	9	16	19	5	7	1	-	13	26	1	4	1	2	2	3	5	-	
高 所 作 業 車		20	-	1	4	6	7	1	1	-	-	5	11	1	1	-	1	-	-	1	-	
ガ ス 溶 接		66	-	3	12	29	21	1	-	-	-	15	17	6	5	3	4	4	4	5	3	
小 型 船 舶 操 縦 士		88	-	1	11	18	35	8	13	2	-	16	26	8	7	4	8	7	6	3	3	
衛 生 管 理 者		4	-	-	-	-	2	1	1	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
救 急（135H）		99	1	2	17	37	39	2	1	-	-	20	27	9	8	6	7	5	6	8	3	
救 急Ⅱ課 程		25	-	-	1	12	12	-	-	-	-	7	5	1	2	-	1	3	-	6	-	
救 急 標 準 課 程		26	-	-	1	2	16	5	2	-	-	9	8	1	4	1	2	-	1	-	-	
救 急 科		105	-	-	-	4	18	16	51	16	-	13	26	10	6	5	10	13	5	10	7	
救 急 救 命 士		55	-	1	-	11	14	9	14	6	-	8	12	4	8	-	7	6	-	6	4	
応 急 手 当 指 導 員		220	-	2	17	34	72	27	56	12	-	37	56	20	18	10	21	20	12	15	11	
潜 水 士		76	-	-	3	11	22	8	29	3	-	12	28	2	7	1	12	5	4	4	1	
特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者		15	-	-	1	4	6	3	1	-	-	3	4	1	3	-	1	1	1	1	-	

- ※1 厚木消防署本署には、署長、副署長、管理係を含む。
 2 北消防署本署には、署長、副署長を含む。
 3 実員には、初任教育生13人（条例定数外）を含む。

4 消防職員採用・退職状況

(平成31年4月1日現在)

区分	年度	27	28	29	30	31
	定員		249	249	249	249
年度当初実員 (消防学校初任教育生)		249 (14)	258 (12)	262 (15)	262 (13)	266 (13)
採用(4月1日付け)		17	20	11	7	13
市長部局異動(4月1日付け)		1	1	-	△1	△1
採用(10月1日付け)		-	-	-	-	-
市長部局異動(10月1日付け)		-	-	-	-	-
退職		12	7	6	8	-
年度末実員		237	251	256	254	-

- ※1 実員には、神奈川県消防学校初任教育生(人数は括弧内。条例定数外)を含む。
 2 市長部局異動は、市長部局からの異動者と市長部局への異動者を差し引きした人数。

5 消防職員年度別公務災害発生状況

年度	区分	総数	負傷時の状況						治療期間		
			災害活動	演習訓練	救急業務	点検業務	消防業務	その他	1週間未満	1ヶ月未満	1ヶ月以上
27	件数	4	-	2	1	-	-	1	1	3	-
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	4	-	2	1	-	-	1	1	3	-
28	件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	件数	4	-	3	1	-	-	-	-	4	-
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	4	-	3	1	-	-	-	-	4	-
30	件数	2	-	1	1	-	-	-	-	2	-
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	2	-	1	1	-	-	-	-	2	-

6 人事事務

平成 30 年度においては、多様化する消防行政に対応する常備消防組織の確立を図るため、消防司令補、消防士長、消防副士長の各昇任試験を実施しました。

7 衛生管理

職員の安全及び健康管理体制の充実並びに庁舎の環境整備・衛生思想の普及について、さらなる強化を図るため、産業医による巡回相談やメンタルヘルス診断のほか職場点検を実施するとともに、定期健康診断（年 1 回）・特定業務従事者健康診断（隔日勤務者年 1 回）・B型肝炎ワクチン接種他各種予防接種などを実施し疾病の予防に努めています。

8 表彰

神奈川県消防長会

消防功労者表彰

（団体表彰）

救急活動の部 2 部隊

※平成 30 年度中の初期消火等消防協力者に対する消防長表彰等は 4 件で、個人 9 人に対し、礼状を送付いたしました。

9 教育・研修

職員の資質向上を図るため県消防学校等において、教養訓練等を実施しました。

(1) 派遣研修

平成 30 年度中の受講状況

区分	科目	人員	日数	区分	科目	人員	日数
消防大学校	救助科	1	52	消防学校 特別教育	はしご車操作員課程	1	3
救急救命士	東京研修第55期	1	126		特別救助隊員研修	1	5
	指導救命士養成研修	1	30		救急救命士研修	1	1
消防学校 初任教育	初任教育 第214期生	13	114		女性活躍推進研修	2	1
消防学校 専科教育	救急科	11	48		外国人対応研修	2	1
	救助科	2	20	その他	潜水土	2	3
	警防科	1	10		玉掛け技能講習	1	3
	予防査察科	2	10		小型移動式クレーン 技能講習	1	3
	特殊災害科	2	7		酸欠・硫化水素 技能講習	1	3
	火災調査科	1	10		スイフトウォーターレ スキューテクニシャン	1	3
消防学校 特別教育	幹部特別教育 (研修教官)	2	20		ドローン総合コース	8	2
		17			ドローン安全運航管 理者コース	1	1
	水難救助課程	1	5				

(2) 教養研修会等

- ・消防職員教養研修会 (12月)

(3) 現地・教養訓練

- ・救命ボート訓練 (4月)
- ・水防訓練 (5月)
- ・三市水難救助合同訓練 (5月)
- ・現地潜水訓練 (5月・7月)
- ・消防学校潜水訓練 (7月)
- ・震災対応訓練 (9月)
- ・山岳救助連携訓練 (10月)
- ・遊覧船事故合同訓練 (10月)
- ・緊急消防援助隊関東ブロック
合同訓練 (11月～12月)
- ・鉄塔及び送電線に係る訓練 (2月)
- ・緊急自動車運転訓練 (2月)
- ・国民保護共同実動訓練 (3月)
- ・大震災対策合同訓練 (3月)
- ・機関員養成訓練 (4～3月)

消防施設

1 施設整備

- 消防団器具置場 1 個所を整備しました。

施設名	第4分団第3部器具置場
所在地	上荻野36番地1
構造	軽量鉄骨2階建
面積	1階 車庫 39.04㎡ 2階 待機室 39.04㎡ 延べ 78.08㎡
屋根	ガルバリウム鋼板葺き
外壁	窯業系サイディング



2 水利状況

(1) 地区別消防水利設置状況

(平成31年4月1日現在)

区分別		地区別										
		市 合	内 計	厚 木	依 知	睦 合	荻 野	小 鮎	玉 川	南 毛 利	相 川	清 川
総合計		4,392	546	716	626	447	388	314	863	492	161	
消 火 栓	公 設	2,378	250	342	394	300	222	166	480	224	130	
	(水利基準適合)	(1,698)	(186)	(245)	(292)	(219)	(129)	(120)	(343)	(164)	(79)	
合計		1,961	291	367	224	137	162	142	375	263	29	
防 火 水 槽	公 設	小 計	675	42	125	108	73	76	59	132	60	24
		40t未満	190	6	57	18	24	20	17	28	20	4
		40～100t 未 満	462	27	68	84	49	56	42	102	34	19
		100t以上	23	9	-	6	-	-	-	2	6	1
		小 計	1,286	249	242	116	64	86	83	243	203	5
私 設	40t未満	203	32	49	14	10	14	2	48	34	4	
	40～100t 未 満	1,047	209	188	100	53	67	77	187	166	1	
	100t以上	36	8	5	2	1	5	4	8	3	-	
	小 計	53	5	7	8	10	4	6	8	5	2	
そ の 他	プ ー ル 等	(44)	(4)	(6)	(7)	(10)	(3)	(3)	(7)	(4)	(2)	

※消火栓の()は、水利基準適合消火栓、プールの()は、鋼鉄製又はアルミ、FRP製でそれぞれ内数

(2) 耐震性貯水槽の設置状況

東海地震における被害想定に基づき、地震で火災が同時多発すれば、広範囲に延焼する危険が最も大きい地域を重点に耐震性貯水槽を設置しており、100トン以上の主なものは次のとおりです。

No.	所在地	貯水量 (m ³)	設置 年度	型式
1	厚木市旭町1丁目18番 あさひ公園内	100	S53	丸型 6.0m×3.9m
2	厚木市中町4丁目11番 さつき公園内	100	S54	〃
3	厚木市中町1丁目4番3号 立体駐車場西側	100	S55	丸型 6.0m×3.7m
4	厚木市緑ヶ丘3丁目4番 緑ヶ丘西公園内	100	S56	〃
5	厚木市酒井1975番地 旧農協相川支所内	100	S56	〃
6	厚木市妻田東2丁目23番 東河原第1公園内	100	S57	角型 4.0m×14.09m×2.0m
7	厚木市元町9番3号 北児童館内	100	S58	丸型 6.0m×3.7m
8	厚木市岡田4丁目19番5号 三嶋神社境内	100	S59	〃
9	厚木市妻田西1丁目24番 市場公園内	100	S60	〃
10	厚木市長沼244番地 長沼公園内	100	S61	〃
11	厚木市南町24番 すみれ公園内	100	S61	〃
12	厚木市水引2丁目9番 農協本所内	100	S62	〃
13	厚木市旭町4丁目13番 ふじみ公園内	100	S63	〃
14	厚木市林3丁目8番52号 消防団第3分団第1部器具置場敷地内	100	H元	〃
15	厚木市酒井2157番地 白髭公園内	100	H2	〃
16	厚木市三田2735番地1 睦合北公民館内	100	H3	〃
17	厚木市岡田3058番地 中丸公園内	100	H5	〃
18	厚木市寿町3丁目2番10号 厚木中央公園内	100	H6	〃
19	厚木市旭町1丁目30番 どんぐり公園内	100	H8	丸型 6.4m×3.16m
20	厚木市戸室1丁目40番 宮田公園内	100	H9	〃
21	厚木市酒井3009番地 八木間公園内	100	H10	〃
22	厚木市妻田南1丁目21番 中河原けやき公園内	100	H11	〃

消防車両

1 消防車両更新状況

(平成30年度)

車種別	台数	配属先	備考
高規格救急自動車	1	北消防署 睦合分署	更新
水難救助車	1	厚木消防署 本署	更新
拠点機能形成車	1	北消防署 本署	総務省消防庁 無償使用車両

2 消防車両整備の概要

消防車両の保守管理は迅速整備の基本方針で、車両の機能保持を図っています。

(平成30年度)

区分	車種 合計	常備			非常備
		消防ポンプ車	救急車	その他車両	小型動力ポンプ付積載車
法定整備	193	29	16	63	85
車検	49	7	4	19	19
一般整備	200	45	51	50	54

火災予防



秋・春の火災予防運動をはじめ、年間計画に基づく防火対象物の立入検査、歳末火災特別警戒、消防訓練指導等を行い、地域住民並びに事業所等に火災予防と人命の安全確保を呼びかけ、防火意識の高揚に努めています。

1 火災予防運動

(1) 秋季火災予防運動 11月9日～11月15日

ア 重点目標

- (ア) 住宅防火対策の推進
- (イ) 乾燥時及び強風時火災発生防止対策の推進
- (ウ) 放火火災防止対策の推進
- (エ) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (オ) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底

イ 主な実施事項

- (ア) 火災予防広報の実施（各種広報媒体を活用しての広報）
- (イ) 事業所等への協力依頼
- (ウ) 立入検査の実施（特定防火対象物、危険物施設及び多数の者が集合する催しにおける露店等）
- (エ) 消防演習
- (オ) 住宅用火災警報器設置促進戸別訪問
- (カ) 住宅防火診断

(2) 春季火災予防運動 3月1日～3月7日

ア 重点目標

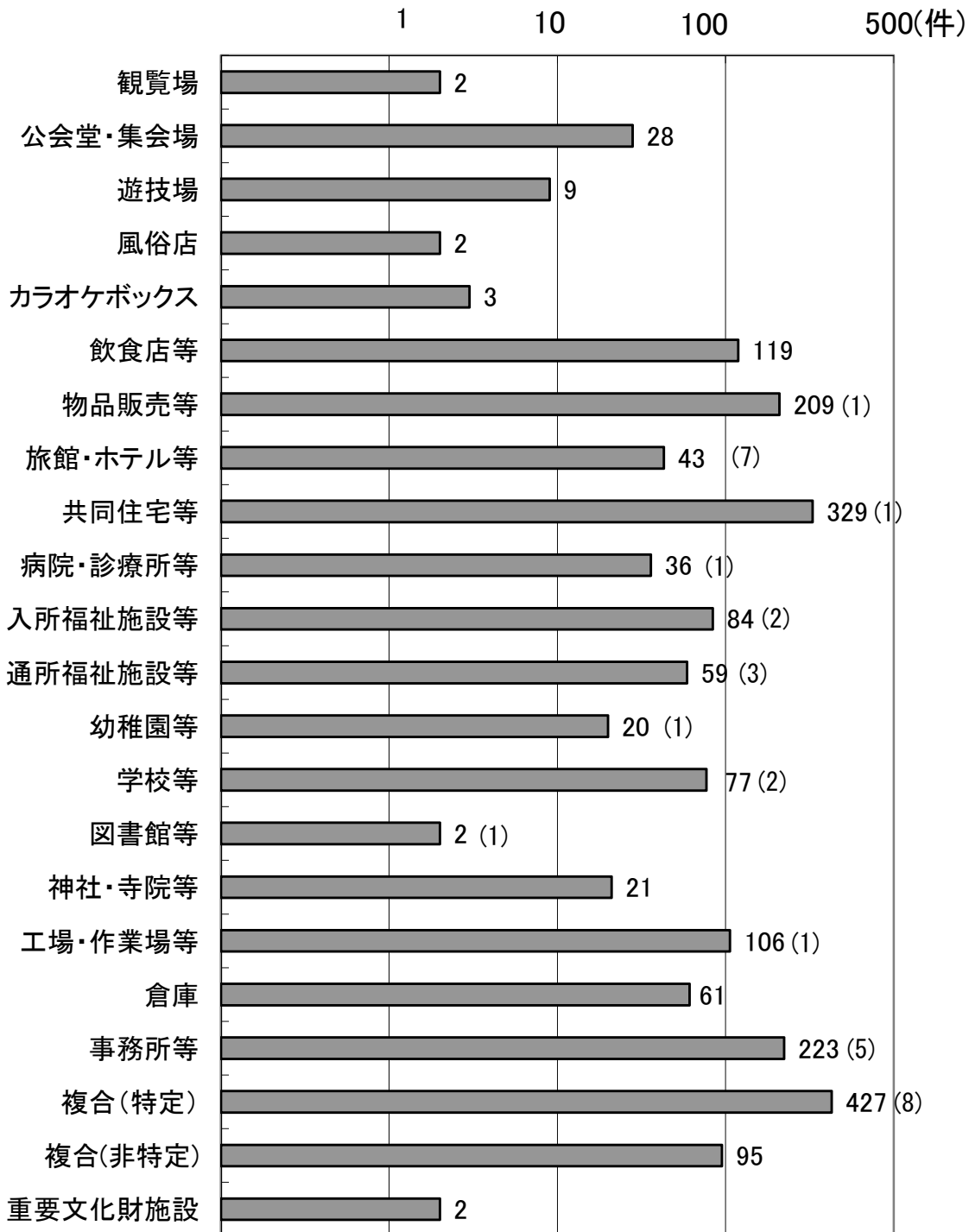
- (ア) 住宅防火対策の推進
- (イ) 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- (ウ) 放火火災防止対策の推進
- (エ) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (オ) 林野火災予防対策の推進

イ 主な実施事項

- (ア) 火災予防広報の実施（各種広報媒体を活用しての広報）
- (イ) 事業所等への協力依頼
- (ウ) 立入検査の実施（特定防火対象物、営業用バス、危険物運搬車両）
- (エ) 林野火災防止標識の点検及び整備
- (オ) 住宅用火災警報器設置促進戸別訪問
- (カ) 住宅防火診断

2 防火管理者等調

防火管理者の選任及び消防計画の届出を必要とする防火対象物 1,957 (33) 件



(平成31年3月31日現在)

※ () 内は清川村の防火対象物数。

3 消防法・火災予防条例に基づく届出等処理状況

(平成30年度)

届 出 別	厚 木 市 届 出 数 (件)	清 川 村 届 出 数 (件)
防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届	732	6
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	413	6
消 防 用 設 備 等 の 点 検 結 果 報 告 書	2,022	14
ポ イ ラ ー 設 備 等	45	-
防 火 対 象 物 使 用 開 始	202	4
水 素 ガ ス を 充 て ん す る 気 球	-	-
催 物 開 催	89	-
ネ オ ン 管 灯 設 備	-	-
喫 煙 等 禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請	40	1
合 計	3,543	31

4 防火対象物定期点検報告制度

◎実施目的及び実施対象物の状況

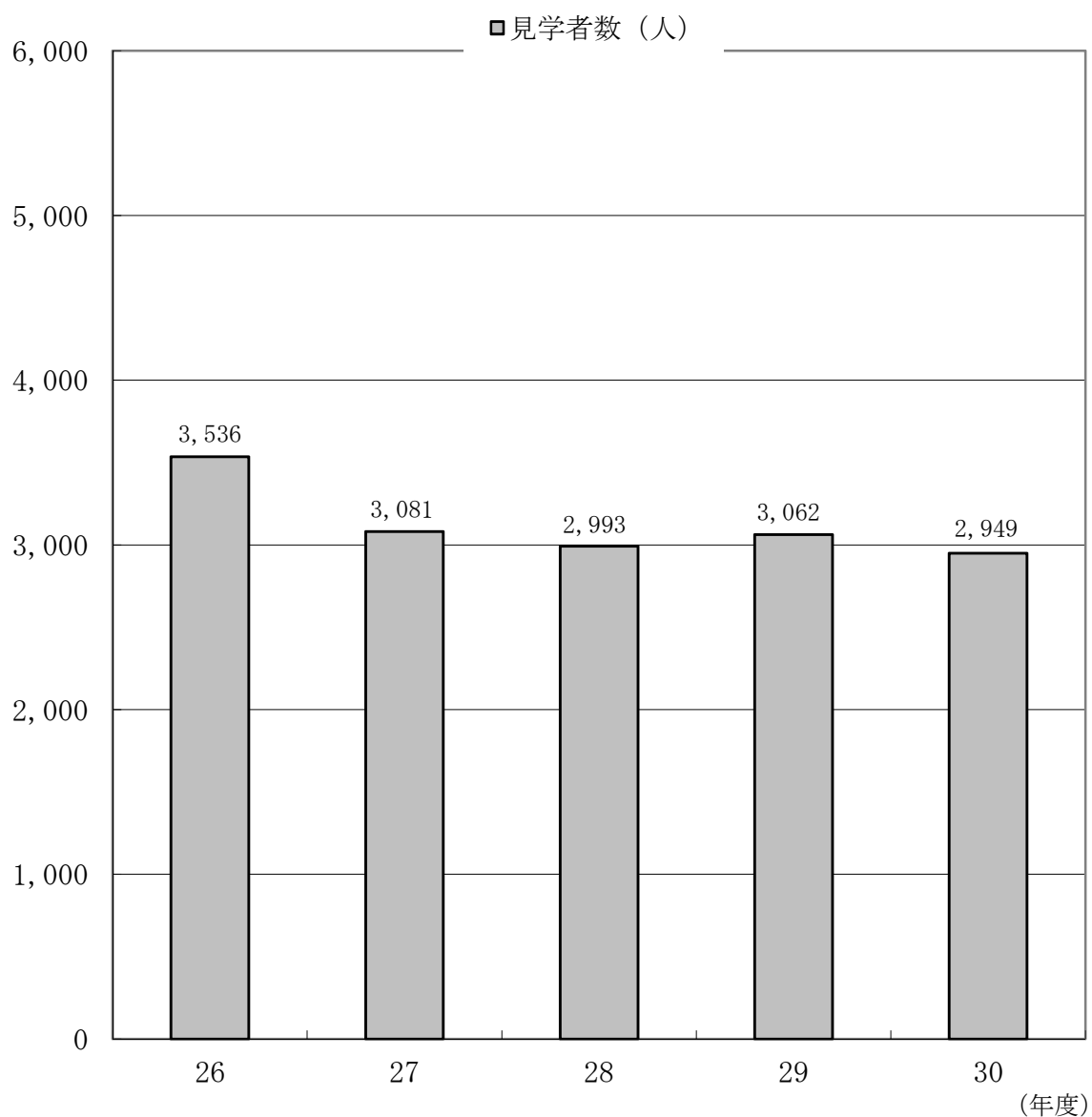
この制度は、旅館、ホテル等不特定多数の者を収容する防火対象物の管理権原者等による防火管理の徹底を図ることを目的に一定の規模、用途の管理権原者等に対し、点検報告を義務付けるもので、消防機関が行う法令要件に該当する旨、又は防火対象物点検基準に適合した建物である旨を「防火優良認定証及び防火基準点検済証」で表示し、広く市民に防火上の情報を提供するとともに、防火安全上の目安に活用してもらうことを目的としています。

平成31年3月31日現在、47件の防火対象物に「防火優良認定証」の表示に係る通知書を交付しています。

5 幼稚園児、小学生の消防署見学の推移

幼稚園等の保育活動及び小学生の社会科校外学習等の一環として、消防署を見学された方々に火災等についての講話を行い、消防署員の訓練状況や消防についての知識を高めていただくとともに、火災予防思想の普及に努めています。

年 度	26	27	28	29	30
見学者数（人）	3,536	3,081	2,993	3,062	2,949



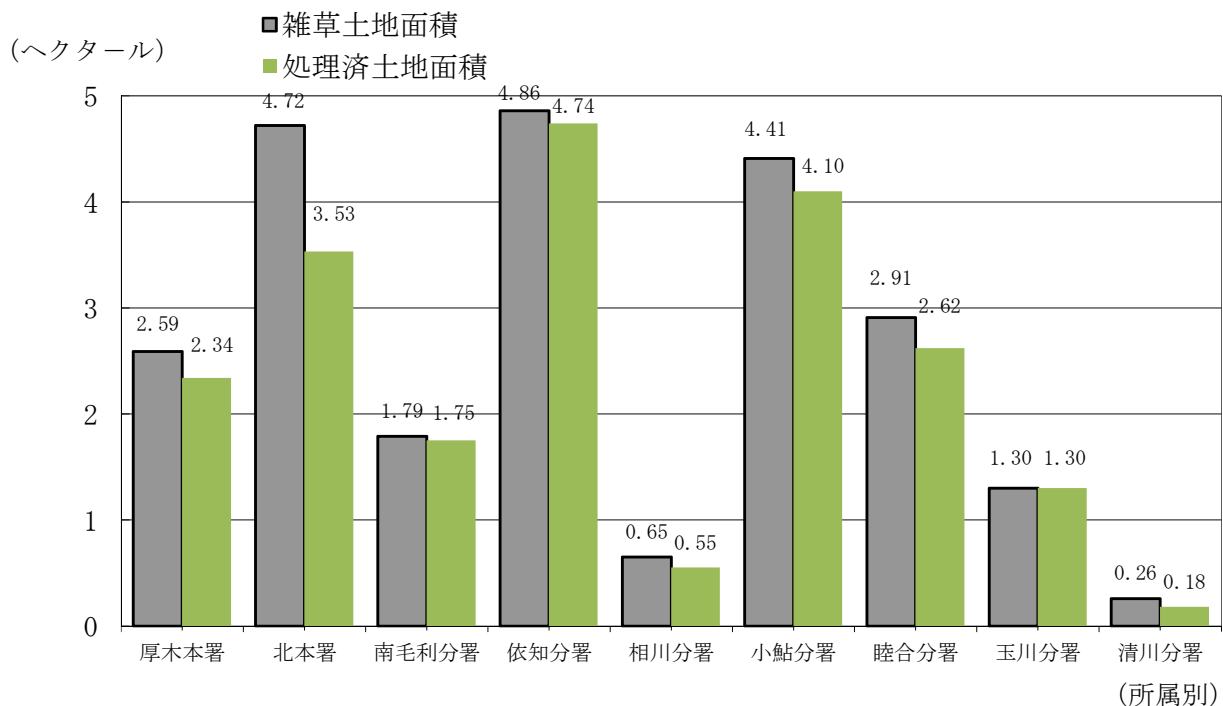
6 雑草地の指導

毎年10月1日から翌年3月31日までを雑草火災防止対策期間として、空き地等に繁茂している火災予防上危険な雑草処理の指導を行いました。

平成30年度中の状況は、10月上旬に実態調査を行った結果、23.49ヘクタール（所有者514人）の雑草地があり、11月に文書等による刈取り依頼、12月に刈取り指導等を行い、1月に最終調査を行った結果、21.11ヘクタール（所有者464人）の雑草地約89.9%が処理されました。

(平成30年度)
単位：ヘクタール

所属別 土地面積等	厚木本署	北本署	南毛利分署	依知分署	相川分署	小鮎分署	睦合分署	玉川分署	清川分署
雑草土地面積	2.59	4.72	1.79	4.86	0.65	4.41	2.91	1.30	0.26
処理済土地面積	2.34	3.53	1.75	4.74	0.55	4.10	2.62	1.30	0.18



7 初期消火協力の推進

不幸にして発生した火災の被害を最小限にとどめるには、適切な初期消火活動が大切です。

そこで、地域住民の方々などによる初期消火活動等の消防協力の推進を図るため、火災に使用した消火器の薬剤の詰め替えをしました。

(平成30年度)

消火協力の あった火災	無償で詰め替えた消火器の本数			
	建物火災	車両火災	林野火災	合計
2件	2本	4本	—	6本

8 立入検査実施状況

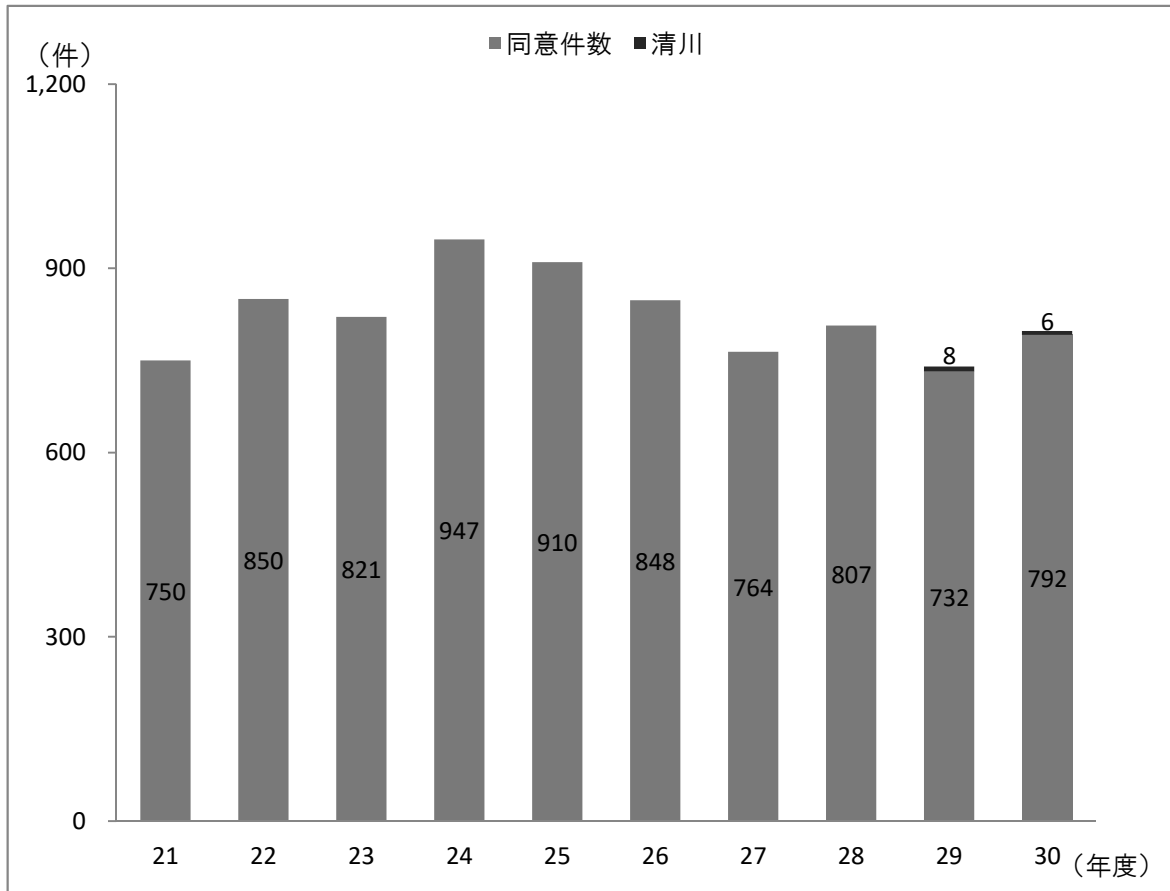
(平成30年度)

用途別 概要	立入 検査 数	指 導 対 象 物 数	指 導 事 項 数	指 導 事 項 内 容						
				設 備 関 係	消 防 用	建 築 物 関 係	火 気 使 用 関 係	電 気 関 係	危 険 物 関 係	防 火 管 理 関 係
観覧場・集会場等	15	14	67	17	5	-	-	-	14	31
物品販売店舗	81 (1)	33	93	31	1	-	-	1	41	19
旅館・ホテル	113	96	174	109	-	2	-	6	36	21
共同住宅	300 (1)	42 (1)	65 (4)	44 (3)	-	-	-	2	15 (1)	4
病院等	87	44	119	58	3	-	-	-	36	22
工場・倉庫等	257	3	52	22	8	-	-	2	12	8
複合用途(特定)	74 (1)	66 (1)	176 (5)	86 (3)	-	-	-	-	48	42 (2)
上記以外の対象物	682 (10)	24 (2)	73 (2)	24 (1)	4	2	-	2 (1)	27	14
その他	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-
危険物施設等	85	50	112	8	3	-	2	99	-	-
合 計	1,721 (13)	372 (4)	931 (11)	399 (7)	24	4	2	112 (1)	229 (1)	161 (2)

(注) ()内は清川村の件数

9 消防同意事務等

(1) 過去10年間の同意件数

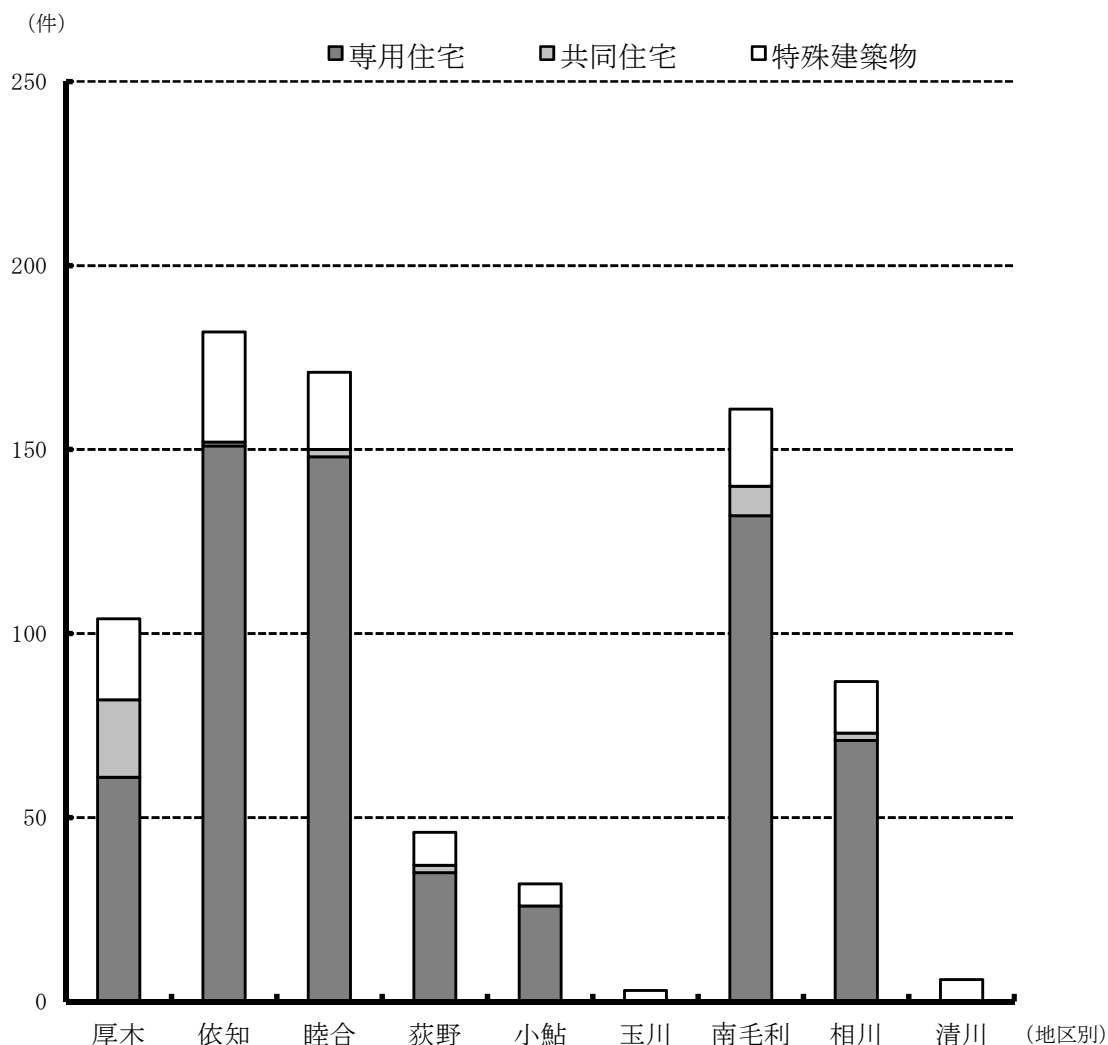


(2) 月別同意件数

(平成30年度)

区分 月	合計件数		新築件数		増築件数		改築件数		用途変更件数		移転件数		その他の件数	
	厚木	清川	厚木	清川	厚木	清川	厚木	清川	厚木	清川	厚木	清川	厚木	清川
4	59	-	55	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-
5	52	1	51	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
6	69	2	66	2	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-
7	82	-	79	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
8	66	-	60	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-
9	41	-	40	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	69	1	67	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
11	82	1	82	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	67	-	65	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
1	74	1	72	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
2	55	-	55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	76	-	69	-	4	-	-	-	3	-	-	-	-	-
合計	792	6	761	6	15	-	-	-	15	-	-	-	1	-

(3) 地区別及び用途別同意件数



(平成30年度)

用途 \ 地区	厚木	依知	睦合	荻野	小鮎	玉川	南毛利	相川	清川	合計
専用住宅	61	151	148	35	26	-	132	71	-	624
共同住宅	21	1	2	2	-	-	8	2	-	36
特殊建築物	22	30	21	9	6	3	21	14	6	132
合計	104	182	171	46	32	3	161	87	6	792

10 防火対象物状況（消防用設備等の設置対象物数を示す。）

（平成31年3月31日現在）

消防法施行令別表第一に掲げる防火対象物の区分		28年度		29年度		30年度		
		厚木市	清川村	厚木市	清川村	厚木市	清川村	
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	6	-	6	-	6	-
	ロ	公会堂・集会場	36	1	37	1	37	1
2	ロ	遊技場・ダンスホール	12	-	13	-	12	-
	ハ	風俗営業等を営む店舗等	2	-	2	-	2	-
	ニ	カラオケボックス等	3	-	3	-	3	-
3	ロ	飲食店	149	-	149	1	143	1
4		百貨店・マーケット等	355	-	354	1	330	1
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	69	11	68	11	68	34
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	4,004	2	3,991	2	3,971	3
6		※詳細は次頁による	270	7	278	7	288	11
7		小学校・中学校・高等学校・大学、各種学校等	263	3	263	3	264	3
8		図書館・博物館・美術館等	3	-	3	-	4	1
11		神社・寺院・教会等	39	1	40	1	40	1
12	イ	工場・作業場	714	4	714	4	707	3
13	イ	自動車車庫・駐車場	66	1	71	1	71	1
14		倉庫	1,045	3	1,052	3	1,051	3
15		前各項に該当しない事業場	1,168	9	1,180	9	1,183	8
16	イ	1～4、5イ、6、9イを含む複合用途防火対象物	800	10	801	10	804	10
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	567	1	568	1	571	1
17		重要文化財施設等	10	-	10	-	10	-
18		延長50m以上のアーケード	1	-	1	-	1	-
合 計			9,582	53	9,604	55	9,566	82

6項詳細

消防法施行令別表第一に掲げる防火対象物の区分		28年度		29年度		30年度		
		厚木市	清川村	厚木市	清川村	厚木市	清川村	
6	イ	(1) 診療科名中に特定診療科名を有し、医療法に規定する療養病床又は一般病床を有するもの	13	2	15	2	14	2
		(2) 診療科名中に特定診療科名を有し、4人以上の患者を入院させるための施設を有するもの	2	-	2	-	2	-
		(3) 病院（(1)に掲げるものを除く。）、患者を入院させるための施設を有する診療所（(2)に掲げるものを除く。）又は入院施設を有する助産所	9	-	9	-	9	2
		(4) 患者を入院させるための施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所	69	-	66	-	68	1
	ロ	(1) 高齢者施設 避難が困難な要介護者を主として入居させるもの	63	2	69	2	73	2
		(2) 救護施設等	-	-	-	-	-	-
		(3) 乳児院	-	-	-	-	-	-
		(4) 障害児入所施設等	-	-	-	-	-	-
		(5) 障害者施設 避難が困難な障害者等を主として入所させるもの	21	-	22	-	24	1
	ハ	(1) 高齢者施設 6項ロ(1)に掲げるものを除くもの	19	1	18	1	17	1
		(2) 更生施設等	-	-	-	-	-	-
		(3) 助産施設、保育所等	27	1	28	1	31	1
		(4) 児童発達支援センター等	-	-	1	-	1	-
		(5) 障害者施設 6項ロ(5)に掲げるものを除くもの	27	-	27	-	28	-
	ニ	幼稚園等	20	1	21	1	21	1
	合 計		270	7	278	7	288	11

11 高層建築物の状況

(1) 高層建築物数 115件

(軒の高さが31メートルを超える建築物及び地階を除く階数が11以上の建築物。)

(2) 主な高層建築物

(平成31年3月31日現在)

番号	名称	所在地	階数 (地上/地下)	軒の高さ (m)	延面積 (㎡)	用途
1	厚木アクストメインタワー	岡田3050	26/1	107	57,400	(16)ロ
2	リヴァージュ21	東町2-1	21/1	69	18,800	(16)イ
3	厚木ビジネスタワー	中町3-16-1	16/1	59	11,800	15
4	メイテック関東テクノセンター	森の里青山15	14/1	55	12,100	15
5	日産テクニカルセンター103号棟	岡津古久560-2	10/2	51	106,900	15
6	神奈川工科大学情報学部棟	下荻野1030	13/1	51	16,343	7
7	第1伊藤ビル	旭町1-24-13	12/1	50	9,700	15
8	リーフィアレジデンス本厚木	栄町2-7-12	16/0	48	7,600	(5)ロ
9	信金中央金庫厚木システムセンター	森の里青山22	9/1	47	43,600	15
10	ルリエ本厚木	寿町3-1	14/2	46	19,800	(16)イ
11	ポレスター本厚木	泉町13-10	15/0	45	4,000	(5)ロ
12	神奈川県消防学校(第1訓練場)	上落合57	11/0	44	3,800	7
13	プレシス本厚木エクシア	栄町1-1-2	15/0	44	4,700	(5)ロ
14	ポレスター本厚木セントラルパークス	寿町2-2-5	15/0	44	9,620	(5)ロ
15	エクセル本厚木	旭町2-1-3	14/1	44	8,900	(5)ロ

※ 用途は、消防法施行令別表第一に掲げる用途区分による。

(3) 地区別・中高層建築物数

(平成31年3月31日現在)

地区	階層	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階	21階	26階	合計 (棟)
厚木		588	121	160	98	76	53	38	15	12	17	11	19	5	2	1	-	1,216
依知		219	34	9	3	2	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	271
睦合		370	68	77	9	5	2	1	1	-	-	2	1	-	-	-	-	536
荻野		85	17	39	1	4	6	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	155
小鮎		80	17	11	3	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	116
玉川		52	40	18	4	5	4	3	1	-	-	-	1	-	-	-	-	128
南毛利		460	68	57	31	17	2	4	1	3	2	-	4	-	-	-	-	649
相川		180	35	50	6	9	3	1	2	1	-	-	-	-	-	-	1	288
清川		2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
合計 (棟)		2,036	406	421	155	120	73	50	22	16	20	14	25	5	2	1	1	3,367

12 消防用設備等着工・設置届出状況

(平成30年度)

設備名	着工届出数	設置届出数
消火器	-	87
屋内消火栓設備	24	23
スプリンクラー設備	33	27
泡消火設備	1	2
不活性ガス消火設備	2	1
ハロゲン化物消火設備	3	4
粉末消火設備	8	8
屋外消火栓設備	12	9
動力消防ポンプ設備	-	2
自動火災報知設備	166	185
ガス漏れ火災警報設備	1	2
漏電火災警報器	-	-
消防機関へ通報する火災報知設備	23	23
非常警報設備(ベル)	-	-
非常警報設備(放送)	-	49
避難器具	29	23
誘導灯	-	129
誘導標識	-	1
消防用水	-	1
排煙設備	1	6
連結散水設備	-	1
連結送水管	2	5
非常コンセント設備	-	-
パッケージ型消火設備	7	7
合計	312	595

13 危険物施設

(1) 危険物

一般的に危険物とは、引火性物質、爆発性物質、毒劇物あるいは放射性物質などの危険性のあるものを称している場合が多く、消防法上の危険物は消防法第2条第7項において「別表第一の品名欄に掲げる物品で、同表の性質欄に掲げる性状を有するものをいう。」と定義されています。

なお、消防法では指定数量以上の危険物の貯蔵、取扱いを原則的には禁止しており指定数量以上の危険物を貯蔵、取り扱う場合は許可を受けなければならないと規定され貯蔵、取扱いの許可を受けた施設が「危険物施設」であります。

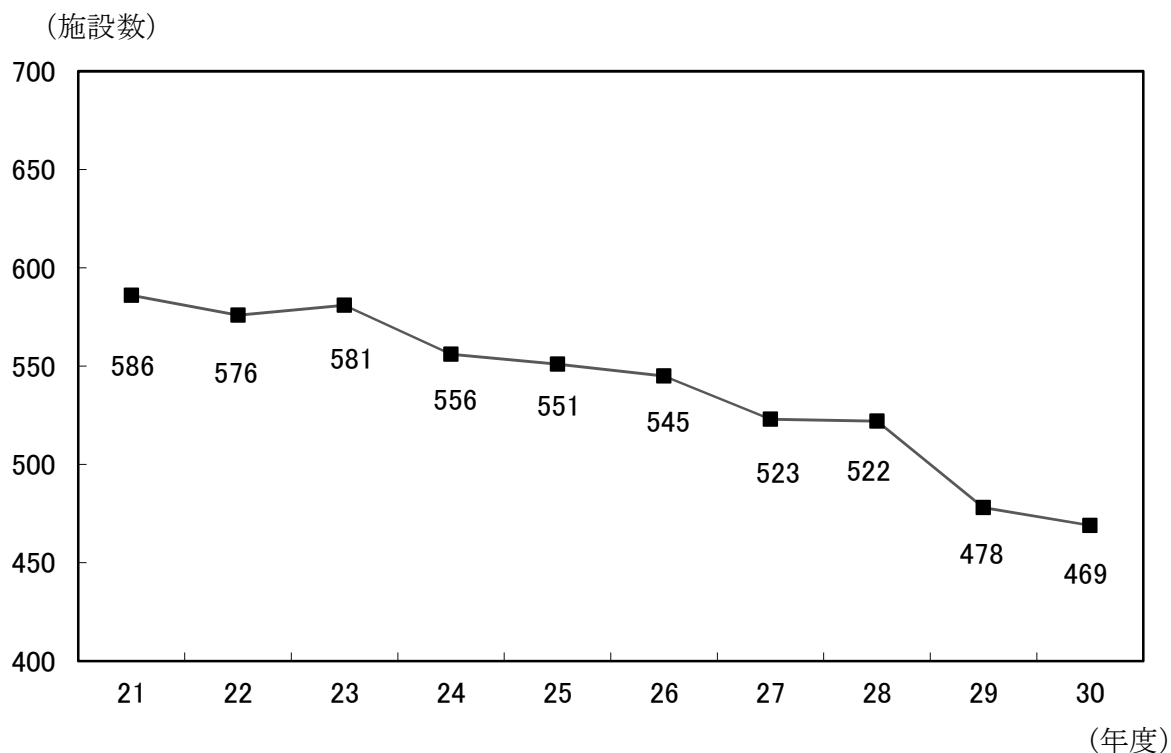
また、危険物はあらゆる生活分野に浸透している石油製品等に代表されるように、社会生活の向上に大きく貢献している反面、ひとたびその取扱い等を誤ると火災や爆発事故等の災害を引き起こす潜在的な危険性を有しています。

(2) 危険物施設の状況

危険物施設数は、平成31年3月31日現在469施設となっております。

施設別にみると地下タンク貯蔵所が100施設（21.3%）で最も多く、次に屋内貯蔵所が99施設（21.1%）、一般取扱所が87施設（18.6%）の順となり、また、地区別にみると依知地区及び南毛利地区に施設が多く設置されていますが、これは両地区に工業団地があり工場等が多数存在しているためです。

(3) 過去10年間の危険物施設の推移



14 地区別危険物施設

(平成31年3月31日現在)

地区別		合計	厚木	依知	睦合	荻野	小鮎	玉川	南毛利	相川	緑ヶ丘	清川村	構成比 (%)
施設別	計	469	42	122	55	29	41	54	65	45	5	11	100
製造所		3	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	0.6
貯蔵所	屋内	99	3	32	6	7	6	17	12	14	2	-	21.1
	屋外タンク	21	-	12	-	-	3	1	3	2	-	-	4.5
	屋内タンク	10	4	2	-	-	-	1	-	2	-	1	2.1
	地下タンク	100	11	26	4	3	6	13	20	12	-	5	21.3
	簡易タンク	8	-	1	-	3	1	2	1	-	-	-	1.7
	移動タンク	44	8	-	26	4	3	-	-	-	-	3	9.4
	屋外	13	-	7	-	-	3	-	3	-	-	-	2.8
取扱所	給油(営業)	39	3	8	5	4	4	1	7	6	-	1	8.3
	給油(自家)	43	1	9	5	5	5	3	7	6	1	1	9.2
	第1種販売	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2
	第2種販売	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	0.2
	一般	87	11	23	8	3	9	16	12	3	2	-	18.6

15 危険物施設等立入検査状況

(平成30年度)

施設別	計	製造所	貯蔵所							取扱所			
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	第1種販売	第2種販売	一般
施設数	469	3	99	21	10	100	8	44	13	82	1	1	87
検査実施施設数	85	-	4	-	-	6	-	18	7	40	-	-	10
延べ人員	186	-	9	-	-	16	-	54	-	78	-	-	29
指導施設数	33	-	4	-	-	2	-	1	-	23	-	-	3
指導事項数	97	-	11	-	-	8	-	1	-	49	-	-	28

※移動タンク貯蔵所の検査実施施設数は、他市町村長の許可施設を含む。

16 危険物施設の事務処理状況

消防法の規制を受ける危険物施設の平成30年度中における設置許可、変更許可及び完成検査等の事務取扱い件数は192件あり、このうち設置及び変更許可は72件、完成検査は67件でした。

また、届出等の事務取扱い件数は302件で、そのうち主なものは危険物製造所等資料提出（取扱者関係を含む。）が223件、次に保安監督者選任（解任）届が53件となっています。

(平成30年度)

施設別 区分		計	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				
				屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油	第 1 種 販 売	第 2 種 販 売	一 般
合 計		494	2	49	8	7	57	3	28	29	126	-	-	185
許 可	設 置	9	-	2	-	-	-	-	2	2	1	-	-	2
	変 更	63	-	1	1	1	2	-	1	1	14	-	-	42
完 成	設 置	11	-	1	1	-	-	-	4	1	1	-	-	3
	変 更	56	-	1	1	1	2	-	1	1	13	-	-	36
仮 使 用		53	-	1	-	1	-	-	-	-	12	-	-	39
小 計		192	-	6	3	3	4	-	8	5	41	-	-	122
種類、数量変更届		3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
譲 渡 引 渡 届		4	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
廃 止 届		19	-	-	2	-	2	-	5	5	1	-	-	4
保安監督者選任(解任)届		53	-	13	1	-	5	1	-	-	23	-	-	10
資 料 提 出	取扱者関係	24	-	1	-	1	7	-	6	4	-	-	-	5
	そ の 他	199	1	27	2	3	39	2	8	14	61	-	-	42
小 計		302	2	43	5	4	53	3	20	24	85	-	-	63

17 少量危険物等届出状況

(平成30年度)

施設別 区分	合 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	移 動 タンク	屋 外 貯 蔵 所	販 売 所	取 扱 所
平成30年度届出数	28	10	-	1	-	1	6	-	10
平成30年度廃止届出数	18	3	3	1	1	4	2	-	4
合 計	46	13	3	2	1	5	8	-	14

18 危険物手数料

(1) 手数料納入額

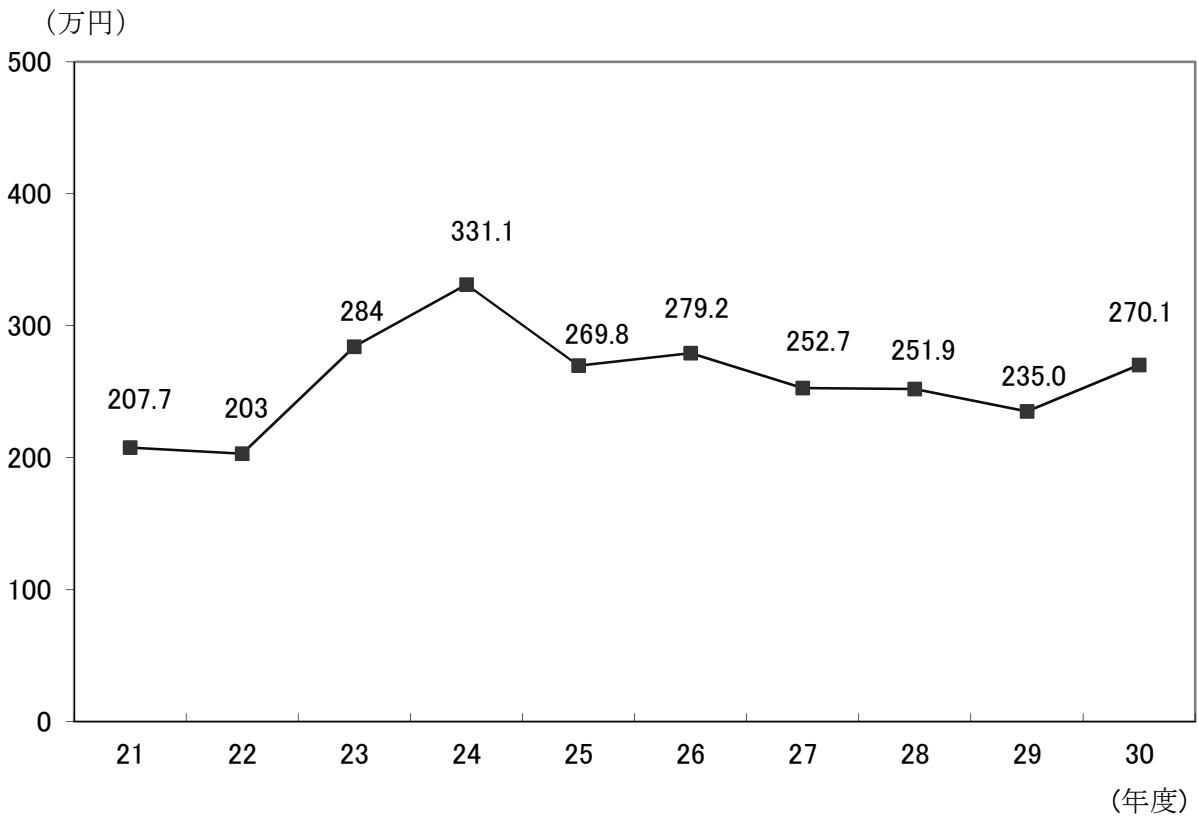
指定数量以上の危険物を貯蔵又は取扱いをする場合及び指定数量以下の少量危険物を貯蔵又は取扱いをするタンクの水張検査等を受ける場合の市条例に基づく手数料納入額です。

(平成30年度)

区分	合計	許 可 及 び 完 成 検 査			タンク検査		仮貯蔵・仮取扱・仮使用		
		設置許可	変更許可	完成検査	水張	水圧	仮貯蔵	仮取扱	仮使用
金額(円)	2,701,650	254,000	1,324,000	750,250	—	11,000	27,000	43,200	286,200
					—	6,000			

※タンク検査欄の下段は、指定数量未満の危険物等の手数料納入額

(2) 過去10年間の危険物手数料の推移



19 予防広報映像所有一覧

(貸出しに必要なもの ①申込書 ②認定証 ③身分証明書等 ②③は提示するか写しを添付)

題 名	種 類	映写時間(分)	備 考
トラちゃんの消防隊長	VHS	15	児童用
森と子どもの歌	VHS	15	
わたしたちの防火	VHS	35	
ケンちゃんと防災家族	VHS	18	
スーパーマリオの消防隊	VHS	10	
ドラゴンボール悟空の消防隊	VHS	11	
マリーベルの火の用心	VHS	11	
タイムスリップ 1923	VHS	15	
レッツゴーなかまたち	VHS	15	
消火ロボゼウレス	VHS	15	
忍たま乱太郎の地震用心火の用心	VHS	11	
レスキューQ太のかつやく	VHS	15	
忍たま乱太郎の消防隊	VHS	22	
カルガモ親子の火の用心	VHS	13	
しましまとらのしまじろうの消防隊	DVD・VHS	10	
おじいちゃんが残してくれたもの	DVD	10	
やめよう火あそび火事のもと	DVD	12	
桃太郎の火あそびやめよう火の用心	DVD	10	
ズッコケ三人組のぼうさい教室	DVD	14	
火災事例から学ぶ(雑居ビル等)	DVD	32	
高層住宅火災から生命を守る	VHS	17	
地震だ!その時どうする?	DVD	18	地震関係
急襲 津波災害に備える	VHS	25	
地震の知識と対策	VHS	23	
地震だ!火を消せ!!(手話付き)	VHS	25	
1995阪神大震災	VHS	22	
阪神大震災の教訓	VHS	20	
家庭の地震対策 No.1	VHS	10	
職場の地震対策 No.2	VHS	10	
マグニチュード 明日への架け橋	VHS	90	
火災事例から学ぶ(店舗火災編)	DVD	44	
未然に防ごう!電気器具火災	DVD	14	
防火管理で火の用心	VHS	18	
大型店舗防火管理の知識	VHS	20	
防火管理者のしごと	VHS	20	
火災から職場を守るには	VHS	17	
力をあわせて防火管理	VHS	20	
あなたは今日から防火管理者	VHS	20	
火災の恐怖から守れ!老人と子供	VHS	15	
旅館・ホテルの自衛消防活動	VHS	30	
火災その時あなたは	VHS	20	
火災の悲劇を防ぐ	VHS	22	
火災を断つ	VHS	19	
いざという時こうする	VHS	16	
火災!あなたの工場は大丈夫?	VHS	27	
猛煙からの脱出	VHS	20	
もしもそのとき...火災を科学する	VHS	30	
煙火災と有毒ガス	VHS	19	
家族でガッテン	VHS	25	
ドラマでわかる初期対応	VHS	26	
あなたのお宅は安心ですか?	VHS	18	
あなたと防災	VHS	20	
住宅火災 あなたの家庭は大丈夫?	VHS	20	
住宅火災から学ぶ	VHS	25	
うっかり町の屋根の下	VHS	25	
うっかり町は大騒ぎ	VHS	20	
家族de防火	VHS	20	
防火対策と防火製品	VHS	17	
火災・煙・有毒ガス	VHS	22	
ホテル旅館・ビルの防火対策	VHS	16	
住宅火災から命を守る	VHS	21	
出来ることから始めよう	VHS	20	
みんな実践!職場の防火管理	VHS	19	

警

防



火災の概要

平成30年中の火災は55件で、前年に比べ5件の減少となっています。これは、約7日に1件の割合で火災が発生したことになります。

この火災件数を種別ごとにみると、建物火災が27件（全火災の49.1%）、林野火災が1件（1.8%）、車両火災が7件（12.7%）、その他の火災が20件（36.4%）となっています。これらを前年と比較すると、建物火災が3件増加し、車両火災が4件、林野火災が1件、その他火災が3件それぞれ減少しました。

また、火災による死傷者については、死者2人、負傷者4人で前年に比べ死者は2人増加し、負傷者は増減なしでした。

損害見積額は、88,142千円で、前年と比較すると27,629千円の増加となっています。

なお、出火原因別の出火件数を多い順にみると（その他、不明・調査中を除く。）、放火（疑い含む。）17件、配線器具4件、こんろ3件、たき火3件と続いています。

また、放火（疑い含む。）の件数は、全体の30.9%を占めています。

1 火災種別死傷者発生調

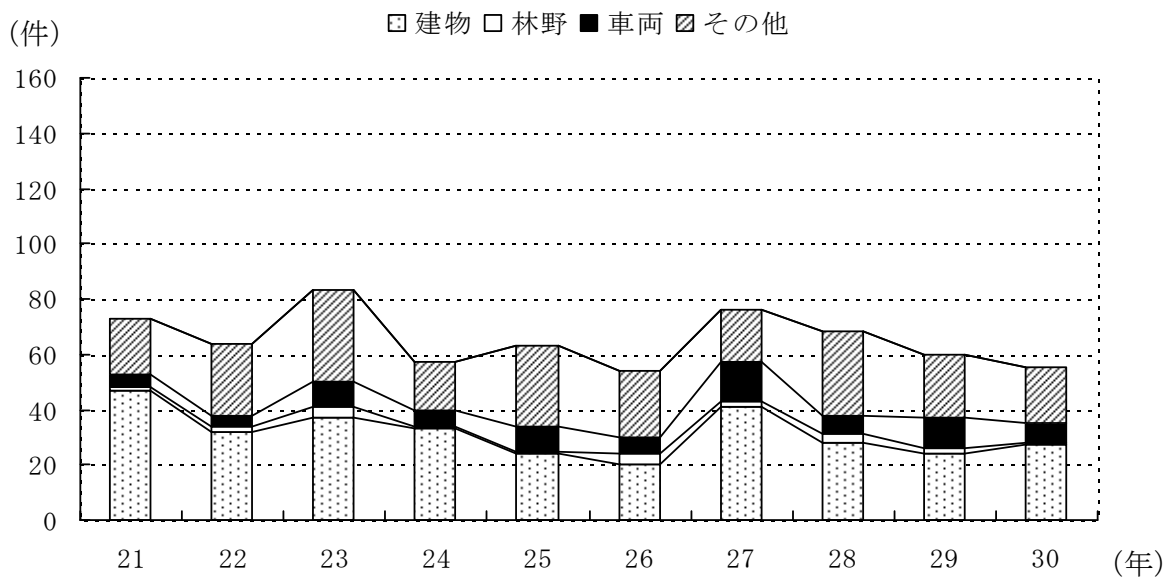
死傷者等		火災種別				合計
		建物	林野	車両	その他	
29年	件数	24	2	11	23	60
	死者	-	-	-	-	-
	負傷者	3	-	-	1	4
30年	件数	27	1	7	20	55
	死者	2	-	-	-	2
	負傷者	4	-	-	-	4

2 火災概況調

平成31年1月1日 人口 225,247人

区分	件数等	摘要
火災発生件数	55件	建物27、林野1、車両7、その他20（件）
建物焼損面積	867㎡	平成29年 314㎡
林野焼損面積	1a	平成29年 19a
建物焼損棟数	27棟（類焼含む）	全焼9、半焼1、部分焼5、ぼや12（棟）
損害額	88,142千円	平成29年 60,513千円
り災世帯数	24世帯	全損7、半損0、小損17（世帯）
死者	2人	平成29年 0人
負傷者	4人	平成29年 4人
1日当たり発生件数	0.15件	平成29年 0.16件
1日当たり建物焼損面積	2.38㎡	平成29年 0.86㎡
1日当たり林野焼損面積	0.0027a	平成29年 0.0052a
1日当たり建物焼損棟数	0.074棟	平成29年 0.065棟
1日当たり損害見積額	241千円	平成29年 165千円
1日当たりのり災世帯数	0.066世帯	平成29年 0.03世帯
住民1人当たりの損害見積額	391円	平成29年 267円
1件当たりの損害見積額	1,603千円	平成29年 1,008千円

3 過去10年間の火災件数



種別	年別	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
建 物		47	32	37	33	24	20	41	28	24	27
林 野		1	2	4	1	1	4	2	3	2	1
車 両		5	4	9	6	9	6	14	7	11	7
そ の 他		20	26	33	17	29	24	19	30	23	20
合 計		73	64	83	57	63	54	76	68	60	55

4 主要火災原因別累年比較調

区分	たばこ	たき火	火遊び	こんろ	放火	放火の疑い	風呂かまど	ストーブ	ライター	マツチ	煙突・煙道	電灯・電話等の配線	配線器具	その他	不明・調査中	合計
25	7	5	1	3	14	10	-	-	-	-	-	-	1	9	13	63
26	9	7	-	-	7	3	-	2	-	-	-	-	-	14	12	54
27	7	2	2	8	16	3	1	-	2	-	-	-	4	19	12	76
28	4	2	5	4	19	3	-	-	2	-	4	4	3	10	12	68
29	5	7	-	2	14	2	-	1	1	-	2	2	2	16	8	60
30	2	3	1	3	9	8	-	1	1	-	1	4	4	16	6	55

5 損害見積額累年比較調

(単位：千円)

火災種別 \ 年別	26	27	28	29	30
建 物	44,353	103,895	139,097	40,072	69,508
林 野	—	—	8	—	—
車 両	3,199	3,800	11,060	13,186	17,774
そ の 他	2,256	548	1,392	7,255	860
合 計	49,808	108,243	151,557	60,513	88,142

6 全国・県・市火災発生状況調

(平成30年中)

区分 \ 種分	火 災 件 数							損害額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	
全 国	37,900	20,703	1,365	3,653	69	1	12,109	73,347,268
神奈川県	1,886	1,148	10	173	3	—	552	4,774,991
厚 木 市	55	27	1	7	—	—	20	88,142

7-1 月別・曜日別火災発生状況 (その1)

(平成30年中)

火災種 月・曜日別	火災件数				焼損棟数				り災世帯数			焼損面積					
	建物	屋外			爆発	火元			計	全損	半損	小計	計	焼損床面積 (m ²)	焼損表面積 (m ²)	林野 (a)	その他 (m ²)
		船舶	航空機	車両		林野	その他	全焼									
1月	1	-	-	-	3	-	-	1	-	-	1	1	9	-	-	-	
2月	1	-	2	1	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	
3月	3	-	1	2	6	2	-	3	1	-	1	1	150	8	-	2	
4月	1	-	-	1	2	1	-	1	-	-	1	1	27	-	-	-	
5月	2	-	-	2	4	-	-	2	-	-	2	3	2	-	-	-	
6月	5	-	1	1	7	2	1	5	2	-	2	3	264	165	-	-	
7月	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8月	3	-	1	1	5	-	-	3	-	-	4	10	-	-	1	-	
9月	2	-	1	1	4	1	-	2	1	1	3	9	117	47	-	-	
10月	2	-	1	3	6	-	-	2	-	-	-	-	11	-	-	4	
11月	2	-	-	3	5	1	-	2	-	-	2	7	78	-	-	1	
12月	5	-	-	2	7	2	-	5	1	2	3	17	209	11	-	-	
合計	27	-	7	1	55	9	1	27	1	2	24	52	867	232	1	7	

曜日別	火災件数				焼損棟数				り災世帯数			焼損面積								
	建物	船舶	航空機	車両	林野	その他	爆発	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小計	計	焼損床面積 (m ²)	焼損表面積 (m ²)	林野 (a)	その他 (m ²)
日曜日	4	-	-	2	-	6	12	-	-	2	2	9	-	-	2	9	21	12	-	4
月曜日	6	-	-	1	-	3	10	2	-	1	3	13	2	-	5	13	287	208	-	2
火曜日	5	-	-	1	-	4	10	1	-	1	3	5	1	-	1	3	81	-	-	-
水曜日	1	-	-	2	-	1	4	-	-	-	1	4	-	-	1	4	-	-	-	-
木曜日	3	-	-	-	-	1	4	-	-	1	2	3	-	-	3	8	25	-	-	-
金曜日	4	-	-	-	-	2	6	3	-	1	4	12	1	-	5	12	251	11	-	1
土曜日	4	-	-	1	1	3	9	3	-	-	-	3	3	-	-	3	202	1	1	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

7-2 月別・曜日別火災発生状況 (その2)

(平成30年中)

火災種別 月・曜日別	死傷者			損害額(千円)						合計		
	死者	負傷者	30日死者	建築物		船舶	航空機	車両	林野		その他	爆発
				建造物	收容物							
1月	1	-	-	207	23	-	-	-	-	70	-	300
2月	-	-	-	-	200	-	-	15,184	-	78	-	15,462
3月	-	1	-	10,889	693	-	-	922	-	269	-	12,773
4月	-	-	-	544	129	-	-	-	-	33	-	706
5月	-	1	-	392	119	-	-	-	-	-	-	511
6月	-	1	-	19,971	4,069	-	-	390	-	7	-	24,437
7月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8月	-	-	-	3	31	-	-	23	-	-	-	57
9月	-	-	-	18,386	1,768	-	-	12	-	54	-	20,220
10月	-	-	-	1,225	2,168	-	-	89	-	-	-	3,482
11月	1	-	-	602	898	-	-	120	-	349	-	1,969
12月	-	1	-	5,707	1,484	-	-	1,034	-	-	-	8,225
合計	2	4	-	57,926	11,582	-	-	17,774	-	860	-	88,142
日曜日	1	-	-	725	93	-	-	1,154	-	668	-	2,640
月曜日	1	1	-	30,593	3,483	-	-	15,156	-	-	-	49,232
火曜日	-	1	-	7,230	3,497	-	-	28	-	103	-	10,858
水曜日	-	-	-	10	-	-	-	112	-	78	-	200
木曜日	-	-	-	247	640	-	-	-	-	-	-	887
金曜日	-	1	-	10,354	2,381	-	-	1,154	-	-	-	13,889
土曜日	-	1	-	8,767	1,488	-	-	170	-	11	-	10,436
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

8-1 時刻別火災発生状況 (その1)

(平成30年中)

火災種別 時刻別	火災件数				焼損棟数				り災人員			焼損面積														
	屋外				火元				り災世帯数			焼損面積														
	建物	船舶	航空機	車両	林野	その他	計	爆発	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	計	焼損床面積 (m ²)	焼損表面積 (m ²)	林野 (a)	その他 (m ²)					
00-01	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
01-02	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4				
02-03	1	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	27	-	-	-				
03-04	2	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-				
04-05	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-				
05-06	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
06-07	2	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-				
07-08	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-				
08-09	1	-	-	1	-	2	-	1	-	-	2	-	3	1	-	-	3	91	11	-	-	-				
09-10	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
10-11	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
11-12	1	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
12-13	2	-	-	1	-	4	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	80	-	-	-	-				
13-14	3	-	-	-	-	3	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-				
14-15	1	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	97	-	-	-	-				
15-16	1	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	3	1	-	-	3	117	45	1	-	-				
16-17	2	-	-	1	-	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-				
17-18	3	-	-	-	-	3	-	1	-	-	2	-	1	-	-	-	-	78	2	-	-	-				
18-19	1	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
19-20	1	-	-	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-				
20-21	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
21-22	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	70	-	-	-	-				
22-23	1	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	78	-	-	-	1				
23-24	1	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	161	161	-	-	2				
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
合計	27	-	-	7	1	20	55	9	1	5	12	27	-	1	2	4	7	7	7	17	24	52	867	232	1	7

8-2 時刻別火災発生状況 (その2)

(平成30年中)

時刻別 火災種別	死傷者		損害額(千円)							合計		
	死者	負傷者	30日死者	建物		船舶	航空機	車両	林野		その他	爆発
				建造物	収容物							
00-01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
01-02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78	-	78
02-03	-	-	-	544	129	-	-	12	-	54	-	739
03-04	1	-	-	247	417	-	-	-	-	-	-	664
04-05	-	-	-	20	3	-	-	922	-	269	-	1,214
05-06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
06-07	-	-	-	1,617	1,537	-	-	-	-	-	-	3,154
07-08	1	-	-	207	23	-	-	-	-	-	-	230
08-09	-	1	-	4,496	1,371	-	-	1,034	-	7	-	6,908
09-10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10-11	-	-	-	-	200	-	-	-	-	-	-	200
11-12	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	10
12-13	-	-	-	4,864	30	-	-	23	-	-	-	4,917
13-14	-	-	-	3	760	-	-	-	-	-	-	763
14-15	-	-	-	505	30	-	-	28	-	-	-	563
15-16	-	-	-	18,356	1,765	-	-	-	-	-	-	20,121
16-17	-	-	-	696	1,173	-	-	15,156	-	-	-	17,025
17-18	-	-	-	632	895	-	-	120	-	-	-	1,647
18-19	-	-	-	-	462	-	-	-	-	33	-	495
19-20	-	-	-	9	-	-	-	309	-	-	-	318
20-21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21-22	-	1	-	6,005	228	-	-	-	-	-	-	6,233
22-23	-	1	-	7,715	1,329	-	-	170	-	-	-	9,214
23-24	-	-	-	12,000	1,230	-	-	-	-	419	-	13,649
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	2	4	-	57,926	11,582	-	-	17,774	-	860	-	88,142

9 月別原因別火災発生状況

(平成30年中)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
原因別													
たばこ	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2
こんろ	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	3
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
焼却炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ストーブ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排気管	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
電気機器	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	2
電気装置	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
電灯・電話等の配線	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
内燃機関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配線器具	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4
火あそび	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
マッチ・ライター	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
たき火	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	3
溶接機・溶断機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
灯火	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2
衝突の火花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取灰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
火入れ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放火	2	1	-	-	-	-	-	-	1	2	3	-	9
放火の疑い	-	-	2	1	1	1	1	1	-	-	-	1	8
その他	-	2	2	-	-	1	-	1	-	3	-	2	11
不明・調査中	-	-	1	1	1	2	-	-	-	-	1	-	6
合計	3	5	6	2	4	7	1	5	4	6	5	7	55

10-1 原因別火災発生状況 (その1)

平成30年中)

火災種別 原因別	火災件数				焼損棟数				り災世帯数			焼損面積			
	建物	屋外			爆発	火元			全焼	半焼	計	床焼面積損 (㎡)	表焼面積損 (㎡)	林野 (a)	その他 (a)
		船舶	航空機	車両		その他	全焼	半焼							
たばこ	1	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
こんろ	3	-	-	-	3	-	-	3	-	2	25	2	-		
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
焼却炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ストーブ	1	-	-	-	1	-	-	1	-	1	9	-	-		
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
排気管	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-		
電気機器	1	-	1	-	2	-	-	1	-	3	-	-	-		
電気装置	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
電灯・電話等の配線	1	-	-	-	1	-	-	1	1	3	117	45	-		
内燃機関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
配線器具	3	-	1	-	4	-	-	3	-	3	188	-	-		
火あそび	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1		
マッチ・ライター	1	-	-	-	1	-	-	1	-	1	161	161	-		
たき火	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-		
溶接機・溶断機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
灯火	2	-	-	-	2	-	-	2	-	2	2	-	-		
衝突の火花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
取灰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
火入れ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
放火	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-		
放火の疑い	2	-	1	-	8	-	-	2	-	-	-	9	-		
その他	8	-	1	-	11	-	-	8	1	3	182	11	-		
不明・調査中	4	-	-	-	6	-	-	4	1	3	183	4	-		
合計	27	-	7	1	20	55	-	27	7	24	867	232	1		
														7	

10-2 原因別火災発生状況 (その2)

(平成30年中)

火災種別 原因別	死傷者		損害額(千円)										合計
	死者	負傷者	30日死者	建物		船舶	航空機	車両	林野	その他	爆発		
				建造物	収容物								
たばこ	-	-	-	10	-	-	-	23	-	-	-	33	
こんろ	-	1	-	277	413	-	-	-	-	-	-	690	
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
焼却炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ストーブ	1	-	-	207	23	-	-	-	-	-	-	230	
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
排気管	-	-	-	-	-	-	-	12	-	54	-	66	
電気機器	-	-	-	-	-	30	-	-	-	7	-	37	
電気装置	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
電灯・電話等の配線	-	-	-	18,356	1,765	-	-	-	-	-	-	20,121	
内燃機関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
配線器具	-	1	-	7,206	331	-	-	89	-	-	-	7,626	
火あそび	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マッチ・ライター	-	-	-	12,000	1,230	-	-	-	-	-	-	13,230	
たき火	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	28	
溶接機・溶断機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
灯火	1	-	-	392	126	-	-	-	-	-	-	518	
衝突の火花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
取灰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
火入れ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
放火	-	-	-	-	-	-	-	-	-	497	-	497	
放火の疑い	-	-	-	23	465	-	-	922	-	302	-	1,712	
その他	-	1	-	10,585	4,850	-	-	16,190	-	-	-	31,625	
不明・調査中	-	1	-	8,870	2,349	-	-	510	-	-	-	11,729	
合計	2	4	-	57,926	11,582	-	-	17,774	-	860	-	88,142	

1 1 月別用途別火災発生状況

(平成30年中)

用途別	月												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
住宅	-	-	1	-	2	4	-	1	-	-	1	4	13
併用住宅	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
共同住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
劇場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公会堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キャバレー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊技場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性風俗店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カラオケボックス等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
料理店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲食店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
物品販売店舗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
旅館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
グループホーム等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特殊浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神社・寺院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工場	-	1	-	-	-	1	-	1	-	1	1	1	6
スタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倉庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事務所	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
複合用途(特定)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
複合用途(非特定)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
文化財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	3
計	1	1	3	1	2	5	-	3	2	2	2	5	27
自動車車両	-	2	1	-	-	1	-	1	1	1	-	-	7
鉄道車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
林野	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
その他	2	1	2	1	2	1	1	1	1	3	3	2	20
計	2	4	3	1	2	2	1	2	2	4	3	2	28
合計	3	5	6	2	4	7	1	5	4	6	5	7	55

1 2 - 1 地区別火災発生状況 (その1)

(平成30年中)

火災種別 地区別	火災件数					焼損棟数					り災世帯数			焼損面積						
	建物	屋外				計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	計	り災人員	焼損床面積 (m ²)	焼損表面積 (m ²)	林野 (a)	その他 (m ²)
		船舶	航空機	車両	林野															
厚木地区	4	-	-	1	4	9	-	-	4	4	-	-	5	5	11	-	2	-	-	
依知地区	5	-	-	2	8	15	1	-	3	5	-	-	2	2	2	27	13	-	2	
睦合地区	6	-	-	-	2	9	2	1	2	6	-	1	4	6	19	314	206	1	-	
荻野地区	6	-	-	-	-	6	2	2	2	6	-	-	4	4	5	186	-	-	-	
小鮎地区	3	-	-	-	-	3	1	-	1	3	-	-	1	1	4	101	-	-	-	
玉川地区	1	-	-	-	1	2	1	-	-	1	-	-	1	1	2	78	-	-	-	
南毛利地区	2	-	-	2	3	7	2	-	-	2	-	-	3	5	9	161	11	-	1	
相川地区	-	-	-	2	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
清川村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	27	-	-	7	1	55	9	1	5	27	-	1	2	4	7	7	867	232	1	7

1 2 - 2 地区別火災発生状況 (その2)

(平成30年中)

火災種別 地区別	死傷者			損害額(千円)							合計	
	死者	負傷者	30日死者	建物		船舶	航空機	車両	林野	その他		爆発
				建造物	収容物							
厚木地区	-	-	-	30	496	-	-	12	-	91	-	629
依知地区	-	1	-	576	882	-	-	1,231	-	417	-	3,106
睦合地区	1	-	-	31,838	4,830	-	-	-	-	-	-	36,668
荻野地区	1	1	-	8,819	2,801	-	-	170	-	-	-	11,790
小鮎地区	-	-	-	5,560	83	-	-	-	-	-	-	5,643
玉川地区	-	-	-	602	891	-	-	120	-	-	-	1,613
南毛利地区	-	2	-	10,501	1,599	-	-	16,218	-	345	-	28,663
相川地区	-	-	-	-	-	-	-	23	-	7	-	30
清川村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	2	4	-	57,926	11,582	-	-	17,774	-	860	-	88,142

1.3 月別覚知別火災発生状況

(平成30年中)

覚知別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災報知専用電話 (NTT加入を除く 固定電話から)	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	3
火災報知専用電話 (NTT加入の固定電話から)	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-	-	1	5
火災報知専用電話 (携帯電話から)	3	3	3	2	2	5	1	1	-	3	2	3	28
加入電話 (固定電話から)	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	5
加入電話 (携帯電話から)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
警察電話	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駆け付け通報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事後聞知	-	1	1	-	2	-	-	2	1	3	1	2	13
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
合計	3	5	6	2	4	7	1	5	4	6	5	7	55

1 4 月別気象別火災発生状況

(平成30年中)

気象別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1 m未満	3	-	2	1	1	3	-	-	-	3	4	2	19
1 m以上	-	-	2	-	2	1	1	-	-	2	1	3	12
2 m以上	-	2	2	-	-	3	-	1	3	1	-	2	14
3 m以上	-	3	-	1	-	-	-	2	1	-	-	-	7
4 m以上	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
5 m以上	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	2
6 m以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7 m以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8 m以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9 m以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10 m以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 m以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	3	5	6	2	4	7	1	5	4	6	5	7	55

30%未満	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	3
30%以上	-	3	-	-	1	-	-	2	-	-	-	3	9
45%以上	-	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-	2	6
55%以上	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	2	5
65%以上	3	-	1	1	-	1	-	2	2	-	-	-	10
75%以上	-	-	-	-	2	2	-	1	1	2	4	-	12
85%以上	-	-	3	1	-	3	1	-	1	1	-	-	10
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	3	5	6	2	4	7	1	5	4	6	5	7	55

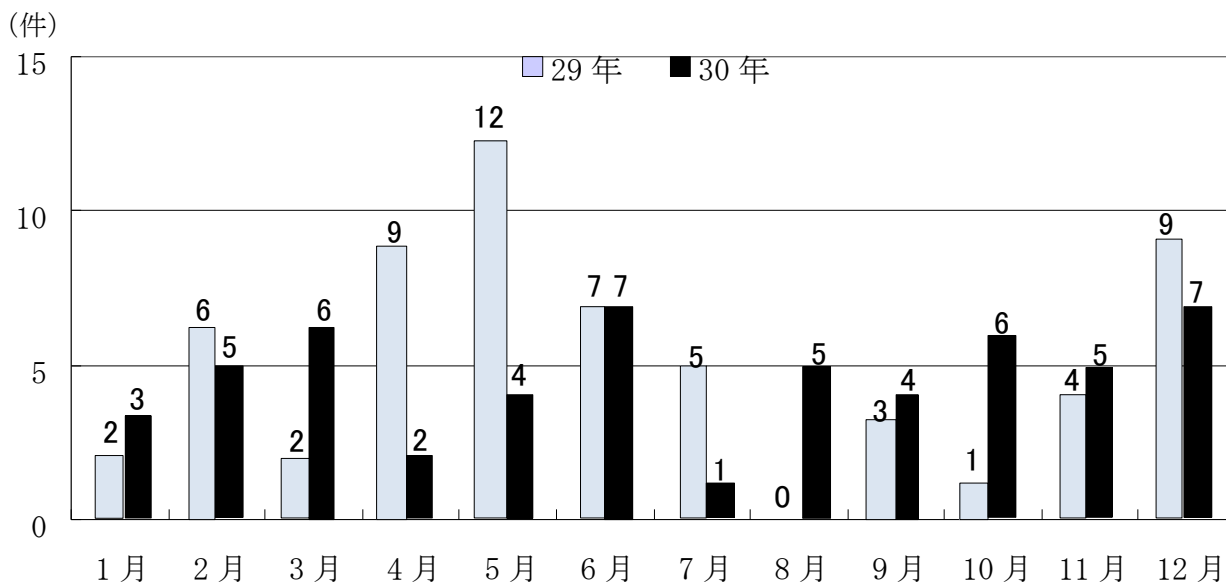
晴	3	5	2	-	3	3	-	3	1	5	5	5	35
曇	-	-	2	2	1	2	1	2	2	1	-	2	15
雨	-	-	2	-	-	2	-	-	1	-	-	-	5
雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	3	5	6	2	4	7	1	5	4	6	5	7	55

15 曜日別累年火災発生件数調

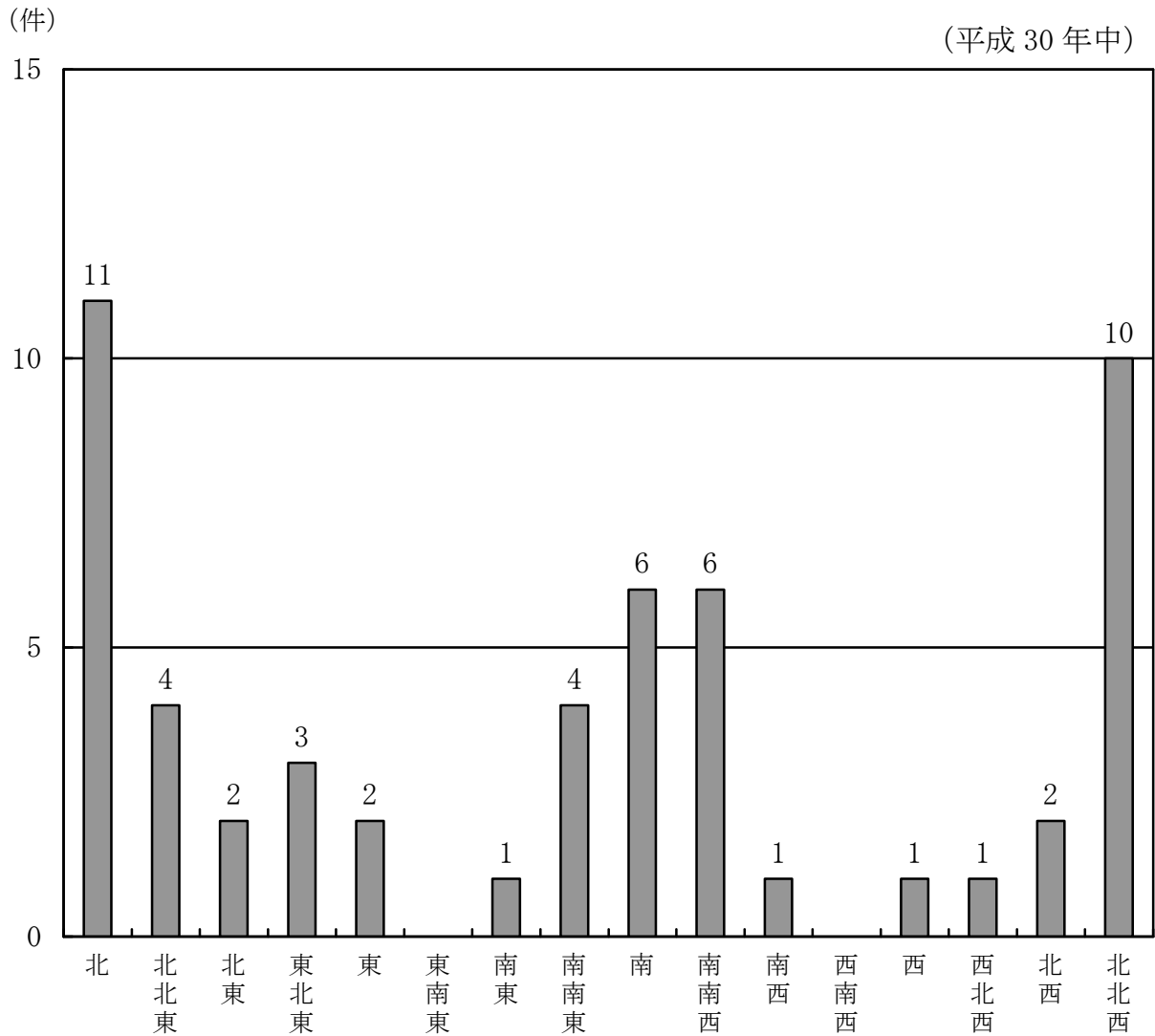
曜日 年別	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
21	12	12	12	14	9	10	3	1	73
22	10	12	6	5	6	9	15	1	64
23	12	14	6	9	10	12	20	-	83
24	6	8	11	7	8	8	9	-	57
25	12	10	6	10	5	10	10	-	63
26	13	7	3	11	9	1	10	-	54
27	13	9	12	8	5	10	19	-	76
28	10	8	7	10	15	6	12	-	68
29	14	15	5	4	10	8	4	-	60
30	12	10	10	4	4	6	9	-	55

16 月別火災件数の比較調

月別 年別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
29年	2	6	2	9	12	7	5	-	3	1	4	9
30年	3	5	6	2	4	7	1	5	4	6	5	7



17 風向と火災件数



18 消防相互応援件数 (火災)

(平成 30 年中)

区分 \ 応援市町村	横浜市	相模原市	平塚市	綾瀬市	海老名市	伊勢原市	大和市	秦野市	座間市	愛川町	合計
	応援	-	-	1	-	3	2	-	-	-	1
東名高速	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	5
受援	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	3
東名高速	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

19 昭和39年以降の主な火災

(平成30年12月31日現在)

発生年月日	出火時分	出火場所	用途	全焼	半焼等	焼損面積(m ²)	損害額(千円)	焼死者
39.4.6	15:10	岡田1357	住宅	3	2	335	1,128	1
9.8	10:12	厚木1300先	米軍ジェット戦闘機	1	-	-	不明	1
10.20	19:30	厚木316	店舗・工場	1	-	549	17,772	-
40.1.21	12:20	上古沢74	林野	-	-	10(アール)	4	1
41.3.24	18:19	金田982	工場	2	1	5,219	331,025	-
6.14	22:43	飯山3061	工場	1	2	1,456	136,982	-
44.12.18	1:27	旭町4-16-10	住宅	-	1	25	1,210	1
45.1.7	12:20	飯山2367	学校	1	2	640	20,390	-
5.21	8:26	中町2-12-13	飲食店舗	1	-	756	28,903	-
7.8	20:16	幸町8-8	住宅	-	1	40	973	1
11.13	4:30	上依知2677	住宅	1	-	84	1,465	4
46.5.12	16:35	三田984	住宅	1	-	139	5,678	1
10.5	18:30	温水2200	工場	1	-	1,855	82,663	-
47.1.27	1:00	寿町1-9-1	住宅他	4	3	348	17,684	-
2.20	1:14	厚木794-2	住宅	1	1	236	11,217	1
48.8.18	0:10	酒井2191	住宅	1	-	33	1,484	1
49.1.20	21:59	妻田247	住宅	3	-	535	58,249	-
5.25	10:30	中依知88-1	工場	1	-	3,942	218,443	-
50.4.30	23:42	金田871	工場	1	-	389	65,648	-
51.11.9	0:10	中町1-7-11	倉庫・住宅	1	3	201	23,543	-
52.1.20	23:27	温水2200	工場	1	-	1,865	59,533	-
6.29	2:20	寿町2-2-20	倉庫	1	-	509	30,703	-
53.1.30	13:58	妻田559-3	住宅	1	-	32	1,950	3
3.29	9:29	下依知49-4	住宅	-	1	28	3,609	1
54.2.12	7:30	金田160-2	住宅	1	-	150	17,978	1
5.17	3:50	旭町3-17-15	住宅	1	-	62	7,257	1
56.2.4	18:34	下荻野1150-2	住宅	-	1	23	2,591	2
2.24	4:40	金田519	住宅	-	1	52	3,463	1
5.5	16:48	三田3-4	住宅	3	-	132	30,909	1
57.1.9	3:04	飯山3061-3	工場	1	-	355	51,144	-
12.24	22:29	下荻野231	住宅	1	-	49	10,267	1
59.6.5	2:48	上荻野2688	工場	1	-	3,320	150,270	-
12.16	14:17	金田62-2	工場	2	-	727	73,277	-
60.4.19	10:41	恩名437	住宅	1	-	220	22,929	1
61.2.25	16:54	寿町2-8-18	住宅	1	1	457	32,487	-
62.8.4	3:20	戸田933	牛舎	3	-	582	35,272	-
63.11.11	17:21	猿ヶ島101	住宅	4	3	397	25,220	-
H元.6.20	21:15	三田2003	工場	1	-	2,399	272,534	-
7.1	1:15	飯山278	作業場	1	-	961	47,606	-
2.1.16	3:42	岡津古久910	事務所他	3	-	659	16,907	-
4.5.2	16:00	妻田西1-31-38	住宅(かや葺き)	1	3	273	34,631	-
9.18	21:10	森の里5-14-11	建築中住宅	1	4	167	15,790	-
5.1.22	20:45	愛甲375	住宅	1	-	416	39,400	-
2.18	11:27	下川入404-3	作業場	1	1	428	19,900	-
6.10.27	2:45	中町2-10-15	店舗	-	3	438	150,358	-
7.9.19	9:32	下荻野972-2	住宅	1	1	40	4,600	1
11.19	0:15	及川111	住宅	2	3	333	20,212	-
8.4.11	19:32	関口75	作業場	1	-	376	23,539	-
6.3	0:48	三田975	倉庫	2	-	217	10,974	-
9.7.24	13:05	金田378	住宅	1	1	137	16,658	-
10.1.31	23:37	上古沢1894	住宅	3	-	271	7,571	-
12.2.7	2:07	上依知592-14	倉庫	10	3	720	150,175	-
13.10.16	1:37	下川入216	作業場他	4	11	932	174,081	-
14.10.22	15:10	中町3-1-17	複合用途	-	1	132	24,764	-
15.10.24	19:00	下依知300	倉庫	-	1	2,232	225,205	-
16.6.9	3:24	金田699-1	工場	1	-	931	149,309	-
17.10.18	13:04	上依知421	工場	1	2	365	22,848	-
18.7.29	0:42	船子607-40	住宅	1	5	186	19,167	-
19.12.13	5:20	上依知1323	住宅	1	-	104	5,299	2
20.11.13	20:57	林3-14-43	住宅	1	2	134	20,966	1
21.5.27	10:31	温水2263-6	住宅	2	1	122	17,558	1
22.11.2	13:37	岡津古久560	工場	-	1	378	116,115	-
23.4.2	1:50	下依知1094	住宅	1	-	192	68,184	2
25.6.20	13:40	旭町4-8-8	住宅	2	9	370	45,909	-
26.4.20	20:20	厚木町3-8	住宅等	5	3	305	10,174	-
27.4.11	15:53	妻田東1-17-52	作業所等	2	4	329	24,207	-
28.3.29	1:45	金田896-2	作業場	1	2	589	70,799	-
29.12.21	13:40	下川入1365-7	資材置場	-	-	1,200	1,279	-
30.6.4	23:25	林3-9-69	住宅	1	-	161	13,230	-

指令・通信の概要

1 通信業務

平成 28 年度から運用を開始した高機能消防指令システムは、統合型位置情報通知装置や地図検索装置と連動し、固定電話や携帯電話等からの緊急通報時に通報者の位置を素早く特定、災害の種別や規模に応じて出動車両を自動編成し、迅速な出動指令を行います。

また、消防救急デジタル無線システムにより、多様なデータ通信で支援情報を共有することで災害に対してより効果的な部隊の運用が可能となっているほか、暗号化による秘匿性があることから個人情報保護を果たします。

指令課では、24 時間 2 交替勤務を行って、火災・救急・その他の災害発生による 119 番の受信、消防隊等への出動指令、出動部隊との無線交信による災害状況等の把握及び出動部隊へ活動上必要な情報伝達等、消防通信全般を総轄しています。

しかしながら、119 番通報については、本来の目的である災害出動に伴う緊急通報以外に、火災や救急に対する問い合わせや消防機関への相談、いたずら等の誤った使用が多く見受けられます。

(1) 119 番受信状況 (平成 30 年中)

() 内は、携帯電話等からの受信件数 (内数)

種 別	受信件数	比率 (%)	種 別	受信件数	比率 (%)
火 災	368 (221)	2.2	いたずら	129 (111)	0.8
救 急	12,135 (6,248)	73.1	まちがい	546 (360)	3.3
その他の災害	410 (266)	2.5	試験・その他	2161 (1070)	13.0
問い合わせ	847 (589)	5.1	計	16,596 (8,865)	100

※ 試験・その他には、訓練・消防用設備試験・相談などがあります。

(2) 月別 119 番受信状況 (平成 30 年中)

() 内は、携帯電話等からの受信件数 (内数)

月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
件数	1,480 (736)	1,407 (729)	1,516 (731)	1,237 (687)	1,293 (722)	1,272 (719)	1,581 (855)	1,480 (813)	1,289 (688)	1,382 (735)	1,285 (694)	1,374 (756)	16,596 (8,865)

(3) 119 番受信状況の推移

() 内は、携帯電話等からの受信件数 (内数)

年 別	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
件 数	15,863 (6,754)	16,051 (7,286)	15,795 (7,601)	15,708 (8,072)	16,596 (8,865)

(4) 高機能消防指令システムを構成する装置

ア 指令系装置等

指令台 (3 台)・指揮台 (1 台)・自動出動指定装置・地図等検索装置・長時間録音装置・非常用指令設備・指令制御装置・指令情報送信装置・気象情報収集装置・災害状況等自動案内装置・順次指令装置・音声合成装置・出動車両運用管理装置・システム監視装置指令情報

出力装置・署所端末・災害状況等自動案内装置・出動車両運用監理装置(AVM)・電源設備(無停電電源装置)・統合型位置情報通知装置・支援情報端末・消防情報支援システム・メール一斉指令装置・119 受信FAX・避雷装置・庁舎監視カメラ装置・消防団幹部等災害連絡用ファクシミリ

イ 大型表示盤

車両運用表示盤・多目的情報表示盤・支援情報表示盤(46インチ液晶モニター4面マルチ×3面)

ウ 無線統制台(消防救急デジタル無線(活動波)設備等)

チャンネル構成	活動波1(消防活動用) 活動波2(救急活動用) 活動波3(輻輳事案用) 活動波4(清川活動用)
基地局	厚木市消防本部庁舎
簡易基地局	清川村宮ヶ瀬地区住民センター(活動波4)
移動局	70(車両46・携帯21・可搬3)
半固定局	3(消防対策本部・厚木署隊本部・厚木北署隊本部)

(5) その他の関連機器

市防災行政無線台・市地域防災無線装置(防災ラジオ)・県防災行政通信網(ファクシミリ付)・震度情報表示盤・防災テレビ・デジタル無線受令機・Em-NET(緊急情報ネットワークシステム)・J-ALERT(全国瞬時警報システム)・NET119 緊急通報システム

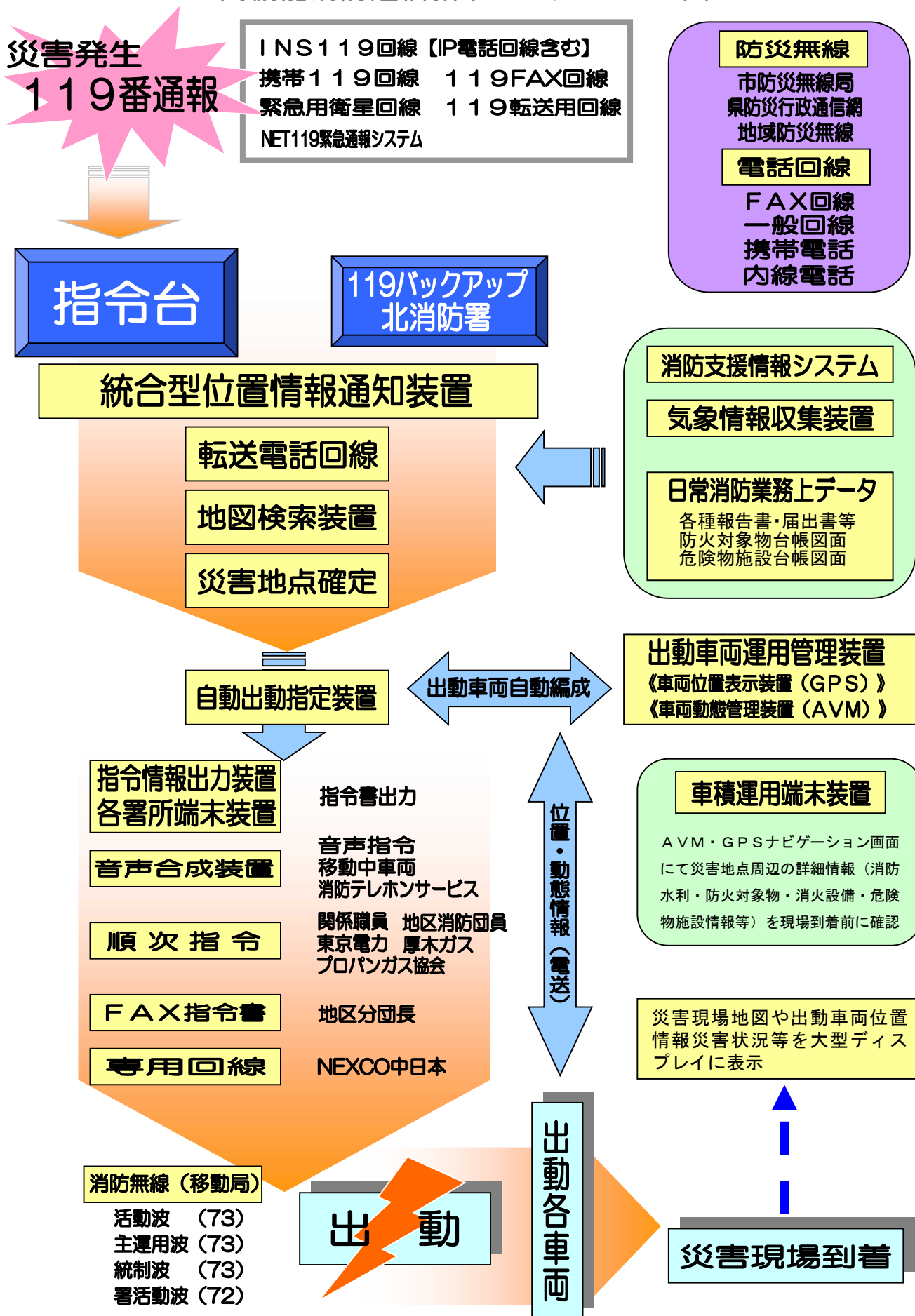
(6) 神奈川県消防救急デジタル無線設備(共通波)

チャンネル構成	統制波1・統制波2・統制波3 主運用波6(神奈川県割当)
基地局	神奈川県総合防災センター(厚木市下津古久280番地)
管理運用	三市共同管理運用 (厚木市消防本部・平塚市消防本部・伊勢原市消防本部)
構成機器	運用管理装置・遠隔制御器・遠隔操作器・遠隔制御装置 無停電電源装置・回線制御器・回線接続装置・その他
回線接続	神奈川県内21基地局と県庁及び消防本部24箇所ネットワーク

(7) 署活系無線

チャンネル構成	署活動波1(厚木署管轄) 署活動波2(北署管轄) 関東共通波1 防災相互波1
移動局	72(携帯型無線機)

高機能消防通信指令システムフロー図



気 象

1 厚木市の気象状況

(1) 天候 (9時現在調)

(平成30年中)

月別 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
晴 (日数)	23	20	20	17	19	14	23	21	8	17	23	16	221
曇 (日数)	8	7	8	10	10	11	6	8	12	11	5	12	108
雨 (日数)	-	-	3	3	2	5	2	2	10	3	2	3	35
雪 (日数)	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

(2) 気温 (°C)

(平成30年中)

月別 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	記録 (年)
最高気温	16.0	16.0	22.7	27.4	29.8	32.3	36.9	37.1	32.8	33.3	24.1	24.3	37.1
最低気温	-5.7	-3.2	1.3	5.8	8.9	14.5	19.5	18.0	13.9	10.5	5.4	-0.7	-5.7
平均気温	4.5	5.3	11.6	16.9	20.0	22.5	28.2	28.3	23.1	19.3	14.1	8.5	16.9

(3) 相対湿度 (%)

(平成30年中)

月別 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	記録 (年)
最高湿度	98.3	97.7	98.3	97.7	97.7	97.7	97.7	96.6	98.0	97.7	98.0	98.0	98.3
最低湿度	11.1	9.7	11.3	12.4	18.3	28.3	36.9	24.1	28.8	18.8	28.3	13.3	9.7
平均湿度	58.4	56.8	65.8	65.9	68.3	78.6	76.1	74.5	82.5	71.6	72.3	64.5	69.7

(4) 風向・風速 (M/S)

(平成30年中)

月別 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	記録 (年)
最多風向	北	北北西	北	南	南	南	南	南	北北西	北北西	北	北	北
平均風速	1.6	1.8	2.2	2.3	2.2	2.2	2.3	2.5	2.2	1.8	1.4	1.4	2.0
瞬間最大風速 及び 風向	16.6 南南西	14.9 北北西	19.8 西	19.0 南	16.9 南南東	18.3 南西	18.3 南	23.6 南	31.0 南南東	29.3 南南東	11.5 北北西	16.1 南西	31.0 南南東

2 気象通報発表状況調

(平成30年中)

種別	月別	(平成30年中)												
		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
合計		179	19	13	17	10	10	10	32	29	21	10	3	5
特別 警 報	暴風	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大雨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	暴風雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
警 報	暴風	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	大雨	8	-	-	1	1	-	-	2	1	2	1	-	-
	洪水	3	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-
	波浪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小計	14	1	-	2	1	-	-	3	1	3	3	-	-	
注 意 報	強風	20	4	3	3	4	-	1	1	1	2	1	-	-
	大雨	30	-	-	3	1	3	2	5	8	7	1	-	-
	洪水	14	-	-	1	1	-	1	4	5	1	1	-	-
	大雪	3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	雷	64	1	1	4	1	7	4	17	14	8	4	2	1
	乾燥	14	3	2	2	2	-	-	-	-	-	-	1	4
	濃霧	4	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-
	霜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	低温	13	8	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小計	165	18	13	15	9	10	10	29	28	18	7	3	5	

3 累年降雨量調

年区分		月別												
		合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
21年	降水日数	125	8	8	12	6	11	16	16	7	8	12	15	6
	総雨量	1,553.5	146.0	69.5	90.5	167.5	162.5	177.0	137.0	168.0	58.0	180.0	137.0	60.5
22年	降水日数	125	4	12	15	15	12	13	10	6	12	12	8	6
	総雨量	1,876.5	12.0	118.5	196.5	198.0	104.5	146.5	107.0	126.0	386.0	210.0	71.5	200.0
23年	降水日数	117	1	10	8	8	13	12	13	15	13	10	7	7
	総雨量	1,471.5	1.0	111.0	75.5	64.0	223.5	133.0	78.5	245.5	254.5	147.0	86.5	51.5
24年	降水日数	120	7	8	11	12	10	16	10	5	13	11	7	10
	総雨量	1,698.0	45.0	125.0	148.5	151.0	242.0	252.0	158.0	21.5	232.5	98.5	137.0	87.0
25年	降水日数	105	6	8	10	9	8	10	10	8	11	14	4	7
	総雨量	1,513.0	58.0	58.5	49.0	324.5	56.5	155.5	53.5	40.0	352.5	289.0	33.0	43.0
26年	降水日数	114	7	7	11	11	10	12	10	10	10	10	11	5
	総雨量	1,732.5	28.5	75.5	140.5	140.0	106.0	370.5	64.0	80.5	150.0	437.0	70.0	70.0
27年	降水日数	134	10	7	14	11	5	15	16	9	16	8	16	7
	総雨量	1,707.0	102.5	48.0	93.0	94.0	94.0	129.0	341.5	153.5	330.0	62.5	137.5	121.5
28年	降水日数	132	4	6	9	13	8	17	10	13	19	10	15	8
	総雨量	1,628.5	75.0	103.0	116.5	135.5	105.0	162.5	112.0	256.5	272.0	80.0	126.0	84.5
29年	降水日数	101	2	6	8	10	5	8	8	12	15	17	7	3
	総雨量	1,463.5	21.5	14.0	84.5	121.0	71.0	139.5	55.0	195.0	219.5	478.0	47.0	17.5
30年	降水日数	113	5	4	13	8	10	13	7	10	20	8	8	7
	総雨量	1,685.5	75.5	17.5	317.5	130.0	167.0	139.0	270.5	100.5	348.0	40.0	22.5	57.5

※雨量の単位：ミリメートル

消防署部隊の出動・訓練概要

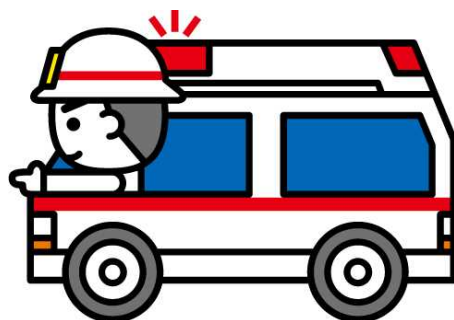
1 月別部隊出動状況

月別 区分 種別	合計			1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12		
	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員						
合計	13,004	14,324	43,894	1,208	1,290	3,946	1,131	1,227	3,733	1,092	1,217	3,734	973	1,087	3,341	971	1,063	3,270	1,008	1,157	3,550	1,222	1,287	3,921	1,172	1,303	3,962	1,011	1,141	3,510	1,101	1,194	3,688	995	1,082	3,326	1,120	1,276	3,913
火災	55	306	1,089	3	13	51	5	16	57	6	46	162	2	16	56	4	15	53	7	57	208	1	2	8	5	27	92	4	27	94	6	17	62	5	17	60	7	53	186
救急	12,471	12,471	37,413	1,175	1,175	3,525	1,099	1,099	3,297	1,039	1,039	3,117	937	937	2,811	932	932	2,796	968	968	2,901	1,185	1,185	3,555	1,138	1,138	3,414	964	964	2,892	1,010	1,010	3,030	952	952	2,856	1,072	1,072	3,216
救助	198	1,066	3,626	16	81	293	13	63	223	14	88	273	20	94	330	16	81	286	15	102	335	15	70	239	19	114	371	17	99	344	17	87	291	15	72	251	21	115	387
警戒	209	406	1,478	14	21	77	14	49	156	30	40	168	14	40	144	19	35	135	18	30	103	14	23	91	10	24	85	16	41	140	17	26	96	23	41	159	20	36	124
風水害	71	75	288	-	-	-	-	-	-	3	4	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	28	-	-	-	-	10	10	40	51	54	206	-	-	-	-

2 月別部隊訓練等状況

月別 区分 種別	合計			1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			
	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員							
合計	2,907	4,881	12,386	229	299	945	248	333	1,009	245	335	1,029	424	926	1,898	508	1,121	2,272	261	470	1,054	205	289	842	161	216	639	176	273	775	161	244	695	154	203	639	135	172	589	
消防操法	55	84	246	10	16	40	6	7	10	37	4	7	9	3	4	12	3	5	12	3	4	14	2	2	7	1	3	4	3	5	15	-	-	-	6	8	28	-	-	
梯子車架てい操法	27	46	101	-	-	-	7	10	37	4	7	9	3	4	4	-	-	-	-	-	-	-	3	5	12	-	-	-	-	5	9	21	-	-	-	-	-	5	11	18
揚水、放水	131	178	538	7	10	29	7	9	28	13	16	62	12	19	49	9	13	38	8	9	30	14	17	56	12	17	44	13	22	53	9	10	37	10	16	42	17	20	70	
走行	651	759	2,406	54	59	185	56	70	198	64	72	237	81	105	298	65	57	235	49	58	173	61	70	245	55	78	213	34	50	125	49	50	184	48	48	180	35	42	133	
消防器具	490	708	2,060	61	82	263	71	93	295	54	71	221	63	106	265	45	77	164	29	42	116	25	36	96	24	30	96	26	42	121	48	78	224	18	20	74	26	31	125	
梯子車架てい現地架てい	6	8	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	8	-	-	-	-	-	-	4	7	7	-	-	-	-	-	-	
救助	700	1,826	3,407	12	22	52	21	42	112	27	36	137	181	541	897	300	837	1,456	75	199	349	9	15	39	12	17	53	19	26	68	17	41	91	12	24	64	15	26	89	
救助器具	322	518	1,335	47	65	217	49	67	207	27	43	135	36	75	138	20	34	59	25	45	100	28	45	104	27	36	101	18	26	72	17	30	78	19	38	84	9	14	40	
救命ボート	13	36	145	-	-	-	1	1	4	-	-	-	11	31	126	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
救急	423	535	1,548	33	37	131	29	33	99	36	58	125	32	39	102	46	54	180	67	107	235	46	57	173	25	24	88	30	36	107	15	21	53	40	45	159	24	24	96	
札式	17	16	83	1	1	5	1	1	3	2	2	15	2	2	7	-	-	-	2	2	10	6	5	31	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	8	
潜水	11	41	83	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	8	1	1	4	9	36	71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水防	23	45	154	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	40	120	2	3	23	-	-	-	-	1	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4
演習	17	36	124	2	5	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	6
地震初動態勢訓練	21	45	141	2	2	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	14	17	38	115	-	-	-	-	-	-	-	-	

救 急



救急救命

1 救急業務の高度化とメディカルコントロール体制

救急現場から医療機関への搬送途上で救急救命士等が行う応急処置の質の向上のため、厚木市消防本部は、湘南・県央の一部・県西地区の14消防本部を統轄する湘南地区メディカルコントロール協議会に加盟し、活動しています。

主な活動内容は、医師による救急救命士への指示及び救急隊員への指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証体制の充実、病院実習等の再教育及び各種研修会の開催となっています。

救急救命士の教育（病院実習）状況 (平成30年度)

区分	人数	区分	人数
救急救命士の再教育実習	41	生涯教育講座 (救急セミナー)	253
気管挿管病院実習	2		
薬剤投与病院実習	0		

事後検証実施状況

一次検証	件数	二次検証	件数
	11,248		230

指示・指導・助言実施状況

件数
247

※一次検証とは、救急技術指導者（消防職員）が部隊活動、医学的判断、処置について検証を行う。

※二次検証とは、一次検証の中から心肺停止症例、重症外傷症例等について検証医師が検証を行う。

2 応急手当普及啓発活動

救急車が到着するまでの間、救急現場に居合わせた人の一刻も早い応急手当が、傷病者救命のために大変重要なこととなるため、住民の方々に心肺蘇生法の実技指導を中心とした各種講習会を実施しています。また、だれでもが自動体外式除細動器（心臓の不整脈等が原因で発生する心肺停止傷病者へ電気ショックを行う医療機器）の使用ができることとなり、応急手当等の技術習得に住民の関心が、年々高まっています。

救命講習会実施状況

	平成6年度～累計		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
普及員	41	878	6	102	5	79	4	103	5	104
上級	39	1,237	2	58	2	49	2	48	2	49
普通	2,163	48,495	116	2,418	141	2,751	125	2,484	123	2,334
一般	1,807	61,905	132	3,388	141	5,218	126	4,899	155	6,068
合計	4,050	112,515	256	5,966	289	8,097	257	7,534	285	8,555

※応急手当普及員講習の件数及び受講者数については、普及員再講習の件数及び受講者数を含む。

救急活動

1 救急活動の概要

平成30年中の救急出動件数は12,471件で、前年に比べ859件(6.9%)の増、搬送人員は11,248人で、前年に比べ723人増となり、1日当りの平均は、出動件数が34.2件、搬送人員は30.8人で、これは約42.1分に1回の割合で救急車が出動したことになります。

事故種別ごとの出動件数は、急病が7,980件で全体の64.0%を占め、次いで一般負傷1,666件で全体の13.4%、交通事故1,164件で全体の9.3%の順になっております。

派遣型救急ワークステーションによる医師同乗出動件数は163件となり、医師による迅速な医療行為が行われました。

*表中にある事故種別は、次のように区分しています。

火 災・・・ 火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。

自然災害・・・ 暴風、豪雨等の自然現象に起因する災害による事故をいう。

水 難・・・ 水泳中(運動競技によるものを除く)の溺者又は水中転落等の事故をいう。

交通事故・・・ 交通機関相互の衝突等若しくは歩行者が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

労働災害・・・ 工場等において就業中発生した事故をいう。

運動競技・・・ 運動競技中に発生した事故をいう。

一般負傷・・・ 他に分類されない不慮の事故をいう。

加 害・・・ 故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。

自損行為・・・ 故意に自分自身に傷害等加えた事故をいう。

急 病・・・ 疾病によるもので救急業務として取り扱ったものをいう。

そ の 他・・・ 医療機関から医療機関へ搬送されたもの又は災害現場へ医師、看護師等を搬送したものをいう。

不 搬 送・・・ 傷病者搬送拒否、容態回復等をいう。

*表中にある傷病者程度は、次のように分類しています。

死 亡・・・ 初診時において、死亡が確認されたもの。

重 症・・・ 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。

中 等 症・・・ 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。

軽 症・・・ 傷病の程度が入院を必要としないもの。

そ の 他・・・ 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したものの。

*派遣型救急ワークステーション医師同乗出動基準

① 心肺蘇生を必要とする傷病者又はこれに準ずる状態の重症傷病者が発生した場合。

② 傷病者の救出に相当の時間を要し、医師の救命処置が必要と判断した場合。

③ 多数傷病者事故が発生し、医師の救命処置及びトリアージが必要と判断した場合。

④ 前号に掲げる場合のほか医師の救命処置が必要と判断した場合。

2 救急活動累年比較調

事故種別	年別	26	27	28	29	30
	区分					
合計	救急件数	11,106	10,951	11,293	11,612	12,471
	搬送人員	9,946	9,955	10,176	10,525	11,248
火災	救急件数	81	88	91	65	83
	搬送人員	4	14	3	3	6
自然災害	救急件数	-	-	-	-	2
	搬送人員	-	-	-	-	2
水難	救急件数	10	5	6	4	11
	搬送人員	3	-	2	-	-
交通事故	救急件数	1,169	1,158	1,124	1,098	1,164
	搬送人員	1,136	1,165	1,106	1,101	1,149
労働災害	救急件数	138	98	103	101	129
	搬送人員	129	92	100	99	126
運動競技	救急件数	86	74	76	100	96
	搬送人員	86	72	75	98	96
一般負傷	救急件数	1,511	1,508	1,457	1,597	1,666
	搬送人員	1,427	1,428	1,369	1,485	1,543
加害	救急件数	95	103	84	99	89
	搬送人員	80	90	61	82	63
自損行為	救急件数	161	153	144	158	134
	搬送人員	107	108	94	97	90
急病	救急件数	6,912	6,905	7,247	7,435	7,980
	搬送人員	6,298	6,338	6,654	6,813	7,309
その他	救急件数	943	859	961	955	1,117
	搬送人員	676	648	712	747	864
不搬送件数		1,241	1,124	1,224	1,201	1,321

※不搬送件数は内数

3 月別救急活動調

(平成30年中)

月別	区分	計	救急事故種別										
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	救急件数	12,471	83	2	11	1,164	129	96	1,666	89	134	7,980	1,117
	搬送人員	11,248	6	2	-	1,149	126	96	1,543	63	90	7,309	864
1	救急件数	1,175	1	1	2	91	5	3	164	5	10	800	93
	搬送人員	1,049	1	1	-	90	5	3	155	2	4	714	74
2	救急件数	1,099	9	-	-	92	7	5	135	2	13	749	87
	搬送人員	965	-	-	-	79	7	5	127	2	9	670	66
3	救急件数	1,039	8	-	-	97	9	3	138	8	12	661	103
	搬送人員	926	1	-	-	94	9	3	122	7	6	599	85
4	救急件数	937	8	-	1	94	8	8	132	7	10	586	83
	搬送人員	864	-	-	-	96	8	8	123	9	10	537	73
5	救急件数	932	7	-	-	98	12	13	125	6	13	573	85
	搬送人員	857	1	-	-	103	11	13	118	5	10	535	61
6	救急件数	968	12	-	2	103	17	9	107	4	15	602	97
	搬送人員	850	1	-	-	102	17	9	97	3	9	543	69
7	救急件数	1,185	2	-	1	97	11	14	126	2	9	817	106
	搬送人員	1,077	-	-	-	97	11	14	112	2	6	754	81
8	救急件数	1,138	7	-	2	81	11	12	140	13	11	770	91
	搬送人員	1,050	-	-	-	84	10	13	134	6	7	724	72
9	救急件数	964	7	-	1	83	11	10	133	8	9	604	98
	搬送人員	872	-	-	-	78	11	9	128	6	5	560	75
10	救急件数	1,010	8	1	2	103	11	3	160	10	12	600	100
	搬送人員	902	-	1	-	100	11	3	145	7	10	548	77
11	救急件数	952	6	-	-	99	17	13	137	12	12	574	82
	搬送人員	871	1	-	-	99	16	13	125	8	9	542	58
12	救急件数	1,072	8	-	-	126	10	3	169	12	8	644	92
	搬送人員	965	1	-	-	127	10	3	157	6	5	583	73

4 署所別救急活動調

(平成30年中)

事故種別	区分 署別	計	厚 木 消 防 署			北 消 防 署			
			本 署	南毛利分署	相川分署	本 署	依知分署	睦合分署	清川分署
合 計	救急件数	12,471	4,565	1,745	1,297	1,529	1,378	1,673	284
	搬送人員	11,248	3,995	1,626	1,198	1,400	1,267	1,523	239
火 災	救急件数	83	29	7	8	14	9	14	2
	搬送人員	6	2	-	-	2	-	2	-
自然災害	救急件数	2	-	-	-	2	-	-	-
	搬送人員	2	-	-	-	2	-	-	-
水 難	救急件数	11	4	-	2	2	1	-	2
	搬送人員	-	-	-	-	-	-	-	-
交通事故	救急件数	1,164	370	135	165	117	152	175	50
	搬送人員	1,149	365	133	167	115	152	166	51
労働災害	救急件数	129	51	18	17	13	18	10	2
	搬送人員	126	49	17	17	13	18	10	2
運動競技	救急件数	96	29	14	10	18	12	9	4
	搬送人員	96	29	15	9	18	12	9	4
一般負傷	救急件数	1,666	608	226	155	243	193	197	44
	搬送人員	1,543	545	220	142	229	181	187	39
加 害	救急件数	89	41	7	6	12	10	12	1
	搬送人員	63	26	4	4	11	9	9	-
自損行為	救急件数	134	51	19	8	17	13	21	5
	搬送人員	90	35	14	5	8	10	16	2
急 病	救急件数	7,980	2,921	1,168	783	967	910	1,085	146
	搬送人員	7,309	2,619	1,093	725	902	846	1,001	123
そ の 他	救急件数	1,117	461	151	143	124	60	150	28
	搬送人員	864	325	130	129	100	39	123	18
不 搬 送 件 数		1,321	595	132	116	141	125	162	50

※厚木消防署本署は2隊体制

※不搬送件数は内数

5 月別覚知別救急件数調

(平成30年中)

月別 覚知別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
合計	12,471	1,175	1,099	1,039	937	932	968	1,185	1,138	964	1,010	952	1,072
119	11,998	1,136	1,062	1,003	899	897	931	1,138	1,097	927	976	907	1,025
加入電話	296	22	26	22	24	26	20	29	22	22	24	27	32
東名 専用電話	6	1	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	2
かけつけ 通報	53	2	3	5	2	2	6	7	6	6	4	5	5
消防 専用電話	46	6	1	2	4	2	7	7	2	6	2	5	2
その他	72	8	7	7	8	4	4	4	9	3	4	8	6

6 曜日別救急件数調

(平成30年中)

曜日別	計	救急事故種別										
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合計	12,471	83	2	11	1,164	129	96	1,666	89	134	7,980	1,117
日	1,755	22	-	-	155	10	31	230	20	13	1,176	98
月	1,834	17	1	3	159	14	10	248	6	16	1,198	162
火	1,756	11	-	5	185	24	10	212	12	20	1,102	175
水	1,734	5	-	1	157	18	8	227	9	20	1,106	183
木	1,736	2	-	1	171	17	8	241	17	21	1,093	165
金	1,863	12	-	-	175	28	8	261	11	26	1,169	173
土	1,793	14	1	1	162	18	21	247	14	18	1,136	161

7 年齢別搬送人員調

(平成30年中)

年齢区分	計	救急事故種別										
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	11,248	6	2	-	1,149	126	96	1,543	63	90	7,309	864
新生児 (生後28日以内)	58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	54
乳幼児 (29日以上7歳未満)	486	-	-	-	30	-	-	138	1	-	290	27
少年 (7歳以上18歳未満)	490	-	-	-	123	1	64	67	7	3	206	19
成人 (18歳以上65歳未満)	4,401	3	2	-	803	99	29	362	47	77	2,673	306
高齢者 (65歳以上)	5,813	3	-	-	193	26	3	976	8	10	4,136	458

8 傷病程度別搬送人員調

(平成30年中)

傷病程度	計	救急事故種別										
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	11,248	6	2	-	1,149	126	96	1,543	63	90	7,309	864
死亡	157	-	-	-	6	1	-	3	-	14	127	6
重症	840	2	-	-	29	12	1	57	2	10	501	226
中等症	5,581	4	-	-	374	65	41	650	21	45	3,800	581
軽症	4,668	-	2	-	739	48	54	833	40	21	2,880	51
その他	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-

9 傷病程度別年齢区分別搬送人員調

(平成30年中)

傷病程度	計	新生児 (生後28日以内)	乳幼児 (29日以上7歳未満)	少年 (7歳以上18歳未満)	成人 (18歳以上65歳未満)	高齢者 (65歳以上)
合計	11,248	58	486	490	4,401	5,813
死亡	157	-	1	1	24	131
重症	840	13	11	14	245	557
中等症	5,581	39	150	171	2,032	3,189
軽症	4,668	6	324	304	2,098	1,936
その他	2	-	-	-	2	-

10 救急隊員の行った応急処置件数調

(平成30年中)

区分 事故種別	対応 象急 人処 員置	合 計	応急処置											特定行為等					
			小 計	止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 マ ッ サ ー ジ	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	気 道 確 保	血 圧 測 定	血 中 酸 素 飽 和 度 測 定	心 電 図	そ の 他	小 計	除 細 動	輸 液	気 道 確 保	薬 剤 投 与
合計	11,202	34,429	33,853	195	837	13	1	218	1,764	158	10,715	10,992	5,543	3,417	576	23	224	175	154
急病	7,293	22,456	21,972	26	31	8	-	176	1,354	123	6,987	7,133	4,378	1,756	484	20	185	151	128
交通事故	1,140	3,683	3,661	35	522	-	1	6	49	3	1,117	1,132	208	588	22	-	11	5	6
一般負傷	1,531	4,398	4,374	102	205	2	-	12	53	13	1,457	1,512	327	691	24	1	9	7	7
その他	1,238	3,892	3,846	32	79	3	-	24	308	19	1,154	1,215	630	382	46	2	19	12	13

※ 特定行為中の気道確保は、救急救命士がラリングアルチューブ等を使用して行ったもの。

11 一般市民の行った応急手当件数調

(平成30年中)

事故種別	計	止血	気道確保	人工呼吸	心肺蘇生	その他
合計	1,523	280	61	-	225	957
急病	969	34	52	-	186	697
交通事故	96	21	1	-	6	68
一般負傷	331	179	7	-	12	133
その他	127	46	1	-	21	59

12 発生地区別救急件数調

(平成30年中)

地区名	計	救 急 事 故 種 別										
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 搬 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	12,471	83	2	11	1,164	129	96	1,666	89	134	7,980	1,117
小 計	12,159	83	2	6	1,063	126	95	1,629	87	129	7,845	1,094
厚 木	2,708	18	1	3	179	16	8	381	28	26	1,668	380
依 知	1,682	16	-	1	191	33	12	225	11	18	1,110	65
睦 合	1,969	11	-	-	206	12	11	239	17	27	1,285	161
荻 野	1,254	11	-	-	80	7	19	210	9	12	808	98
小 鮎	634	8	1	1	46	11	9	95	3	7	414	39
玉 川	278	3	-	-	29	3	2	29	-	5	122	85
南 毛 利	2,254	6	-	-	201	24	20	282	15	23	1,500	183
相 川	813	7	-	1	114	17	10	98	1	7	543	15
緑ヶ丘	214	2	-	-	11	2	-	26	3	-	156	14
宮の里	69	-	-	-	1	-	-	7	-	1	59	1
森の里	284	1	-	-	5	1	4	37	-	3	180	53
小 計	312	-	-	5	101	3	1	37	2	5	135	23
清 川	238	-	-	2	64	2	1	35	1	3	107	23
他 都 市	14	-	-	3	-	-	-	2	-	2	7	-
東名高速	32	-	-	-	24	1	-	-	-	-	7	-
小田原厚木 道 路	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
圏 央 道	26	-	-	-	11	-	-	-	1	-	14	-

13 時間別救急件数調

(平成30年中)

時間別	計	救 急 事 故 種 別										
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	12,471	83	2	11	1,164	129	96	1,666	89	134	7,980	1,117
0～2	609	4	1	-	42	2	-	66	25	6	429	34
2～4	477	6	-	-	31	3	-	45	6	10	356	20
4～6	530	2	-	2	28	1	-	45	9	4	409	30
6～8	845	6	-	-	88	2	-	97	2	10	605	35
8～10	1,413	4	1	-	175	21	10	192	5	7	907	91
10～12	1,453	3	-	3	113	24	21	199	8	15	861	206
12～14	1,401	9	-	1	112	20	22	202	7	10	830	188
14～16	1,307	9	-	1	116	21	19	196	5	20	770	150
16～18	1,342	13	-	2	167	13	11	207	3	17	748	161
18～20	1,222	14	-	2	154	13	5	165	5	7	764	93
20～22	1,017	5	-	-	89	6	6	138	4	18	697	54
22～24	855	8	-	-	49	3	2	114	10	10	604	55

14 消防相互応援件数（救急）

(平成30年中)

区分	計	横 濱 市	相 模 原 市	平 塚 市	綾 瀬 市	海 老 名 市	伊 勢 原 市	大 和 市	秦 野 市	座 間 市	愛 川 町	小 田 原 市
		応援	35	-	2	-	-	9	9	-	9	-
東名高速	18	-	-	-	-	3	7	-	8	-	-	-
受援	7	-	2	-	-	4	-	-	1	-	-	-
東名高速	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

※東名高速応援の件数については、東名高速道路上に出動した厚木市地内の件数（14件）は含めてない。

15 救急支援出動件数

(平成30年中)

出動基準	東名厚木道路	国道129号・246号	全(CPを含む)例	救急隊到着遅延	集団救急事故	その他			合計	ドクターヘリ要請に伴う支援出動
						救急隊長の要請	指令係長の判断	重症患者に伴う支援出動		
件数	48	41	324	38	-	68	75	698	1,292	2

16 派遣型救急ワークステーション医師同乗出動件数

(平成30年中)

月別	計	救急事故種別										
		火災	自然災害	水難	交通事故	労災事故	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	163	1	-	-	5	1	-	8	-	12	133	3
1月	23	-	-	-	1	-	-	1	-	-	21	-
2月	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-
3月	19	-	-	-	2	-	-	1	-	2	13	1
4月	7	-	-	-	-	-	-	1	-	-	6	-
5月	12	1	-	-	-	1	-	1	-	1	8	-
6月	24	-	-	-	-	-	-	1	-	3	20	-
7月	11	-	-	-	-	-	-	1	-	2	7	1
8月	8	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	-
9月	10	-	-	-	1	-	-	-	-	1	8	-
10月	9	-	-	-	1	-	-	1	-	-	6	1
11月	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-
12月	11	-	-	-	-	-	-	1	-	-	10	-

救

助



救助活動の概要

平成30年中の救助出動件数は、198件で55件の増加となっています。

事故種別による出動件数は、建物等による事故が76件、その他の事故が49件、交通事故が35件、火災が19件、水難事故が14件となっています。

活動件数は、158件で前年に比べ55件の増加(救助出動件数に対する活動件数の率は、79.8%)となっています。

また、被救助人員は、144人で前年に比べ48人の増加となっています。建物等による被救助人員が55人で全体の38.2%を占め、その他の事故による被救助人員が39人で全体の27.1%となっています。

地区別救助出動件数では、3地区が30件以上で、その中でも厚木地区が37件で最も多く、全体の18.7%を占め、続いて依知地区が31件、睦合地区が30件で続いています。

1 救助出動状況調

(1) 救助出動件数

(平成30年中)

区分 \ 事故種別	火災	交通	水難	風水害等 自然災害	建物等	ガス及 び酸欠	その他	計
出動件数	19	35	14	-	76	5	49	198
延べ出動隊員数	630	603	303	-	1,205	84	801	3,626
活動件数	19	26	10	-	60	4	39	158
延べ活動隊員数	122	176	136	-	388	27	374	1,223
被救助人員	5	36	5	-	55	4	39	144

(2) 地区別救助出動件数

(平成30年中)

区分 \ 地区別	厚木	依知	睦合	荻野	小鮎	玉川	南毛利	相川	清川	東名高速	応援等	計
火災	1	3	4	5	3	1	2	-	-	-	-	19
交通事故	3	15	4	2	1	1	3	2	3	1	-	35
水難事故	2	1	-	-	1	-	-	1	3	-	6	14
風水害等自然災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建物等による事故	19	6	17	10	6	-	13	3	2	-	-	76
ガス及び酸欠事故	1	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	5
その他	11	4	5	5	5	4	3	2	8	-	2	49
計	37	31	30	22	16	6	22	8	17	1	8	198

※ 東名高速の件数については、市内件数を含める。

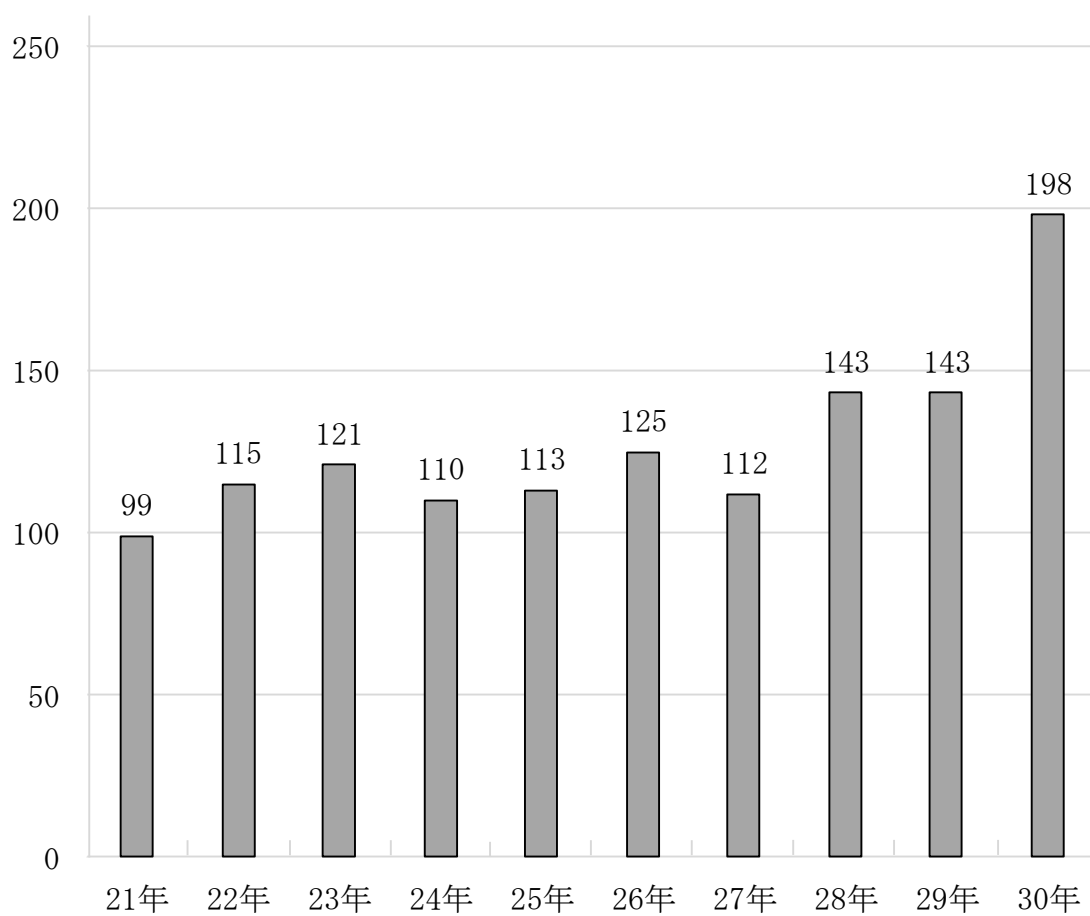
(3) 消防相互応援件数 (救助)

(平成 30 年中)

応援市町村 区 分	横 浜 市	相 模 原 市	海 老 名 市	伊 勢 原 市	座 間 市	秦 野 市	愛 川 町	寒 川 町	計
応 援	-	2	2	-	2	-	2	-	8
東名高速	-	-	-	-	-	1	-	-	1
受 援	-	1	2	-	-	-	-	-	3
東名高速	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) 救助出動の推移

(件)



(5) 主な人命救助活動

(平成 30 年中)

発生日	時 分	種 別	事故概要及び活動状況	使用資機材
2月3日	(覚 知) 13時56分 (救 出) 14時37分	その 他 の 事 故	建設中の作業現場で、ブルーシートの撤去作業をしていた男性が、4メートル下に転落した事故で、隊員が三連はしご及びかぎ付はしごを使用し低所へ進入、バックボードに固定後、メッシュ担架へ収容し、三連はしご上を担架を滑らせ救出する。	1 三連はしご 2 かぎ付はしご 3 バックボード 4 メッシュ担架
4月28日	(覚 知) 10時18分 (救 出) 10時42分	機 械 に よ る 事 故	フォークリフトで作業していた男性が、運転操作を誤り、ラック式スチール棚とフォークリフト操作台の間に挟まれた事故で、フォークリフトの固定及び電源切断を実施後、油圧救助器具を使用し救出する。	1 油圧スプレッダー 2 パワーユニット
9月25日	(覚 知) 23時18分 (救 出) 23時45分	交 通 事 故	バスと軽トラックの衝突により、軽トラックの運転手が車内から脱出不能となった事故で、救助工作車のウインチ及び油圧救助器具を使用し、車外に救出する。	1 油圧スプレッダー 2 油圧カッター

2 救助技術の強化

多種多様化する人命救助事案に対して身体の鍛錬と救助技術を習得するとともに、他都市との合同訓練を通じ、大規模災害への広域的な連携強化を図ることを目的としています。

(平成 30 年中)

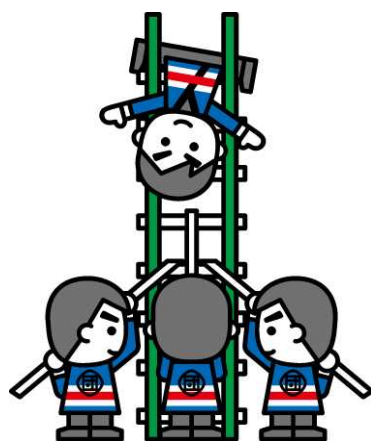
訓練等区分	月 日	場 所	参 加 人 員	内 容
水難救助合同訓練	5月29日	海老名市社家45番地西側相模川河川敷及び相模大堰上流	56人	3市(厚木市・海老名市・座間市)合同による基本訓練・連携訓練
新東名高速道路開通に伴う合同訓練	6月28日	御殿場保全・サービスセンター内プラザ	23人	3市(厚木市・伊勢原市・秦野市)及び中日本高速道路(株)合同による連携訓練
テロ対策合同訓練	7月5日	神奈川中央交通東(株)厚木北営業所	57人	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を見据え、テロの標的となり得る公共交通機関において、不審物等発見時における関係機関と連携した事態対処能力訓練
緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練	11月30日 12月1日	神奈川県総合防災センター・消防学校 他	2,323人	大規模災害活動時における緊急消防援助隊の技術及び連携活動の向上を図る訓練

3 救助関係主要機械器具等一覧表

(平成31年4月1日現在)

用途	一般救助用器具								重量物排除用器具				
名称	かぎ付はしご	三連はしご	ワイヤーはしご	空気式救助マット	救命索発射銃	救助縛帯	サバイバースリング	平担架	マンホール救助器具	救助用簡易起重機	油圧スプレッダー	油圧ジャッキ	
数量	6	16	2	1	2	22	7	11	2	1	4	2	
用途	重量物排除用器具				切断用器具								
名称	救助用支柱器具	可搬式ウインチ	空気ジャッキ型 マット式	チェーンブロック	油圧切断機 (カッター)	空気鋸 (エアソー)	エンジンカッター	電動カッター	酸素溶断器 (ガス溶断器)	チェーンソー	鉄線カッター		
数量	1	6	2	1	6	3	26	1	3	34	24		
用途	検知・測定用器具			破壊用器具				呼吸保護用器具					
名称	複合ガス検知器 (可燃性ガス警報器含む) (酸素濃度測定器及び 放射線測定器)	(ポケット型含む) 放射線測定器	有毒ガス測定器		削岩機	ハンマードリル	携帯用コンクリート 破壊器具	空気呼吸器	酸素呼吸器	簡易呼吸器	送排風機		
数量	27	38	3		3	3	5	72	5	2	8		
用途	隊員保護用器具								水難救助用器具				
名称	防毒マスク	耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱服	放射線保護服	陽圧式化学防護服	化学防護服	水中スピーカー	水中時計 (ダイブコンピュータ)	水中カメラ	潜水器具一式
数量	67	22	11	11	15	6	10	16	172	2	2	1	12
用途	水難救助用器具				高度救助用器具					その他の救助用器具			
名称	救命胴衣	救命ボート	船外機	流水救助器具	熱画像直視装置	夜間用暗視装置	画像探索機	地震警報器	地中音響探知機	除染設備一式	エアータント	ドローン	プレスキュー プラットホーム
数量	161	9	9	80	4	1	6	1	1	3	3	2	1

消防団と古式消防保存会



消防団

1 厚木市消防団のあゆみ

江戸時代中期から末期にかけての消防は、火災現場付近の人々が駆けつけて消火にあたる「駄付火消」であった。しかし、組織化されていないため火事が発生する度に、いざこざが絶えなかった。

明治初期、厚木町において、住民が中心となり、一定の人員と火消道具を備え消火技術をもった「町火消」が誕生し、各町内ごとに一組の「消防組」が設けられ、現在の消防団へと発展した。

明治初期	厚木町に「町火消」が誕生し、各町内ごとに一組の「消防組」が設けられた周囲の村々は「駄付火消」であったが徐々に「消防組」となる																												
明治27. 2. 9	勅令（第15号）により消防組規則設定																												
	各町村の公設消防組設置年月日																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>町 村 名</th> <th>設 置 年 月 日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>厚 木 町 消 防 組</td> <td>明治28年1月</td> </tr> <tr> <td>荻 野 村 消 防 組</td> <td>明治28年1月</td> </tr> <tr> <td>妻 田 村 消 防 組</td> <td>明治37年</td> </tr> <tr> <td>小 鮎 村 消 防 組</td> <td>大正3年</td> </tr> <tr> <td>南 毛 利 村 消 防 組</td> <td>大正3年</td> </tr> <tr> <td>及 川 村 消 防 組</td> <td>大正10年</td> </tr> <tr> <td>相 川 村 消 防 組</td> <td>大正11年</td> </tr> <tr> <td>三 田 村 消 防 組</td> <td>大正14年</td> </tr> <tr> <td>棚 沢 村 消 防 組</td> <td>大正14年</td> </tr> <tr> <td>下 川 入 村 消 防 組</td> <td>大正14年</td> </tr> <tr> <td>林 村 消 防 組</td> <td>大正14年</td> </tr> <tr> <td>依 知 村 消 防 組</td> <td>大正2年</td> </tr> <tr> <td>玉 川 村 消 防 組</td> <td>大正3年</td> </tr> </tbody> </table>	町 村 名	設 置 年 月 日	厚 木 町 消 防 組	明治28年1月	荻 野 村 消 防 組	明治28年1月	妻 田 村 消 防 組	明治37年	小 鮎 村 消 防 組	大正3年	南 毛 利 村 消 防 組	大正3年	及 川 村 消 防 組	大正10年	相 川 村 消 防 組	大正11年	三 田 村 消 防 組	大正14年	棚 沢 村 消 防 組	大正14年	下 川 入 村 消 防 組	大正14年	林 村 消 防 組	大正14年	依 知 村 消 防 組	大正2年	玉 川 村 消 防 組	大正3年
町 村 名	設 置 年 月 日																												
厚 木 町 消 防 組	明治28年1月																												
荻 野 村 消 防 組	明治28年1月																												
妻 田 村 消 防 組	明治37年																												
小 鮎 村 消 防 組	大正3年																												
南 毛 利 村 消 防 組	大正3年																												
及 川 村 消 防 組	大正10年																												
相 川 村 消 防 組	大正11年																												
三 田 村 消 防 組	大正14年																												
棚 沢 村 消 防 組	大正14年																												
下 川 入 村 消 防 組	大正14年																												
林 村 消 防 組	大正14年																												
依 知 村 消 防 組	大正2年																												
玉 川 村 消 防 組	大正3年																												
明治28. 1	厚木町消防組で、米国製の吸管付手押ポンプ購入																												
大正11.	厚木町消防組第4部（天王町）で、横浜市から中古の蒸気ポンプを購入																												
大正12. 4	厚木町消防組第2部（本町）で、手引ガソリンポンプ（30馬力）購入																												
昭和3.	昭和3年11月、昭和天皇即位の御大典の挙行に当たり、御大典記念事業として、消防施設の整備が行われた																												
	厚木町消防組第4部（天王町）消防ポンプ自動車（30馬力）1台購入																												
	第7部（旭町）手引ガソリンポンプ（40馬力）1台購入																												
	第2部（本町）手引ガソリンポンプ（40馬力）1台購入																												
	厚木神社前に防火井戸を設置																												
	荻野村消防組で村内主要箇所貯水池12基設置																												
	玉川村消防組で火の見櫓を3基設置																												
昭和8. 12	厚木町消防組では、消防ホースの接手をねじ式から町野式にした																												

昭和14.	1 . 24	勅令（第20号）により「警防団令」が発令された。この令により各町村の警防団は4月1日から発足することになり、明治27年勅令に基づく「消防組規制」によって誕生し、さらに発展してきた各町村の消防組も「消防組規制」の廃止とともに「防空、水火災消防その他の警防に従事」する警防団に改組され、戦時体制に協力することになる
昭和22.	4 . 30	勅令（第185号）「消防団令」が制定公布され、従来の警防団は廃止 法律（第226号）「消防組織法」が施行され、従来、警察に属していた消防は完全に分離独立し、消防は市町村の責任に移り、市町村長がこれを管理することになる
昭和22.	12 . 23	
昭和30.	2 . 1	町村合併促進法に基づき、厚木町、睦合村、小鮎村、玉川村、南毛利村を合併して厚木市が発足、同時に厚木市消防団を設置 初代消防団長 木下信勝 氏就任 (1) 組織 団長以下613名（12個分団） (2) 設備 消防ポンプ自動車 4台 小型動力ポンプ 21台 手引動力ポンプ 6台
昭和30.	7 . 8	依知村、相川村を合併、これらの消防団を厚木市消防団に統合 (1) 組織 団長以下865名（16個分団） (2) 設備 消防ポンプ自動車 4台 小型動力ポンプ 34台 手引動力ポンプ 8台
昭和31.	8 . 15	2代目消防団長 新戸裕治 氏就任
昭和31.	9 . 30	荻野村を合併、荻野村消防団を厚木市消防団に統合 (1) 組織 団長以下975名（18個分団） (2) 設備 消防ポンプ自動車 4台 小型動力ポンプ 39台 手引動力ポンプ 8台
昭和32.	6 . 11	消防団員等公務災害補償責任共済に加入
昭和33.	2 . 1	3代目消防団長 山本総三郎 氏就任
昭和33.	4 . 1	4代目消防団長 向島孝秋 氏就任 組織改革により団長以下1,010名とする
昭和35.	4 . 1	常備隊発足計画により消防団の縮小を実施 (1) 組織 団長以下618名（18個分団）
昭和37.	1 . 7	消防団と消防常備隊の出初め式を厚木市総合グラウンドで挙行
昭和39.	4 . 1	消防団組織改革により団長以下555名（8個分団） 中型消防自動車2台、オート三輪車搭載可搬ポンプ3台を新たに配置し、少数精鋭とした
昭和39.	6 . 30	消防団員退職報償金支給責任共済に加入
昭和40.	10 . 17	第1回消防団員家族慰安会を実施
昭和46.	6 . 1	消防団の組織改革を実施 (1) 組織 8個分団 52個部 団長以下564名
昭和49.	10 . 12	第1回消防団分団別対抗ソフトボール大会を実施

昭和51. 4. 1	5代目消防団長 吉村博 氏就任
昭和53. 4. 29	元副団長 平井實 氏 昭和53年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
昭和55. 4. 29	元分団長 片倉三衛 氏 昭和55年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
昭和55. 7. 30	第1回消防団員健康診断を実施
昭和55. 8. 1	消防団出動区分の見直しを実施
昭和56. 4. 1	消防団員福祉共済に加入
昭和56. 4. 29	元分団長 井上泰一 氏 昭和56年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
昭和57. 4. 1	6代目消防団長 小泉阿栗 氏就任
昭和57. 11. 3	元団長 吉村博 氏 昭和57年秋の消防関係生存者叙勲 勲六等単光旭日章を賜る
昭和59. 4. 1	7代目消防団長 小瀬村初男 氏就任
昭和59. 10. 24	消防団再編成小委員会を設置し、今後の消防団組織を検討
昭和60. 8. 11	第1回厚木市消防団消防操法大会を実施
昭和61. 9. 1	第7回6都県市合同防災訓練開催
昭和62. 4. 29	元副団長 飛川正春 氏 昭和62年春の消防関係生存者叙勲 勲六等単光旭日章を賜る
昭和63. 4. 1	消防団再編成小委員会の答申に基づき消防団組織を改正し、本部付団員を解消し各分団へ再配置した
	8代目消防団長 和田美正 氏就任
昭和63. 11. 3	元分団長 大塚喜代忠 氏 昭和63年秋の消防関係生存者叙勲 勲七等青色桐葉章を賜る
平成元. 11. 3	元分団長 浅岡昭二 氏 平成元年秋の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
平成2. 10. 14	第1回厚木市消防団員家族運動会を実施
平成3. 4. 29	元分団長 堀池勲 氏 平成3年春の消防関係生存者叙勲 勲七等青色桐葉章を賜る
平成3. 8. 13	9代目消防団長 関野靖穂 氏就任
平成3. 8. 26	厚木市消防団訪中（揚州市）
平成4. 9. 27	厚木市消防団訪中（揚州市）
平成5. 4. 29	元団長 小泉阿栗 氏 平成5年春の消防関係生存者叙勲 勲六等単光旭日章を賜る
平成6. 4. 1	10代目消防団長 萩原隆行 氏就任
平成6. 4. 29	元分団長 成瀬佳三 氏 平成6年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
平成7. 4. 29	元分団長 坂本榮一 氏 平成7年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
平成9. 4. 29	元団長 関野靖穂 氏 平成9年春の消防関係生存者叙勲 勲六等単光旭日章を賜る
平成11. 4. 29	元分団長 青木鐵雄 氏 平成11年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る

平成14.	4.	1	11代目消防団長 森久保純生 氏就任
平成15.	1.	22	携帯電話の電子メール活用による災害情報配信運用開始
平成15.	3		服制準則に準拠した冬作業服の更新
平成15.	2.	7	日本消防協会特別表彰「まとい」受章
平成15.	12		団活動環境の改善として防寒衣を新規導入
平成16.	12.	16	団活動環境の改善として防火帽を更新
平成17.	4.	1	女性消防団員任用のため厚木市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例を施行し、定員を579人に改定する
平成17.	7.	1	本市初の女性消防団員任用（20名）
平成17.	11.	20	市制50周年記念 第1回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成18.	2.	24	消防団地域活動表彰受賞
平成18.	4.	1	12代目消防団長 森屋昭一 氏就任
平成18.	4.	29	元副分団長 北條正博 氏 平成18年春の消防関係生存者叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成18.	11.	19	第2回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成19.	11.	18	第3回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成20.	4.	1	下川入第1・2・3自治会が睦合北地区自治会連絡協議会から依知北地区自治会連絡協議会へ所属が変更となったことに合わせて、厚木市消防団第3分団第6部を第2分団第10部に変更
平成20.	11.	16	第4回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成21.	11.	15	第5回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成22.	1.	18	元副分団長 井上一男 氏 死亡叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成22.	3.	1	総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型車両1台を無償で借り受ける
平成22.	4.	1	13代目消防団長 堀池春夫 氏就任
平成22.	11.	3	元団長 萩原隆行 氏 秋の叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成22.	11.	7	あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成23.	4.	1	厚木市消防団協力事業所表示制度を制定
平成23.	11.	6	第2回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成24.	11.	9	厚木市消防団協力事業所表示証交付式を挙行
平成24.	11.	11	第3回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成25.	4.	29	元副分団長 小泉勝敏 氏 春の叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成25.	11.	10	第4回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成26.	4.	1	14代目消防団長 井上衛 氏就任
平成26.	11.	9	第5回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成27.	3.	15	総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型車両1台を無償で借り受ける
平成27.	3.	30	団活動環境の改善として防火衣一式を更新
平成27.	11.	8	第6回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成28.	4.	29	元団長 森久保純生 氏 春の叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成28.	10.	28	元副団長 藤井道宏 氏 死亡叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成28.	11.	13	第7回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成29.	4.	1	厚木市学生消防団活動認証制度を制定
平成29.	9.	30	女性消防団が第23回全国女性消防操法大会に出場
平成29.	11.	3	元分団長 尾島敏晴 氏 秋の叙勲 瑞宝単光章を賜る

平成29. 11. 12	第8回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成29. 12. 21	公益財団法人日本消防協会から消防防災活動車1台交付される
平成30. 4. 1	15代目消防団長 望月玉三朗 氏就任
平成30. 4. 19	厚木市学生消防団活動認証制度による本市学生消防団員初認証
平成30. 11. 11	第9回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成30. 12	団活動環境の改善として防寒着を更新
令和元. 5. 21	元団長 森屋昭一 氏 春の叙勲 瑞宝単光章を賜る



2 消防団事務

(1) 公務災害補償

平成 30 年度中の補償状況 消防団員 0 人

(2) 退職消防団員に対する報償

平成 30 年度中の退職消防団員は 18 人であり、5 年未満勤務の退団者 9 人には、
礼状と記念品をそれぞれ贈り、その労をねぎらいました。

(3) 表彰

ア	神奈川県知事		
	神奈川県知事表彰（永年勤続優良消防団員 30 年）	3	人
	神奈川県知事表彰（永年勤続優良消防団員 20 年）	15	人
イ	厚木市消防団長		
	功績表彰	52	人
	功労表彰	11	人
	部 表 彰	7	個部
ウ	日本消防協会長		
	功 績 章	1	人
	精 績 章	1	人
	勤 続 章（30 年）	2	人
エ	神奈川県消防協会長		
	功 績 章	7	人
	勤 続 章（20 年）	11	人
	精 勤 章（20 年）	11	人
オ	厚木市表彰条例に基づく表彰		
	一般表彰	48	人

(4) 消防団員教養訓練等

消防団幹部研修	1	人（6 月）
消防団副団長研修	1	人（7 月）
消防団員指導員研修	1	人（10 月）
消防団員指導者講習	8	人（11 月）
消防団員幹部候補研修	1	人（12 月）
消防団幹部地震対策特別講習	3	人（12 月）
団員専科教育「機関科」	5	人（1 月）
消防団分団長特別研修	1	人（2 月）
女性消防団員及び婦人消防隊員等合同研修	1	人（2 月）

3 福利厚生

消防団員健康診断

過酷な消防業務に携わる団員の日常における健康状態を把握するため、自営業者、健康診断を実施していない事業所等に勤務されている団員を対象とした健康診断（診察、身体計測、尿検査、血液検査、心電図、胸部レントゲン）を平成30年8月に実施した。

受診者 52人

4 消防操法

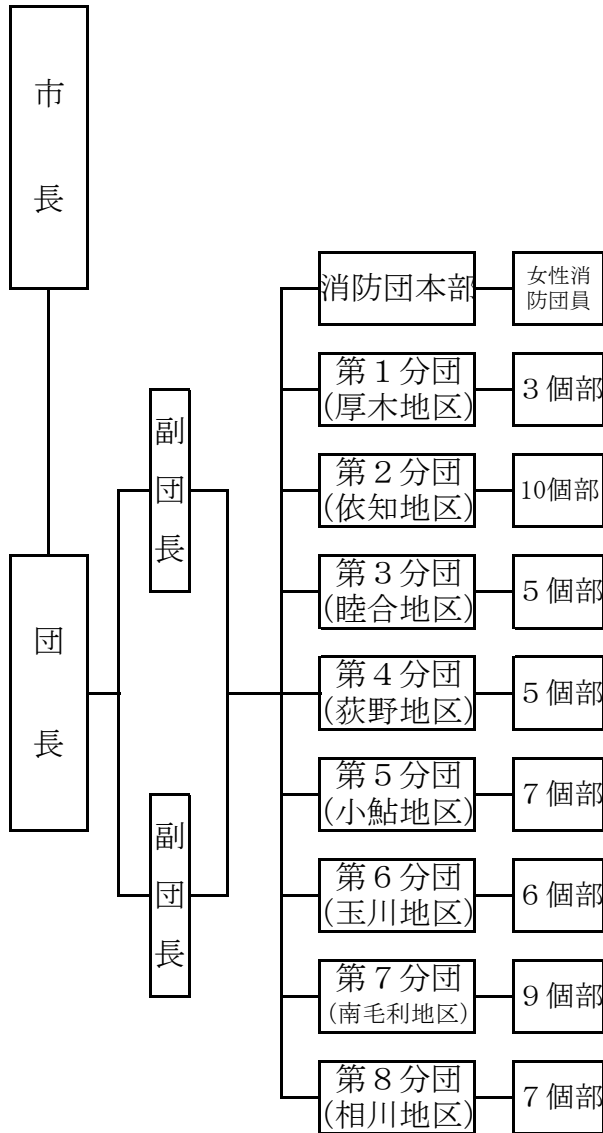
	第51回神奈川県消防団消防操法大会
実施日	平成30年7月25日（水）
実施場所	神奈川県総合防災センター
成績	小型ポンプ操法の部 優良賞 第6分団



5 消防団組織と現勢

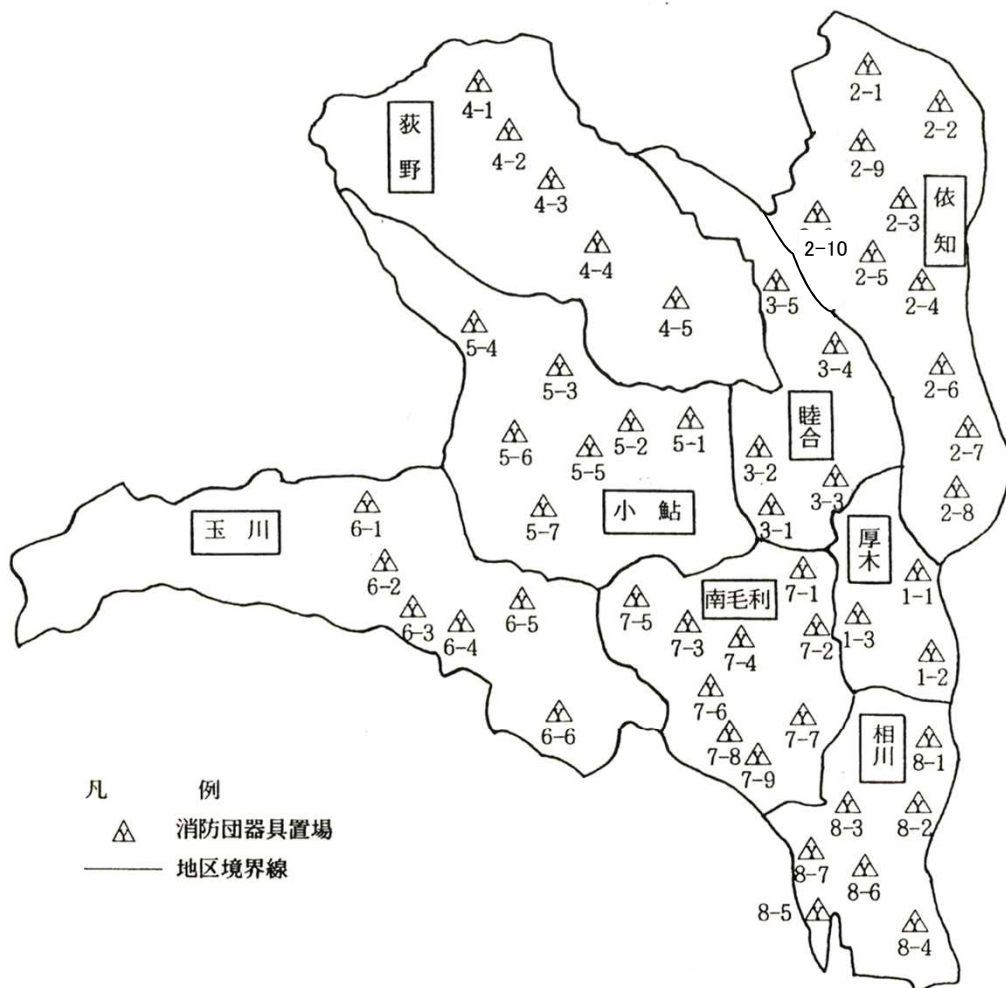
消 防 団 員 …………… 定員579名、実員542名
 団 ・ 分 団 ・ 部 数 …………… 1 団、8 個分団、52個部
 小型動力ポンプ付積載車 …………… 52 台
 そ の 他 の 車 両 …………… 1 台

(平成31年4月1日現在)



階 級 と 実 員							車 両 台 数			
団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	副 部 長	団 員	計	積 載 車	小 型 動 力 ポン プ 付	そ の 他 の 車 両
1	2	8	8	52	52	419	542	52		1
1	2	-	-	-	-	8	11	-		1
-	-	1	1	3	3	34	42	3		-
-	-	1	1	10	10	77	99	10		-
-	-	1	1	5	5	37	49	5		-
-	-	1	1	5	5	40	52	5		-
-	-	1	1	7	7	56	72	7		-
-	-	1	1	6	6	48	62	6		-
-	-	1	1	9	9	68	88	9		-
-	-	1	1	7	7	51	67	7		-

6 消防団施設配置図



7 産業別消防団員調

(平成31年4月1日現在)

区分 総数等	農	林業・狩猟業	水産養殖業	鉱業	建設業	製造業	飲食店・小売業・卸売業	金融・保険業	不動産業	運輸・通信業	電気・ガス・水道業	サービス業	公務	その他
	542	20	-	-	1	64	103	46	59	6	43	12	79	60
比率(%)	3.7	-	-	0.2	11.8	19.0	8.5	10.9	1.1	7.9	2.2	14.6	11.1	9.0

8 消防団員退職状況

区分 年度別	計	在職年数						
		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
23	75	18	20	23	9	3	1	1
24	6	4	1	1	-	-	-	-
25	81	10	12	25	14	15	-	5
26	6	6	-	-	-	-	-	-
27	83	17	13	34	10	7	2	-
28	7	5	1	-	-	-	-	1
29	71	7	10	34	6	8	3	3
30	18	9	5	2	2	-	-	-

9 退職報償金年度別及び階級別支払状況

(単位：円)

区分		年度別					
		25	26	27	28	29	30
団 長	人員	1	-	-	-	1	-
	金額	929,000	-	-	-	979,000	-
副 団 長	人員	1	-	1	-	1	-
	金額	484,000	-	534,000	-	709,000	-
分 団 長	人員	3	-	1	-	-	-
	金額	1,625,000	-	413,000	-	-	-
副分団長	人員	3	-	-	-	3	-
	金額	1,525,000	-	-	-	1,675,000	-
部 長	人員	31	-	21	-	28	-
	金額	9,749,000	-	7,416,000	-	9,328,000	-
副 部 長	人員	9	-	14	1	10	-
	金額	2,849,000	-	4,264,000	283,000	2,981,000	-
団 員	人員	23	-	28	2	21	9
	金額	4,437,000	-	6,897,000	934,000	5,736,000	1,780,000
合 計	人員	71	-	65	3	64	9
	金額	21,598,000	-	19,524,000	1,217,000	21,408,000	1,780,000

※退職報償金は、5年以上在職し、消防団活動を続けて退職した場合に、その労苦に報いるため、支給することになっています。

10 階級別年齢調

(平成31年4月1日現在)

階 級 年 齢	合 計	比 率 (%)	団	副	分	副	部	副	団
			長	長	団	分	部	部	員
合 計	542	100.0	1	2	8	8	52	52	419
20歳未満	2	0.1	-	-	-	-	-	-	2
20歳以上25歳未満	12	2.2	-	-	-	-	-	-	12
25歳以上30歳未満	28	5.2	-	-	-	-	-	1	27
30歳以上35歳未満	62	11.4	-	-	-	-	1	3	58
35歳以上40歳未満	90	16.6	-	-	-	1	5	9	75
40歳以上45歳未満	122	22.5	-	-	1	1	13	12	95
45歳以上50歳未満	131	24.2	-	-	1	4	22	16	88
50歳以上55歳未満	68	12.5	-	-	4	2	9	9	44
55歳以上	27	5.0	1	2	2	-	2	2	18
平均年齢	42.2	-	66.0	62.0	51.6	46.3	45.7	43.9	41.2

11 階級別勤務年数調

(平成31年4月1日現在)

階級 年数	合計	比率 (%)	団	副	分	副	部	副	団
			長	団	団	分	長	部	員
合計	542	100.0	1	2	8	8	52	52	419
5年未満	153	28.2	-	-	-	-	1	3	149
5年以上10年未満	181	33.4	-	-	-	-	12	25	144
10年以上15年未満	98	18.1	-	-	-	3	22	14	59
15年以上20年未満	74	13.7	-	-	1	1	13	9	50
20年以上25年未満	23	4.2	-	1	3	3	2	-	14
25年以上30年未満	9	1.7	-	-	3	1	2	1	2
30年以上	4	0.7	1	1	1	-	-	-	1
平均	8.9	-	35.0	26.0	24.1	18.1	12.9	10.4	7.6

12 消防団員年度別公務災害発生状況

年度別	区分	負傷時の状況									治療期間		
		総数	火災	水災	訓練	特別警戒	点検整備	警防調査	救急	その他	1週間未満	1ヶ月未満	1ヶ月以上
25	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
26	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	4	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	4
28	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
29	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

13 消防団員報酬

(平成31年4月1日現在)

(単位：円)

階級 報酬	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部長	団員
年額	115,000	100,500	80,500	54,500	49,500	40,500	39,500

14 消防団員費用弁償

(平成31年4月1日現在)

(単位：円)

種別	火災	水防	その他の災害	警戒	訓練
出動1回につき		4時間未満 4時間以上	3,400 4,500	2,700	2,700

15 消防団出動状況

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

出動別		合計	火災	風水害	訓練・演習	特別警戒等	その他	管外応援
計	件数	478	68	28	167	87	128	-
	人員	5,237	1,732	127	964	1,726	688	-
本団	件数	78	23	2	30	15	8	-
	人員	149	69	6	43	21	10	-
1分団	件数	43	15	4	8	8	8	-
	人員	531	301	20	29	132	49	-
2分団	件数	81	15	11	20	13	22	-
	人員	892	337	62	76	299	118	-
3分団	件数	44	11	2	11	8	12	-
	人員	544	282	6	33	155	68	-
4分団	件数	46	12	5	11	6	12	-
	人員	480	211	14	42	150	63	-
5分団	件数	48	4	-	16	12	16	-
	人員	593	106	-	63	324	100	-
6分団	件数	64	4	-	39	7	14	-
	人員	950	127	-	562	178	83	-
7分団	件数	54	7	-	17	10	20	-
	人員	739	294	-	66	262	117	-
8分団	件数	44	1	4	15	8	16	-
	人員	359	5	19	50	205	80	-

※災害件数は、1災害に対して複数の分団が出動した件数を含めた延べ件数です。

16 消防団施設一覽表

(平成31年4月1日現在)

分団	器			具			置			場			ホ			一			ス			乾			燥			塔		
	部	所在地	延(占有)面積(m ²)	器具置場面積(m ²)	待機室面積(m ²)	設置年月	構造	所在地	構造	脚数	高さ(m)	設置年月	サイレン	防炎無線																
1	1	東町8-10	83.19	29.25	53.94	昭和58年3月	鉄骨造2階 カラ-石綿スレート葺	東町8-10	鉄骨	1	13	昭和58年3月	有	無																
	2	旭町2-4-18	93.94	46.20	47.74	平成29年3月	鉄筋コンクリート造 複合施設	旭町2-4-18	鉄骨	1	12	平成29年3月	有	無																
	3	水引1-1-3	78.00	39.00	39.00	平成17年2月	鉄骨造2階 カラ-鉄板葺	水引1-1-3	鋼管	1	12	平成17年2月	有	無																
2	1	上依知290-2	50.92	28.98	21.94	昭和61年10月	木造平屋 カラ-鉄板葺	上依知290-2	コンクリート	1	12	昭和61年10月	有	無																
	2	猿ヶ島199-2	47.78	28.13	19.65	昭和60年2月	木造平屋 カラ-鉄板葺	猿ヶ島83-2	鉄骨	4	13	昭和55年7月	有	有																
	3	山際982-2	49.89	27.41	22.48	昭和60年11月	鉄骨造2階 複合施設	山際982-2	コンクリート	1	12	昭和60年11月	有	無																
	4	関口31	76.23	36.12	40.11	平成16年3月	鉄骨造2階 複合施設	関口31	コンクリート	1	12	平成16年3月	有	無																
	5	関口305-4	44.30	25.96	18.34	昭和61年3月	木造平屋 カラ-鉄板葺	関口305-4	コンクリート	1	12	昭和61年8月	有	有																
	6	中依知661-6	57.96	28.98	28.98	平成2年3月	木造2階 カラ-石綿スレート葺	中依知661-6	コンクリート	1	12	平成2年3月	有	無																
	7	下依知2-31-22	48.02	24.84	23.18	昭和63年3月	木造2階 カラ-鉄板葺	下依知2-31-22	コンクリート	1	12	昭和63年3月	有	有																
	8	金田685-3	50.51	28.98	21.53	昭和62年3月	木造平屋 カラ-鉄板葺	金田685-3	コンクリート	1	12	昭和62年3月	有	有																
	9	山際805-4	100.80	45.00	55.80	平成12年2月	鉄骨造2階 カラ-鉄板葺	山際805-4	コンクリート	1	12	平成12年1月	有	無																
	10	下川入1366-3	66.24	33.12	33.12	平成4年3月	木造2階 カラ-石綿スレート葺	下川入1366-3	コンクリート	1	12	平成4年3月	有	無																
3	1	林3-8-52	92.75	34.43	58.32	平成2年2月	鉄骨造2階 カラ-石綿コロニア板葺	林3-8-52	鋼管	1	12	平成15年9月	有	無																
	2	及川473-3	73.71	35.65	38.06	平成10年2月	鉄骨造2階 カラ-鉄板葺	及川473-3	コンクリート	1	12	平成10年2月	有	有																
	3	妻田西2-6-16	79.92	38.88	41.04	平成18年12月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	妻田西2-6-16	鋼管	1	12	平成18年12月	有	無																
	4	三田2727-2	75.60	37.80	37.80	平成21年12月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	三田2727-2	鋼管	1	12	平成21年12月	有	無																
	5	棚沢1593-6	75.75	34.97	40.78	平成13年2月	鉄骨造2階 カラ-鉄板葺	棚沢1593-6	コンクリート	1	12	平成13年2月	有	有																

分団	器			具			置			場			亦			乾			燥		塔
	部	所在地	延(占有)面積(m ²)	器具置場面積(m ²)	待機室面積(m ²)	設置年月	構造	所在地	構造	脚数	高さ(m)	設置年月	サイレン	防災無線							
4	1	上荻野1325-2	52.92	26.46	26.46	平成3年3月	鉄骨造2階 石綿スレート葺	上荻野1325-2	コンクリート	1	12	平成3年3月	有	無							
	2	上荻野1203-2	43.05	23.18	19.87	昭和59年3月	木造2階 カラークレー鉄板葺	上荻野1203-2	コンクリート	1	12	昭和59年3月	有	無							
	3	上荻野36-1	78.08	39.04	39.04	平成31年3月	軽量鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	上荻野36-1	コンクリート	1	12	平成31年3月	有	無							
	4	中荻野743-7	93.57	48.03	45.54	平成2年3月	木造2階 カラークレー石綿スレート葺	中荻野743-7	コンクリート	1	12	平成2年3月	有	有							
	5	下荻野773-2	72.78	34.90	37.88	平成8年12月	鉄骨造2階 石綿スレート葺	下荻野773-2	コンクリート	1	12	平成8年12月	有	無							
5	1	飯山272-5	80.40	40.20	40.20	平成3年3月	木造2階 石綿スレート葺	飯山272-5	コンクリート	1	12	平成3年3月	有	無							
	2	飯山1228-3	46.37	26.50	19.87	昭和62年3月	木造平屋 カラークレー鉄板葺	飯山1228-3	コンクリート	1	12	昭和62年3月	有	無							
	3	飯山4586-5	44.30	25.96	18.34	昭和61年3月	木造平屋 カラークレー鉄板葺	飯山4586-5	コンクリート	1	12	昭和61年3月	有	有							
	4	飯山5100-1	53.80	26.90	26.90	昭和62年8月	木造2階 カラークレー鉄板葺	飯山5100-1	鉄骨	4	12	昭和44年1月	有	有							
	5	飯山3141-9	79.50	34.78	44.72	平成2年1月	木造2階 石綿スレート葺	飯山3141-9	コンクリート	1	12	平成2年1月	有	無							
	6	上古沢77-2	82.06	41.03	41.03	平成27年12月	軽量鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	上古沢77-2	コンクリート	1	12	平成11年2月	有	有							
6	7	下古沢328-1	45.95	23.18	22.77	平成元年3月	木造平屋 カラークレー鉄板葺	下古沢328-1	コンクリート	1	12	平成元年3月	有	有							
	1	七沢1274	79.92	38.88	41.04	平成20年12月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	七沢1274	鋼管	1	12	平成20年12月	有	無							
	2	七沢1523-7	82.06	41.03	41.03	平成29年3月	軽量鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	七沢1523-7	コンクリート	1	12	平成29年3月	有	無							
	3	七沢199-8	76.33	26.08	50.25	平成元年2月	鉄骨一部木造2階 石綿スレート葺	七沢199-8	コンクリート	1	12	平成元年2月	有	無							
	4	小野839-1外	83.72	41.86	41.86	平成9年2月	木造2階 亜鉛メッキ鋼葺	小野839-1	コンクリート	1	12	平成9年2月	有	無							
	5	小野2161-1	53.82	28.98	24.84	昭和60年3月	木造2階 カラークレー鉄板葺	小野2161-1	コンクリート	1	12	昭和60年3月	有	有							
	6	岡津古久878-11	79.70	39.85	39.85	平成27年1月	軽量鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	岡津古久878-11	鋼管	1	12	平成27年1月	有	無							

分	器			具			置			場			本			一			乾			燥			塔		
	部	所在地	延(占有)面積(m ²)	器具置場面積(m ²)	待機室面積(m ²)	設置年月	構造	所在地	構造	脚数	高さ(m)	設置年月	サイレン	防炎無線													
7	1	戸室2-5-17	60.48	30.24	30.24	平成4年3月	鉄骨造2階 石綿スレート葺	戸室2-5-17	コンクリート	1	12	平成4年3月	有	無													
	2	恩名3-4-25	48.86	28.99	19.87	昭和59年12月	木造平屋 カラ一鉄板葺	恩名3-4-25	コンクリート	1	12	昭和59年2月	有	無													
	3	温水西2-2-20	43.89	25.26	18.63	昭和47年11月	木造平屋 カラ一鉄板葺	温水1681-1	鋼管	1	14.5	平成15年2月	有	有													
	4	温水612	49.68	24.84	24.84	昭和63年3月	鉄骨造2階 複合施設	温水612	コンクリート	1	12	昭和63年3月	有	有													
	5	愛名36-8	46.37	23.18	23.19	昭和63年12月	木造平屋 カラ一鉄板葺	愛名36-8	コンクリート	1	12	昭和63年12月	有	無													
	6	長谷1574-3	43.92	24.16	19.76	昭和62年8月	鉄骨造2階 複合施設	南毛利分署兼用																			
	7	船子1250-2	46.37	23.18	23.19	昭和63年12月	木造平屋 カラ一鉄板葺	船子1250-2	コンクリート	1	12	昭和63年12月	有	無													
8	8	愛甲西1-3-5	75.92	34.39	41.53	平成11年1月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	愛甲西1-3-5	コンクリート	1	12	平成11年1月	有	有													
	9	愛甲東2-8-2	46.74	23.19	23.55	昭和62年9月	木造2階 カラ一鉄板葺	愛甲東2-8-2	鉄骨	4	12	昭和50年3月	有	有													
	1	岡田4-19-16	53.82	28.98	24.84	昭和59年10月	木造2階 カラ一鉄板葺	岡田4-19-16	鉄骨	4	16	昭和41年2月	有	有													
	2	酒井2090-8	80.38	39.95	40.43	平成5年3月	木造2階 ガルバリウム鋼板葺	酒井2090-8	コンクリート	1	12	平成5年3月	有	無													
	3	酒井940-1	75.67	37.17	38.50	平成14年2月	鉄骨造2階 カラ一鉄板葺	酒井940-1	コンクリート	1	12	平成14年2月	有	無													
	4	戸田1202-3	62.10	33.12	28.98	平成6年3月	木造平屋 亜鉛メッキ葺	戸田1202-3	コンクリート	1	12	平成6年3月	有	有													
	5	長沼160-2	46.37	23.19	23.18	昭和62年3月	木造平屋 カラ一鉄板葺	長沼160-2	コンクリート	1	12	昭和63年3月	有	有													
無	6	下津古久716-3	48.02	26.49	21.53	昭和61年12月	木造平屋 カラ一鉄板葺	下津古久716-3	コンクリート	1	12	昭和61年12月	有	無													
	7	上落合555-2	81.14	39.89	41.25	平成17年12月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	上落合555-2	鋼管	1	12	平成17年12月	有	無													

17 消防団車両保有状況

(平成31年4月1日現在)

分団	部	車両番号	型式	登録年月	ポンプ性能		
					社名	馬力	級別
本団		相模800せ1816	スバル DBA-SJ5	平成29年12月	—	—	—
1	1	相模800す5003	ニッサン CBF-SQ2F24	平成21年2月	トーハツ	30	B 3
	2	相模800す5004	ニッサン CBF-SQ2F24	平成21年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模800さ1674	ニッサン GE-SH4F23	平成12年1月	トーハツ	40	B 3
2	1	相模800す866	ニッサン TC-SH4F23	平成17年3月	トーハツ	62	B 2
	2	相模830す202	ニッサン CBF-SQ2F24	平成31年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模830す203	ニッサン CBF-SQ2F24	平成29年2月	トーハツ	30	B 3
	4	相模800す4185	ニッサン CBF-SQ2F24	平成20年2月	トーハツ	30	B 3
	5	相模800さ3972	ニッサン GE-SH4F23	平成13年1月	トーハツ	46	B 3
	6	相模800さ9166	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3
	7	相模830す207	ニッサン CBF-SQ2F24	平成31年2月	トーハツ	30	B 3
	8	相模800さ1675	ニッサン GE-SH4F23	平成12年1月	トーハツ	40	B 3
	9	相模800す1890	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	46	B 3
	10	相模800す1891	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	62	B 2
3	1	相模800す867	ニッサン TC-SH4F23	平成17年3月	トーハツ	62	B 2
	2	相模800す5755	ニッサン CBF-SQ2F24	平成22年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模800す5761	ニッサン PDG-SZ5F24	平成22年2月	マキタ 沼津	43	B 2
	4	相模800さ3973	ニッサン GE-SH4F23	平成13年1月	トーハツ	46	B 3
	5	相模800す4186	ニッサン CBF-SQ2F24	平成20年2月	トーハツ	30	B 3
4	1	相模830さ401	ニッサン CBF-SQ2F24	平成29年2月	トーハツ	30	B 3
	2	相模800さ7546	ニッサン GE-SH4F23	平成15年1月	トーハツ	46	B 3
	3	相模800さ1676	ニッサン GE-SH4F23	平成12年1月	トーハツ	40	B 3
	4	相模830せ404	ニッサン CBF-SQ2F24	平成31年2月	トーハツ	30	B 3
	5	相模88た9465	ニッサン GB-SK4F23	平成11年1月	トーハツ	40	B 3

分団	部	車 両 番 号	型 式	登 録 年 月	ポ ン プ 性 能		
					社 名	馬 力	級 別
5	1	相模800す1892	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	62	B 2
	2	相模800さ9167	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3
	3	相模88た9464	ニッサン GB-SK4F23	平成11年1月	トーハツ	40	B 3
	4	相模800す7818	ニッサン CBF-SQ2F24	平成25年3月	トーハツ	30	B 3
	5	相模800す605	ニッサン TC-SH4F23	平成16年12月	トーハツ	46	B 3
	6	相模800さ6012	ニッサン GE-SH4F23	平成14年1月	トーハツ	46	B 3
	7	相模800す5756	ニッサン CBF-SQ2F24	平成22年2月	トーハツ	30	B 3
6	1	相模800す5005	ニッサン CBF-SQ2F24	平成21年2月	トーハツ	30	B 3
	2	相模800す4187	ニッサン CBF-SQ2F24	平成20年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模830す603	ニッサン CBF-SQ2F24	平成30年2月	トーハツ	30	B 3
	4	相模830さ604	ニッサン CBF-SQ2F24	平成30年2月	トーハツ	30	B 3
	5	相模830す605	ニッサン CBF-SQ2F24	平成31年2月	トーハツ	30	B 3
	6	相模800す604	ニッサン TC-SH4F23	平成16年12月	トーハツ	46	B 3
7	1	相模800す1893	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	46	B 3
	2	相模800す5757	ニッサン CBF-SQ2F24	平成22年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模800す5006	ニッサン CBF-SQ2F24	平成21年2月	トーハツ	30	B 3
	4	相模800す9397	ニッサン GBF-SQ2F24	平成27年3月	トーハツ	30	B 3
	5	相模800す3118	ニッサン TC-SH4F23	平成18年12月	トーハツ	46	B 3
	6	相模800さ6013	ニッサン GE-SH4F23	平成14年1月	トーハツ	46	B 3
	7	相模800さ9168	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3
	8	相模800さ1677	ニッサン GE-SH4F23	平成12年1月	トーハツ	40	B 3
	9	相模800さ9102	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3

分団	部	車 両 番 号	型 式	登 録 年 月	ポ ン プ 性 能		
					社 名	馬 力	級 別
8	1	相模800す4188	ニッサン CBF-SQ2F24	平成20年2月	トーハツ	30	B 3
	2	相模800さ6014	ニッサン GE-SH4F23	平成14年1月	トーハツ	46	B 3
	3	相模800す9361	いすゞ TKG-NHS85AN	平成27年2月	トーハツ	62	B 2
	4	相模800す3119	ニッサン TC-SH4F23	平成18年12月	トーハツ	62	B 2
	5	相模800す1894	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	46	B 3
	6	相模800す5758	ニッサン CBF-SQ2F24	平成22年2月	トーハツ	30	B 3
	7	相模800さ9169	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3

小型動力ポンプ付積載車 52台

18 水防・資材倉庫施設一覧表

(平成31年4月1日現在)

名 称		所 在 地	延(占有) 面積(m ²)	設 置 年 月	構 造
水 防 倉 庫	厚木水防倉庫	旭町2丁目4番18号	29.60	平成29年3月	鉄筋コンクリート
	依知水防倉庫	中依知661番6	26.50	平成2年3月	木造カラー石綿葺
	林水防倉庫	林3丁目1567番先	33.12	昭和54年4月	木造亜鉛葺
	睦合水防倉庫	三田2727番地2	29.40	平成21年12月	鉄骨造ガルバリウム鋼板葺
	荻野水防倉庫	上荻野1203番地2	34.78	昭和59年3月	木造カラー鉄板瓦棒葺
	小鮎水防倉庫	飯山1433番地1	33.12	昭和57年3月	木造亜鉛葺
	玉川水防倉庫	小野2161番地	39.74	昭和60年3月	木造カラー鉄板瓦棒葺
	南毛利水防倉庫	温水612番地	31.05	昭和63年3月	鉄骨造
	相川水防倉庫	戸田366番地3	45.54	昭和63年1月	鉄骨造
資 材 倉 庫	関口資材倉庫	関口31番地	100.00	平成16年3月	鉄骨造カラー鉄板
	毛利台資材倉庫	毛利台1丁目28番8号	31.10	昭和62年12月	鉄骨造炭酸マグネシウム板
	荻野資材倉庫	下荻野1071番地4	39.74	昭和58年3月	プレハブ平屋造カラー鉄板

厚木鳶職組合 古式消防保存会

1 古式消防保存会のあゆみ

厚木市鳶職組合によって創設された古式消防保存会は、惜しまれる古式消防のしきたりを後継者に引継ぎ、消防昔日の姿を保存することを目的に、昭和45年5月9日に会員59人を以て結成された。

現在は、年頭における消防出初め式をはじめ、各種福祉施設等に出向き、木遣り歌、はしご乗りの勇姿を披露、大勢の方々から大きな期待が寄せられている。

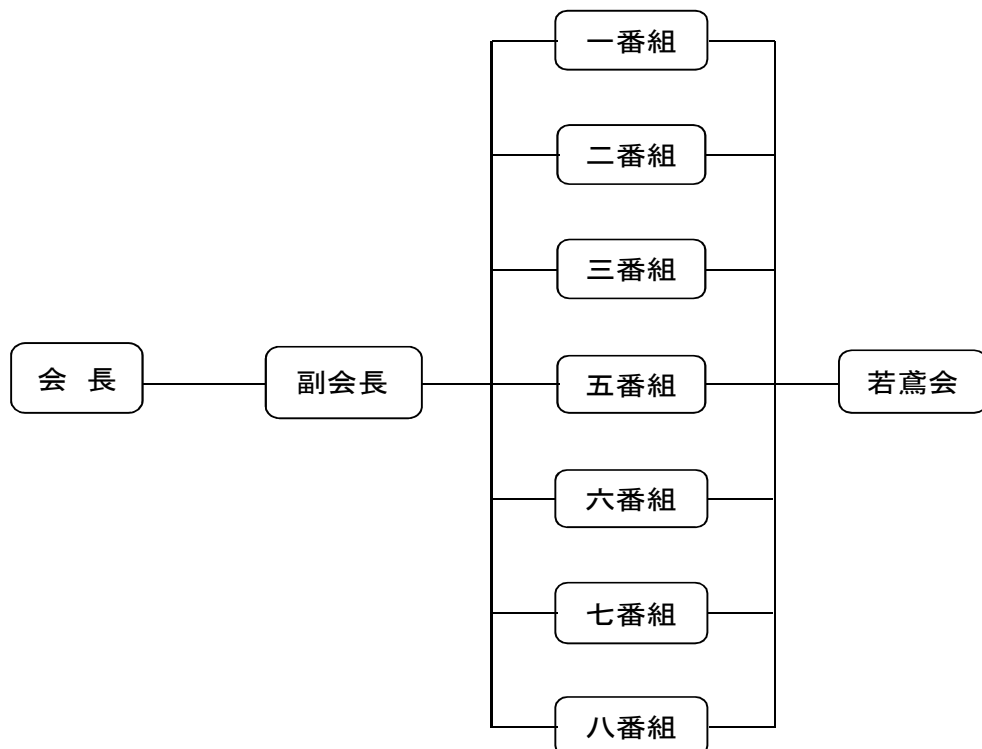
古式消防保存会歴代会長

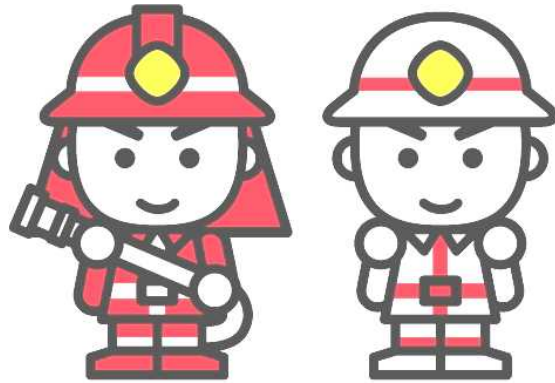
就任日	会 長 名	
昭和45. 5. 9	初代会長	飯島 正治 氏
昭和49. 3. 15	2代目会長	石井 倉造 氏
昭和53. 4. 1	3代目会長	桐生 高雄 氏
平成元. 4. 1	4代目会長	井上 忠雄 氏
平成3. 4. 1	5代目会長	小池 高利 氏
平成5. 4. 1	6代目会長	加藤 邑夫 氏
平成7. 4. 1	7代目会長	小池 高利 氏
平成13. 4. 1	8代目会長	中村 直二 氏
平成17. 4. 1	9代目会長	栗原 幸男 氏
平成25. 4. 1	10代目会長	森屋 知之 氏



※厚木鳶職組合は、昭和39年に初代組合長である内田石松氏と組合員19人で結成された。その後、2代目組合長として関野保治氏（昭和41年就任）、3代目組合長として森屋種治氏（昭和43年就任）が組織の拡大に尽力を注ぎ、4代目組合長として飯島正治氏（昭和45年就任）が就任した際に、古式消防保存会が創設された。

2 組織図





令和元年版

消 防 年 報

令和元年 7 月

編集発行 厚木市消防本部 消防総務課 消防総務係
神奈川県厚木市寿町 3 丁目 4 番 10 号
電話 046-223-9366(直通)
FAX 046-223-8251
<http://www.city.atsugi.kanagawa.jp>

表紙の写真は、高度救助隊と拠点機能形成車
(平成 31 年 4 月運用開始)

ひとつずつ いいね！で確認 火の用心

(2019年度 全国統一防火標語)

